

(様式第 10)

近大病発第 146 号
平成 28 年 10 月 1 日

厚生労働大臣 殿

近畿大学医学部附属病院
病院長 東田 有智 (印)

近畿大学医学部附属病院の業務に関する報告について

標記について、医療法（昭和 23 年法律第 205 号）第 12 条の 3 第 1 項及び医療法施行規則（昭和 23 年厚生省令第 50 号）第 9 条の 2 の 2 の第 1 項の規定に基づき、平成 27 年度の業務に関して報告します。

記

1 開設者の住所及び氏名

住 所	〒577-8502 大阪府東大阪市小若江 3 丁目 4 番 1 号
氏 名	学校法人 近畿大学

(注) 開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

2 名 称

近畿大学医学部附属病院

3 所在の場所

〒589-8511 大阪府大阪狭山市大野東 3 7 7 番地の 2 電話 (0 7 2) 3 6 6 - 0 2 2 1
--

4 診療科名

4-1 標榜する診療科名の区分

① 医療法施行規則第六条の四第一項の規定に基づき、十六診療科名すべてを標榜 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定により読み替えられた同条第一項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として、十以上の診療科名を標榜
--

(注) 上記のいずれかを選択し、番号に○印を付けること。

4-2 標榜している診療科名

(1) 内科

内科	有 ・ (無)
内科と組み合わせた診療科名等 1 循環器内科 2 糖尿病・内分泌内科 3 消化器内科 4 血液内科 5 神経内科 6 腫瘍内科 7 呼吸器内科 8 腎臓内科 9 心療内科 10 緩和ケア内科 11 漢方内科	
診療実績	

(注) 1 「内科」欄及び「内科と組み合わせた診療科名等」欄については、標榜している診療科名について記入すること。

(注) 2 「リウマチ科」及び「アレルギー科」についても、「内科と組み合わせた診療科等」欄に記入すること。

(注) 3 「診療実績」欄については、医療法施行規則第六条の四第三項の規定により、他の診療科で医療を提供している場合に記入すること。

(2) 外科

外科	(有) ・ 無
外科と組み合わせた診療科名 1 消化器外科 2 小児外科 3 脳神経外科 4 心臓血管外科 5 整形外科 6 形成外科	
診療実績	

(注) 1 「外科」欄及び「外科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名について記入すること。

(注) 2 「診療実績」欄については、医療法施行規則第六条の四第三項の規定により、他の診療科で医療を提供している場合に記入すること。

(3) その他の標榜していることが求められる診療科名

①精神科 ②小児科 ③整形外科 ④脳神経外科 ⑤皮膚科 ⑥泌尿器科 ⑦産婦人科 8産科 9婦人科 ⑩眼科 ⑪耳鼻咽喉科 12放射線科 ⑬放射線診断科 ⑭放射線治療科 ⑮麻酔科 ⑯救急科
--

(注) 標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

(4) 歯科

歯科	(有) ・ 無
歯科と組み合わせた診療科名 1 矯正歯科 2 歯科口腔外科	
歯科の診療体制	

(注) 1 「歯科」欄及び「歯科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名について記入すること。

(注) 2 「歯科の診療体制」欄については、医療法施行規則第六条の四第五項の規定により、標榜している診療科名として「歯科」を含まない病院については記入すること。

(5) (1)～(4)以外でその他に標榜している診療科名

1 リハビリテーション科 2 病理診断科

(注) 標榜している診療科名について記入すること。

5 病床数

精神	感染症	結核	療養	一般	合計
0床	0床	0床	0床	929床	929床

6 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

(平成28年10月1日現在)

職 種	常 勤	非常勤	合 計	職 種	員 数	職 種	員 数
医 師	455人	104人	472.3人	看護補助者	96人	診療エックス線技師	0人
歯科医師	9人	10人	10.2人	理学療法士	19人	臨床検査技師	97人
薬 剤 師	68人	9人	71.3人	作業療法士	4人	衛生検査技師	0人
保健師	0人	0人	0人	視能訓練士	10人	その他	0人
助産師	23人	0人	23人	義肢装具士	0人	あん摩マッサージ指圧師	0人
看護師	914人	20人	929.2人	臨床工学士	27人	医療社会事業従事者	0人
准看護師	1人	0人	1人	栄 養 士	0人	その他の技術員	0人
歯科衛生士	5人	3人	7.4人	歯科技工士	3人	事務職員	68人
管理栄養士	15人	0人	15人	診療放射線技師	55人	その他の職員	403人

- (注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。
 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

7 専門の医師数

(平成28年10月1日現在)

専門医名	人 数	専門医名	人 数
総合内科専門医	30人	眼科専門医	16人
外科専門医	47人	耳鼻咽喉科専門医	9人
精神科専門医	8人	放射線科専門医	21人
小児科専門医	20人	脳神経外科専門医	13人
皮膚科専門医	6人	整形外科専門医	15人
泌尿器科専門医	9人	麻酔科専門医	14人
産婦人科専門医	13人	救急科専門医	17人
		合 計	238人

- (注) 人数には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下1位を切り捨て、整数で算出して記入すること。

8 管理者の医療に係る安全管理の業務の経験

管理者名 (東田 有智) 任命年月日 平成28年10月1日

平成21年4月より継続して、院内感染防止対策委員会の委員長を務めている。

9 前年度の平均の入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の前年度の平均の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	777人	2.9人	779.9人
1日当たり平均外来患者数	1855.7人	111.3人	1967.0人
1日当たり平均調剤数	4096.1剤		
必要医師数	190人		
必要歯科医師数	6人		
必要薬剤師数	51人		
必要(准)看護師数	456人		

(注)1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療料を受診した患者数を記入すること。

2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。

3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。

4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

5 必要医師数、必要歯科医師数、必要薬剤師数及び必要(准)看護師数については、医療法施行規則第二十二條の二の算定式に基づき算出すること。

10 施設の構造設備

施設名	床面積	主要構造	設 備 概 要			
集中治療室	204.20m ²	鉄骨鉄筋コンクリート造	病床数	9床	心電計	◎・無
			人工呼吸装置	(有)・無	心細動除去装置	◎・無
			その他の救急蘇生装置	◎・無	ペースメーカー	◎・無
無菌病室等	[固定式の場合] 床面積 17.29 m ² [移動式の場合] 台数 台		病床数	1床		
医薬品情報管理室	[専用室の場合] 床積 32.03 m ² [共用室の場合] 共用する室名					
化学検査室	622.88m ²	鉄骨鉄筋コンクリート造	(主な設備) 生化学自動分析装置日立7700型、 生化学自動分析装置日立LABOSPECT008型			
細菌検査室	134.12m ²	鉄骨鉄筋コンクリート造	(主な設備) 血液培養装置バクテアラート3D、 COBAS Taqman48、嫌気ワークステーション			
病理検査室	155.87m ²	鉄骨鉄筋コンクリート造	(主な設備) 免疫染色装置ペンタナNX、 遺伝子増幅検出装置RD-100i			
病理解剖室	101.56m ²	鉄骨鉄筋コンクリート造	(主な設備) 解剖実験台			
研究室	4104.7m ²	鉄骨鉄筋コンクリート造	(主な設備) 超音波画像診断装置、透過電子顕微鏡、 高速液体クロマトグラフ質量分析計、 共焦点レーザー走査型顕微鏡			
講義室	2042.22 m ²	鉄骨鉄筋コンクリート造	室数	10室	収容定員	1,869人
図書室	1557.83 m ²	鉄骨鉄筋コンクリート造	室数	5室	蔵書数	164,000冊程度

(注) 1 主要構造には、鉄筋コンクリート、簡易耐火、木造等の別を記入すること。

2 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器を記入すること。

11 紹介率及び逆紹介率の前年度の平均値

算定期間		平成27年4月1日～平成28年3月31日	
紹介率	83.0%	逆紹介率	62.2%
算出根拠	A：紹介患者の数	21,736人	
	B：他の病院又は診療所に紹介した患者の数	17,321人	
	C：救急用自動車によって搬入された患者の数	1,373人	
	D：初診の患者の数	27,847人	

- (注) 1 「紹介率」欄は、A、Cの和をDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
 2 「逆紹介率」欄は、BをDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
 3 A、B、C、Dは、それぞれの前年度の延数を記入すること。

12 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由 (注)

氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害関係	委員の要件 該当状況
				有・無	
				有・無	
				有・無	
				有・無	
				有・無	

- (注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1～3のいずれかを記載すること。
 1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
 2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者 (1. に掲げる者を除く。)
 3. その他

13 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由の公表の状況

委員名簿の公表の有無	有・ 無
委員の選定理由の公表の有無	有・ 無
公表の方法	

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
1	球脊髄性筋萎縮症	5	56	ベーチェット病	90
2	筋萎縮性側索硬化症	36	57	特発性拡張型心筋症	81
3	脊髄性筋萎縮症		58	肥大型心筋症	12
4	原発性側索硬化症	2	59	拘束型心筋症	
5	進行性核上性麻痺	19	60	再生不良性貧血	52
6	パーキンソン病	353	61	自己免疫性溶血性貧血	1
7	大脳皮質基底核変性症	8	62	発作性夜間ヘモグロビン尿症	5
8	ハンチントン病	3	63	特発性血小板減少性紫斑病	112
9	神経有棘赤血球症		64	血栓性血小板減少性紫斑病	
10	シャルコー・マリー・トゥース病	1	65	原発性免疫不全症候群	4
11	重症筋無力症	125	66	IgA 腎症	14
12	先天性筋無力症候群		67	多発性嚢胞腎	7
13	多発性硬化症/視神経脊髄炎	108	68	黄色靱帯骨化症	11
14	慢性炎症性脱髄性多発神経炎/多巣性運動ニューロパチー	45	69	後縦靱帯骨化症	86
15	封入体筋炎	1	70	広範脊柱管狭窄症	6
16	クドウ・深瀬症候群	2	71	特発性大腿骨頭壊死症	37
17	多系統萎縮症	30	72	下垂体性ADH分泌異常症	19
18	脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く。)	57	73	下垂体性TSH分泌亢進症	
19	ライソゾーム病	2	74	下垂体性PRL分泌亢進症	5
20	副腎白質ジストロフィー	1	75	クッシング病	4
21	ミトコンドリア病	9	76	下垂体性ゴナドトロピン分泌亢進症	
22	もやもや病	21	77	下垂体性成長ホルモン分泌亢進症	23
23	プリオン病	1	78	下垂体前葉機能低下症	47
24	亜急性硬化性全脳炎		79	家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	
25	進行性多巣性白質脳症		80	甲状腺ホルモン不応症	
26	HTLV-1関連脊髄症	6	81	先天性副腎皮質酵素欠損症	
27	特発性基底核石灰化症		82	先天性副腎低形成症	
28	全身性アミロイドーシス	7	83	アジソン病	1
29	ウルリッヒ病		84	サルコイドーシス	148
30	遠位型ミオパチー		85	特発性間質性肺炎	31
31	ペスレムミオパチー		86	肺動脈性肺高血圧症	28
32	自己食食空胞性ミオパチー		87	肺静脈閉塞症/肺毛細血管腫症	
33	シュワルツ・ヤンベル症候群		88	慢性血栓性肺高血圧症	14
34	神経線維腫症	26	89	リンパ脈管筋腫症	1
35	天疱瘡	38	90	網膜色素変性症	123
36	表皮水疱症	1	91	バッド・キアリ症候群	16
37	膿疱性乾癬(汎発型)	25	92	特発性門脈圧亢進症	
38	スティーヴンス・ジョンソン症候群	1	93	原発性胆汁性肝硬変	47
39	中毒性表皮壊死症	3	94	原発性硬化性胆管炎	1
40	高安動脈炎	29	95	自己免疫性肝炎	11
41	巨細胞性動脈炎	1	96	クローン病	86
42	結節性多発動脈炎	20	97	潰瘍性大腸炎	289
43	顕微鏡的多発血管炎	58	98	好酸球性消化管疾患	
44	多発血管炎性肉芽腫症	21	99	慢性特発性偽性腸閉塞症	
45	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	10	100	巨大膀胱短小結腸腸管蠕動不全症	
46	悪性関節リウマチ	24	101	腸管神経節細胞減少症	
47	バージャー病	17	102	ルビンシュタイン・テイビ症候群	
48	原発性抗リン脂質抗体症候群	1	103	CFC症候群	
49	全身性エリテマトーデス	325	104	コステロ症候群	
50	皮膚筋炎/多発性筋炎	132	105	チャージ症候群	
51	全身性強皮症	159	106	クリオピリン関連周期熱症候群	
52	混合性結合組織病	51	107	全身型若年性特発性関節炎	
53	シェーグレン症候群	26	108	TNF受容体関連周期性症候群	
54	成人ステル病	12	109	非典型溶血性尿毒症症候群	
55	再発性多発軟骨炎	7	110	ブラウ症候群	

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
111	先天性ミオパチー	1	161	家族性良性慢性天疱瘡	
112	マリネスコ・シェーグレン症候群		162	類天疱瘡(後天性表皮水疱症を含む。)	5
113	筋ジストロフィー	4	163	特発性後天性全身性無汗症	
114	非ジストロフィー性ミオトニー症候群		164	眼皮膚白皮症	
115	遺伝性周期性四肢麻痺		165	肥厚性皮膚骨膜炎	
116	アトピー性脊髄炎		166	弾性線維性仮性黄色腫	
117	脊髄空洞症	1	167	マルファン症候群	
118	脊髄髄膜瘤		168	エーラス・ダンロス症候群	
119	アイザックス症候群		169	メンケス病	
120	遺伝性ジストニア		170	オクシピタル・ホーン症候群	
121	神経フェリチン症		171	ウイルソン病	4
122	脳表ヘモジデリン沈着症		172	低ホスファターゼ症	
123	禿頭と変形性脊椎症を伴う常染色体劣性白質脳症		173	VATER症候群	
124	皮質下梗塞と白質脳症を伴う常染色体優性脳動脈症		174	那須・ハコラ病	
125	神経軸索スフェロイド形成を伴う遺伝性びまん性白質脳症		175	ウィーバー症候群	
126	ペリー症候群		176	コフィン・ローリー症候群	
127	前頭側頭葉変性症	2	177	有馬症候群	
128	ピッカースタッフ脳幹脳炎		178	モワット・ウィルソン症候群	
129	痙攣重積型(二相性)急性脳症		179	ウィリアムズ症候群	
130	先天性無痛無汗症		180	ATR-X症候群	
131	アレキサンダー病		181	クルーゾン症候群	
132	先天性核上性球麻痺		182	アペール症候群	
133	メウズ症候群		183	ファイファー症候群	
134	中隔視神経形成異常症/ドモルシア症候群		184	アントレー・ビクスラー症候群	
135	アイカルディ症候群		185	コフィン・シリス症候群	
136	片側巨脳症		186	ロスマンド・トムソン症候群	
137	限局性皮質異形成		187	歌舞伎症候群	
138	神経細胞移動異常症		188	多脾症候群	
139	先天性大脳白質形成不全症		189	無脾症候群	
140	ドラベ症候群		190	膵耳腎症候群	
141	海馬硬化を伴う内側側頭葉てんかん		191	ウェルナー症候群	
142	ミオクロニー欠神てんかん		192	コケイン症候群	
143	ミオクロニー脱力発作を伴うてんかん		193	ブラダー・ウィリ症候群	
144	レノックス・ガスター症候群		194	ソトス症候群	
145	ウエスト症候群		195	ヌーナン症候群	
146	大田原症候群		196	ヤング・シンブソン症候群	
147	早期ミオクロニー脳症		197	1p36欠失症候群	
148	遊走性焦点発作を伴う乳児てんかん		198	4p欠失症候群	
149	片側痙攣・片麻痺・てんかん症候群		199	5p欠失症候群	
150	環状20番染色体症候群		200	第14番染色体父親性ダイソミー症候群	
151	ラスマツセン脳炎		201	アンジェルマン症候群	
152	PCDH19関連症候群		202	スミス・マギニス症候群	
153	難治頻回部分発作重積型急性脳炎	2	203	22q11.2欠失症候群	
154	徐波睡眠期持続性棘徐波を示すてんかん性脳症		204	エマヌエル症候群	
155	ランドウ・クレフナー症候群		205	脆弱X症候群関連疾患	
156	レット症候群		206	脆弱X症候群	
157	スタージ・ウェーバー症候群		207	総動脈幹遺残症	
158	結節性硬化症	2	208	修正大血管転位症	
159	色素性乾皮症		209	完全大血管転位症	
160	先天性魚鱗癬		210	単心室症	

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
211	左心低形成症候群		259	レシチンコレステロールアシルトランスフェラーゼ欠損症	
212	三尖弁閉鎖症		260	シトステロール血症	
213	心室中隔欠損を伴わない肺動脈閉鎖症		261	タンジール病	
214	心室中隔欠損を伴う肺動脈閉鎖症		262	原発性高カイロミクロン血症	
215	ファロー四徴症		263	脳腫黄色腫症	
216	両大血管右室起始症		264	無βリポタンパク血症	
217	エプスタイン病		265	脂肪萎縮症	
218	アルポート症候群		266	家族性地中海熱	
219	ギャロウェイ・モワト症候群		267	高IgD症候群	
220	急速進行性糸球体腎炎		268	中條・西村症候群	
221	抗糸球体基底膜腎炎		269	化膿性無菌性関節炎・壊疽性膿皮症・アクネ症候群	
222	一次性ネフローゼ症候群	10	270	慢性再発性多発性骨髄炎	1
223	一次性膜性増殖性糸球体腎炎		271	強直性脊椎炎	8
224	紫斑病性腎炎	3	272	進行性骨化性線維異形成症	
225	先天性腎性尿崩症		273	肋骨異常を伴う先天性側弯症	
226	間質性膀胱炎(ハンナ型)		274	骨形成不全症	
227	オスラー病	1	275	タナトフォリック骨異形成症	
228	閉塞性細気管支炎		276	軟骨無形成症	
229	肺胞蛋白症(自己免疫性又は先天性)		277	リンパ管腫症/ゴーハム病	1
230	肺胞低換気症候群		278	巨大リンパ管奇形(頸部顔面病変)	
231	α1-アンチトリプシン欠乏症		279	巨大静脈奇形(頸部口咽頭びまん性病変)	
232	カーニー複合		280	巨大動静脈奇形(頸部顔面又は四肢病変)	
233	ウォルフラム症候群		281	クリッペル・トレノネー・ウェーバー症候群	1
234	ペルオキシソーム病(副腎白質ジストロフィーを除く。)		282	先天性赤血球形成異常性貧血	
235	副甲状腺機能低下症		283	後天性赤芽球癆	
236	偽性副甲状腺機能低下症		284	ダイヤモンド・ブラックファン貧血	
237	副腎皮質刺激ホルモン不応症		285	ファンコニ貧血	
238	ビタミンD抵抗性くる病/骨軟化症		286	遺伝性鉄芽球性貧血	
239	ビタミンD依存性くる病/骨軟化症		287	エプスタイン症候群	
240	フェニルケトン尿症		288	自己免疫性出血病XIII	
241	高チロシン血症1型		289	クロンカイト・カナダ症候群	
242	高チロシン血症2型		290	非特異性多発性小腸潰瘍症	
243	高チロシン血症3型		291	ヒルシュスブルング病(全結腸型又は小腸)	
244	メープルシロップ尿症		292	総排泄腔外反症	
245	プロピオン酸血症		293	総排泄腔遺残	
246	メチルマロン酸血症		294	先天性横隔膜ヘルニア	
247	イソ吉草酸血症		295	乳幼児肝巨大血管腫	
248	グルコーストランスポーター1欠損症		296	胆道閉鎖症	
249	グルタル酸血症1型		297	アラジール症候群	
250	グルタル酸血症2型		298	遺伝性膀胱炎	1
251	尿素サイクル異常症		299	嚢胞性線維症	
252	リジン尿性蛋白不耐症		300	IgG4関連疾患	4
253	先天性葉酸吸収不全		301	黄斑ジストロフィー	
254	ポルフィリン症		302	レーベル遺伝性視神経症	
255	複合カルボキシラーゼ欠損症		303	アッシュャー症候群	
256	筋型糖原病		304	若年発症型両側性感音難聴	
257	肝型糖原病		305	遅発性内リンパ水腫	
258	ガラクトース-1-リン酸ウリジルトランスフェラーゼ欠損症		306	好酸球性副鼻腔炎	1

(注)「患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

5 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(基本診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・地域歯科診療支援病院歯科初診料	・救命救急入院料
・歯科外来診療環境体制加算	・特定集中治療室管理料
・歯科診療特別対応連携加算	・新生児特定集中治療室管理料1
・特定機能病院入院基本料	・新生児治療回復室入院医療管理料
・臨床研修病院入院診療加算	・小児入院医療管理料2
・救急医療管理加算	・脳卒中ケアユニット入院医療管理料
・超急性期脳卒中加算	・
・妊産婦緊急搬送入院加算	・
・診療録管理体制加算	・
・急性期看護補助体制加算	・
・看護職員夜間配置加算	・
・療養環境加算	・
・重症者等療養環境特別加算	・
・無菌治療室管理加算	・
・緩和ケア診療加算	・
・がん診療連携拠点病院加算	・
・栄養サポートチーム加算	・
・医療安全対策加算	・
・感染防止対策加算	・
・患者サポート体制充実加算	・
・褥瘡ハイリスク患者ケア加算	・
・ハイリスク妊婦管理加算	・
・ハイリスク分娩管理加算	・
・退院支援加算	・
・総合評価加算	・
・データ提出加算	・

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

NO.1

施設基準の種類	施設基準の種類
・高度難聴指導管理料	・神経学的検査
・がん性疼痛緩和指導管理料	・補聴器適合検査
・がん患者指導管理料	・コンタクトレンズ検査料1
・外来緩和ケア管理料	・小児食物アレルギー負荷検査
・移植後患者指導管理料	・センチネルリンパ節生検(乳がんに係るものに限る。)
・糖尿病透析予防指導管理料	・CT透視下気管支鏡検査加算
・院内トリアージ実施料	・画像診断管理加算2
・ニコチン依存症管理料	・ポジトロン断層撮影、ポジトロン断層・コンピュータ断層複合撮影、ポジトロン断層
・地域連携診療計画管理料	・CT撮影及びMRI撮影
・がん治療連携計画策定料	・冠動脈CT撮影加算
・がん治療連携管理料	・外傷全身CT加算
・肝炎インターフェロン治療計画料	・大腸CT撮影加算
・薬剤管理指導料	・心臓MRI撮影加算
・医療機器安全管理料1	・抗悪性腫瘍剤処方管理加算
・医療機器安全管理料2	・外来化学療法加算1
・造血器腫瘍遺伝子検査	・無菌製剤処理料
・HPV核酸検出及びHPV核酸検出(簡易ジェノタイプ判定)	・心大血管疾患リハビリテーション料(1)
・検体検査管理加算(IV)	・脳血管疾患等リハビリテーション料(1)
・遺伝カウンセリング加算	・運動器リハビリテーション料(1)
・心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算	・呼吸器リハビリテーション料(1)
・植込型心電図検査	・がん患者リハビリテーション料
・時間内歩行試験	・イソールの局所注入(甲状腺に対するもの)
・胎児心エコー法	・透析液水質確保加算
・ヘッドアップティルト試験	・一酸化窒素吸入療法
・皮下連続式グルコース測定	・歯科技工加算
・長期継続頭蓋内脳波検査	・皮膚悪性腫瘍切除術(悪性黒色腫センチネルリンパ節加算を算定する場合に限る。)

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

NO.2

施設基準の種類	施設基準の種類
・脳刺激装置植込術(頭蓋内電極植込術を含む。)及び脳刺激装置交換術、脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術	・腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術
・人工内耳植込術、植込型骨導補聴器移植術及び植込型骨導補聴器交換術	・医科点数表第2章第10部手術の通則5及び6(歯科点数表第2章第9部の通則4を含む。)に掲げる手術
・乳がんセンチネルリンパ節加算1、乳がんセンチネルリンパ節加算2	・輸血管理料I
・経皮的冠動脈形成術	・人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算
・経皮的冠動脈形成術(特殊カテーテルによるもの)	・内視鏡手術用支援機器加算
・経皮的冠動脈ステント留置術	・広範囲顎骨支持型装置埋入手術
・経皮的中隔心筋焼灼術	・麻酔管理料(I)
・ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術	・麻酔管理料(II)
・植込型心電図記録計移植術及び植込型心電図記録計摘出術	・放射線治療専任加算
・両心室ペースメーカー移植術及び両心室ペースメーカー交換術	・外来放射線治療加算
・植込型除細動器移植術、植込型除細動器交換術及び経静脈電極抜去術(レーザーシースを用いるもの)	・高エネルギー放射線治療
・両室ペースメーカー機能付き植込型除細動器移植術及び両室ペースメーカー機能付き植込型除細動器交換術	・強度変調放射線治療(IMRT)
・大動脈バルーンポンプ法(IABP法)	・体外照射呼吸性移動対策加算
・補助人工心臓	・定位放射線治療
・経皮的大動脈遮断術	・定位放射線治療呼吸性移動対策加算
・ダメージコントロール手術	・病理診断管理加算
・体外衝撃波胆石破碎術	・クラウン・ブリッジ維持管理料
・腹腔鏡下肝切除術	・歯科矯正診断料
・腹腔鏡下腓体尾部腫瘍切除術	・心臓ペースメーカー指導管理料(植込型除細動器移行加算)
・早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術	・歯科治療総合医療管理料
・体外衝撃波腎・尿管結石破碎術	・持続血糖測定器加算
・同種死体腎移植術	・光トポグラフィー
・生体腎移植術	・CAD/CAM冠
・膀胱水圧拡張術	・網膜再建術
・腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術	・植込型補助人工心臓(非拍動流型)
・人工尿道括約筋植込・置換術	・歯科口腔リハビリテーション料2

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名	大動脈ステントグラフト治療	取扱患者数	53人
当該医療技術の概要 胸部および腹部大動脈瘤に対して、開胸や開腹を行うことなく血管内治療ができる			
医療技術名	MICS(Minimally Invasive Cardiac Surgery: 低侵襲心臓手術)	取扱患者数	5人
当該医療技術の概要 ①僧帽弁疾患 ②大動脈弁疾患 ③先天性心疾患 ④不整脈 に対し、小切開により直視下またはVideo Assist下で低侵襲に心臓手術を行う。			
医療技術名	末期重症心不全に対する補助人工心臓の植込み	取扱患者数	2人
当該医療技術の概要 あらゆる内科的治療や外科的治療でも効果がない末期重症心不全患者に対しては心臓移植が唯一の治療法であるが、ドナー数や移植タイミングに大きな制約があり、移植までの橋渡しの治療としての役割が大きい。			
医療技術名	強度変調放射線治療	取扱患者数	86人
当該医療技術の概要 頭頸部腫瘍、頸部食道癌、あるいは前立腺癌などに対して照射強度を最適に変調したビームを用いる高精度放射線治療。通常照射法に比較して合併症の低減と局所制御の向上が示されている。			
医療技術名	定位放射線治療	取扱患者数	11人
当該医療技術の概要 脳あるいは体幹部の原発性あるいは転移性腫瘍に対して多方向から高精度に照射し、1回大線量を数回で照射する高精度放射線治療。高い局所制御率が示されている。			
医療技術名	125-I永久挿入密封小線源治療	取扱患者数	34人
当該医療技術の概要 比較的低リスクの前立腺癌に対して125-I線源を永久挿入する前立腺癌に対する根治的治療法。高い局所制御率が示されている。			
医療技術名	腰痛に対するパルス高周波熱凝固法	取扱患者数	9人
当該医療技術の概要 腰痛椎間関節症ならびに仙腸関節性腰痛に対して、X線透視下に専用の針を挿入し、パルス高周波による熱凝固を行っている			
医療技術名	経皮的髄核摘出術	取扱患者数	6人
当該医療技術の概要 頸部、腰痛の椎間板ヘルニアに対して、専用のDecompressorを用いて、低侵襲に髄核の摘出を行っている			
医療技術名	完全胸腔鏡下肺葉切除術	取扱患者数	4人
当該医療技術の概要 比較的早期の肺癌に関して、モニター視のみで小切開より肺葉切除を行う			
医療技術名	胸腔鏡補助下肺区域切除	取扱患者数	4人
当該医療技術の概要 比較的早期の肺癌に関して、胸腔鏡補助下に小切開より肺区域切除をうい、肺機能の温存を行いつつ根治性の高い手術を行う			
医療技術名	大血管切除再建を伴う胸部腫瘍(縦隔腫瘍、肺癌等)の根治術	取扱患者数	2人
当該医療技術の概要 静脈、腕頭静脈、左心房などの合併切除をとまなう手術を心臓外科の協力のもと行っている。			
医療技術名	肺尖部胸壁浸潤がんの放射線化学療法後の完全切除術	取扱患者数	0人
当該医療技術の概要 鎖骨下動静脈、交感神経幹、腕神経叢に近接し、かつ視野のとりにくい肺尖部の胸壁浸潤肺癌(Pancoast肺癌)に対して、放射線化学療法後に完全切除をおこなう			

医療技術名	気管支形成、血管形成をともなう肺切除術	取扱患者数	0人
当該医療技術の概要 肺全摘を避けつつ高い根治性を追求するために行っている。			
医療技術名	完全切除EGFR変異陽性患者に対するゲフィチニブによる術後補助化学療法	取扱患者数	0人
当該医療技術の概要 医師主導治験として該当患者に行っている			
医療技術名	認知症における脳FDG-PET	取扱患者数	26人
当該医療技術の概要 脳の糖代謝異常をみることによりアルツハイマー病と他の認知症疾患を鑑別することができる。次年度より一部は先進医療Bで施行予定。			
医療技術名	脳アミロイドPET	取扱患者数	24人
当該医療技術の概要 アルツハイマー病の原因とされるアミロイドタンパクの脳への沈着をPETにより生体で画像化できる検査			
医療技術名	経頸静脈肝内門脈大循環短絡術	取扱患者数	1人
当該医療技術の概要 経頸静脈肝内門脈大循環短絡術(以下 TIPS)は、門脈圧亢進症に起因するさまざまな症状に対する治療法であり、経皮的に肝内で門脈大循環短絡路を作成することで亢進した門脈圧を減圧します。			
医療技術名	バルーン閉塞下逆行性経静脈的塞栓術	取扱患者数	8人
当該医療技術の概要 胃静脈瘤の流出血管(通常は左腎静脈への後胃静脈)にバルーンカテーテルを挿入して、バルーンを膨らませて血流を止めた状態で胃静脈瘤およびそれを形成する血管叢に硬化剤(オルダミン)を注入して一定時間滞留させ、胃静脈瘤を止血します。			
医療技術名	MRIを用いた肝硬度測定	取扱患者数	120人
当該医療技術の概要 肝臓の線維化診断において各種非侵襲的評価法が肝生検の代替検査となりうるか検討されているが、そのうち非侵襲的評価法としてMRI装置を用いたElastographyによる肝硬度測定が有用とされている。			
医療技術名	経皮経門脈塞栓術	取扱患者数	6人
当該医療技術の概要 葉切除以上の肝切除が必要な肝癌、胆道癌患者に対し、左右いずれかの門脈を塞栓することにより残肝容積を増やし安全な手術を可能にする手技であり、超音波ガイドで門脈を経皮的に穿刺し、バルーンカテーテルとエタノールで門脈枝を塞栓する。			
医療技術名	骨腫瘍に対する経皮的骨形成術	取扱患者数	1人
当該医療技術の概要 悪性腫瘍の骨転移に対し、除痛目的にてQOLの改善を目指す治療である。局所麻酔後、CTまたはX線ガイドに経皮的に骨生検針を病変のある椎体に挿入し、骨セメントを注入する。			
医療技術名	人工内耳埋め込み術	取扱患者数	40人
当該医療技術の概要 両側高度感音難聴に対して行われるインプラント埋め込み術。最近では高音急墜型感音難聴に対し、残存聴力保存型人工内耳埋め込み術(EAS)を施行している。			
医療技術名	骨固定式骨導補聴器埋め込み術	取扱患者数	7人
当該医療技術の概要 補聴器装着困難な伝音難聴、混合難聴に対して行われるチタン性インプラント埋め込み術。			
医療技術名	人工中耳(VSB)埋め込み術	取扱患者数	1人
当該医療技術の概要 鼓室形成術でも聴力改善が困難であった例に対して行われるインプラント埋め込み術。骨固定式骨導補聴器と比較し、よりクリアな音質で聴力を獲得することができる。			
医療技術名	頭頸部表在癌に対する経口的内視鏡切除術	取扱患者数	5人
当該医療技術の概要 内視鏡の進歩により施行されるようになった頭頸部表在癌に対する低侵襲手術。早期下咽頭癌などが適応となる。			
医療技術名	気管支サーモプラスチックシステム(Bronchial Thermoplasty)	取扱患者数	7人
当該医療技術の概要 気管支鏡下でラジオ波によって気管支壁を加熱することで、肥厚した気管支平滑筋を減少させて難治性喘息の増悪を抑制する新規治療法である。1患者に3回の入院で治療する。西日本では当院で開始され、現在も他施設から見学に来られ、技術指導を行っている。			

医療技術名	気管支充填材(EWS)による気管支充填術(気管支塵孔閉鎖術)	取扱患者数	3人
当該医療技術の概要 従来の治療方法で治療できない難治性気胸や気道出血に対して、シリコン製の気管支充填材(EWS: Endoscopic Watanabe Spigot)を気管支鏡を用いて気管支内部から充填して治療する方法で、外科手術を回避する効果がある。			
医療技術名	PMX-DHP (polymyxin B-immobilized fiber column direct hemoperfusion)	取扱患者数	2人
当該医療技術の概要 敗血症、急性呼吸促進症候群(ARDS)、特発性肺線維症(IPF)の急性増悪などに対して、ポリミキシンB固定化線維カラムを用いた直接血液灌流法にてエンドトキシンを除去し、酸素化の障害を改善する治療方法。			
医療技術名	がんペプチドワクチンによる食道癌術後補助免疫療法	取扱患者数	4人
当該医療技術の概要 食道癌特異的ペプチドワクチンを用いて術前治療後の病理学的リンパ節転移陽性根治切除進行食道癌に対し、HLA-A24:02の症例にはワクチンを補助療法として投与する臨床試験を進めている。当初は近畿大学単独施設での探索的研究で行い、現在登録終了してfollow up期間であるが、非投与群に比し倍近い生存率が得られ、その有効性は2016年のASCO煮て発表した。これを受けて現在は第III相企業治験が進行中であるが、現在上部消化管外科の安田卓司がPIとして参画し、研究を推進している。			
医療技術名	cT4局所進行食道癌に対する術前50Gy化学放射線療法とplanned salvage surgery	取扱患者数	3人
当該医療技術の概要 手術をしても切除面に癌の遺残の可能性のある症例に対して根治量の化学放射線療法を行い、切除可能と判断すれば積極的に手術にを追加してSalvegeを行い根治を目指す。			
医療技術名	頸部食道癌に対する喉頭温存術	取扱患者数	1人
当該医療技術の概要 従来は喉頭合併切除が標準術式であった頸部食道癌に対して、化学放射線療法による抗腫瘍効果と我々の考案した喉頭温存術式および嚥下機能補助術式により、「声を残して癌を治す」ことを目指す集学的治療戦略である。			
医療技術名	気管浸潤進行食道癌に対する縦隔気管瘻(Grillo)術	取扱患者数	2人
当該医療技術の概要 頸胸境界部で縦隔内の気管に浸潤する食道癌は切除不能とされ、根治的放射線療法で腫瘍が消失しない限りは治療法がないとされている。しかし、腫瘍が完全に消失する確率は僅か10%前後である。Grilloという縦隔気管瘻手術は前記患者に対しても根治が望める唯一の方法であるが、極めて難易度が高く、リスクが高いことから避けられてきた。我々はこれを克服する術式を考案し、患者のためにリスクをかけてこの唯一の治療法にかけて根治を目指している。			
医療技術名	StageII/III進行食道癌に対する新規DCF術前化学療法	取扱患者数	30人
当該医療技術の概要 JCOG9907試験の結果を受けて現在日本ではStageII/III食道癌に対する標準治療は術前化学療法+手術とされている。しかし、従来のFP化学療法は奏効率も36%と低く十分な効果は期待できず、特にStageIIIでは上乘せ効果は認められていない。一方、FPにDocetaxelを加えた新規レジメンの奏効率は60-70%と高く、StageIIIに対する有効性も含め生存率向上に大きく寄与すると考えられ、現在積極的に適応して成績向上を図っている。			
医療技術名	FDG-PETに基づいた進行食道癌治療戦略の個別化	取扱患者数	100人
当該医療技術の概要 術前化学療法が標準化されたが全員に有効とは限らない。我々はFDG-PETの集積値:SUVmaxが収容量ならびに予後と強い相関があることを明らかにした。切除可能症例であっても、PETでFDGの集積がLNに認めるPET-N(+)は極めて予後不良で術前化学療法の適応である。一方PET-N(-)であれば70%の5生率が期待できる。しかしその中でも主腫瘍におけるFDGの集積値が6.02以上では遠隔再発を来しやすく予後不良で術前化学療法が必要である。このようにPETによる予後予測を基に術前治療の個別化を行い、治療の質向上を図っている。			
医療技術名	胃切除食道癌における食道切除後の有茎空腸による血行再建を伴う安全な食道再建術	取扱患者数	3人
当該医療技術の概要 過去に胃切の既往のある患者さんは、その後に食道癌を維持的に発症する確率は比較的高い。しかし、その食道切除後の再建に関しては大腸や小腸を用いて再建せざるを得ず、その難易度は高い。近隣の施設からの依頼を多く受けるが、その術式の最大の問題点は挙上性とグラフトの血流確保である。挙上性を優先して血管丙を切離すれば血流が悪くなる。いずれをも満足するために、形成外科医と協力して積極的に血管吻合を付加して安全の向上に努めている。内胸動静脈と空腸の動静脈を吻合するが、近年はそのためグラフト壊死は経験していない。			
医療技術名	漿膜浸潤陽性進行胃癌に対するPaclitaxel腹腔内化学療法+3剤併用術前化学療法の有用性	取扱患者数	3人
当該医療技術の概要 漿膜浸潤陽性胃癌は腹膜播種再発の高危険群である。つまり腹膜播種を制御することが最大の鍵である。そこで腹腔内化学療法により腹腔内遊離癌細胞や腹膜播種細胞を、更に3剤全身化学療法で原発腫瘍およびLN転移巣を併せて攻撃することで強力に癌細胞を死滅させ、奏効後に手術を追加して根治を目指す治療である。			

医療技術名	75歳未満の4型または大型3型胃癌に対する術前化学放射線療法の有用性	取扱患者数	2人
当該医療技術の概要 4型または大型3型胃癌は強力的に術前化学療法を行ったとしても原発巣の抗腫瘍効果はそれ程高くなく、術後の腹膜播種再発の可能性が高く、予後不良である。そこで原発腫瘍を強力的に抑え込むことで腹腔への進展を抑制し、予後改善を図る目的で術前化学放射線療法を導入して成績向上を図っている。日本では胃癌に対して化学放射線療法を用いた初めての臨床試験である。			
医療技術名	75歳以上の4型または大型3型胃癌に対する術前化学放射線療法の有用性	取扱患者数	1人
当該医療技術の概要 4型または大型3型胃癌は腹膜播種再発高危険群であるが、75歳以上の高齢者に対しては臓器機能低下から強力的な化学療法の上乗せは困難である。しかし手術単独ではほとんど治癒が望めないことも明らかである。そこで局所治療である放射線を追加し、局所制御効果を高めつつ、全身の副作用を抑えて治療完遂率を上げ、成績向上を図っている。			
医療技術名	術前のTS-1内服投与、パクリタキセル静脈投与及び腹腔内投与並びに術後のパクリタキセル静脈内投与及び腹腔内投与の併用療法 根治切除が可能な漿膜浸潤を伴う胃がん(洗浄細胞診により、がん細胞の存在が認められないものに限る。)	取扱患者数	5人
当該医療技術の概要 漿膜浸潤陽性胃癌は腹膜播種再発の高危険群である。つまり腹膜播種を制御することが最大の鍵である。そこで腹腔ポートを留置し腹腔内化学療法と全身化学療法を併用することにより腹腔内遊離癌細胞、原発腫瘍ならびにLN転移巣を併せて攻撃することで癌細胞を死滅させた後に手術を追加し、その後に再度腹腔内化学療法と全身化学療法を追加することにより根治を目指す治療である。本治療法は既に先進医療として厚生労働大臣の告知を受けている(先進医療告示番号47)。			
医療技術名	転移性脳腫瘍の治療成績の検証	取扱患者数	2人
当該医療技術の概要 本邦における初発の頭蓋内原発胚細胞腫-多施設共同研究によるデータベース作成の試み			
医療技術名	グリオーマにおける化学療法感受性の遺伝子指標の検索	取扱患者数	2人
当該医療技術の概要 グリオーマにおける化学療法感受性の遺伝子指標の検索とそれに基づくテーラーメイド治療法の開発を行う			
医療技術名	小児頭蓋内悪性腫瘍の遺伝子診断	取扱患者数	2人
当該医療技術の概要 小児頭蓋内悪性腫瘍の遺伝子診断体制の構築 I. 髄芽腫、上衣腫			
医療技術名	ヘッドマウント型視野計	取扱患者数	約100人
当該医療技術の概要 社会的失明の1位である緑内障の早期診断を目指し、当教室が中心となって開発した医療機器で、検査場所を選ばず精度の高い視野検査を可能とする。			
医療技術名	輪部移植	取扱患者数	2人
当該医療技術の概要 角膜幹細胞の消失している角膜混濁症例に対して、角膜移植と併施することによって角膜透明治癒率を高める。			

医療技術名	ロボット支援子宮頸がん・体がん根治術	取扱患者数	2人
当該医療技術の概要 手術支援ロボット(da Vinci Si)を用いた子宮頸がんおよび体がん根治術である。従来の開腹術に比較して低侵襲であり、排尿機能障害などの術後合併症も少なくなるという利点がある。癌の根治性についても良好な結果が得られるものである。			
医療技術名	子宮頸癌・子宮体癌における超常磁性酸化鉄(SPIO)造影MRIを用いた所属リンパ節転移診断に関する検討	取扱患者数	1人
当該医療技術の概要 子宮頸癌・体癌のリンパ節転移の診断精度を向上させるため、子宮に頸部にSPIOを局注し、MRIを撮像する。			
医療技術名	血小板凝集能モニタリング	取扱患者数	20人
当該医療技術の概要 冠動脈ステント留置術後に抗血小板薬を服用している症例に対して、患者および家族に説明・同意の上でさまざまな血小板機能検査法を用い血小板凝集能抑制効果を評価し、抗血小板薬抵抗性を示すメカニズムや原因を明らかにすることで、将来的に個々の症例に対して至適な抗血小板療法を選択が可能となることを目指している。			
医療技術名	心臓サルコイドーシスにおけるPET診断	取扱患者数	23人
当該医療技術の概要 FDG-PETを用いて心臓サルコイドーシスの炎症部位診断を行う。			
医療技術名	持続的血糖モニターを用いた冠動脈疾患の患者管理	取扱患者数	25人
当該医療技術の概要 冠動脈疾患合併糖尿病患者に、皮下にセンサーを留置し持続的に血糖値をモニターする。			
医療技術名	運動負荷心エコーを用いた虚血部位の診断	取扱患者数	243人
当該医療技術の概要 運動負荷に心エコーを組み合わせて、心筋虚血を診断する。心エコーを用いて運動負荷前後の左室壁運動を比較して、心筋虚血を壁運動の低下部位から診断する。			
医療技術名	OCT(Optical Coherence Tomography:光干渉断層法)による冠動脈病変の描出	取扱患者数	6人
当該医療技術の概要 OCTは血管内超音波検査(IVUS)と比べて解像度が約10-15μmとIVUSの約10倍の高い分解能を有し、IVUSの弱点である石灰化や血栓などの評価に優れている。冠動脈疾患発生のメカニズムの解明や薬剤溶出性ステント治療後の評価に役立つ事が期待されている。			
医療技術名	冠動脈石灰化病変に対するRotablator治療	取扱患者数	20人
当該医療技術の概要 微小のダイヤモンド粒子でコーティングされた先端チップ(Burr)とそのBurrを回転させる駆動シャフトから構成され、Burrを15~19万回転/分で高速回転することにより、アテローム性プラークを切削する Deviceである。			
医療技術名	心房細動アブレーション	取扱患者数	139人
当該医療技術の概要 心房細動を発症する原因となる不整脈源性を有する肺静脈の同定、カールシステムによる3次元マッピングシステムとスマートタッチシステムによる安全なアブレーション、さらには多点同時マッピングシステムによる心房細動の機序解明などを行い、心房細動の根治治療を行っている。また、新規に導入された冷凍バルーンによる肺静脈隔離術も積極的に行っている。			
医療技術名	植え込み型除細動器ならびに心臓再同期療法	取扱患者数	14人
当該医療技術の概要 致死的不整脈のリスクを有する患者や薬物抵抗性の心不全と心室の非同期的収縮を有する患者に対する植え込み型の治療機器。			
医療技術名	肺高血圧症における運動負荷心エコーの有用性	取扱患者数	18人
当該医療技術の概要 肺動脈性肺高血圧症の患者に運動負荷心エコーと運動負荷右心カテーテル検査を同時に行い、各種血行動態のパラメーターを比較することにより運動負荷心エコー検査の有用性を検証する。また、運動負荷時の血行動態がその後の予後にどのように影響するかもあわせて検討する。			
医療技術名	難治性腸管GVHDに対する経口ベクロメタゾン内服治療	取扱患者数	0人
当該医療技術の概要 同種造血幹細胞移植後の腸管GVHDに対して、ステロイドの全身投与にて効果が無い場合に、非吸収性のベクロメタゾンの経口内服により、副腎皮質ステロイドホルモンの全身投与の副作用なしにて、腸管GVHDの治療を行なう。			
医療技術名	難治性GVHDに対するミコフェノールモヘチル(MMP)治療	取扱患者数	0人
当該医療技術の概要 副腎皮質ステロイドホルモんに抵抗性GVHDを呈する患者に対して、ミコフェノールモヘチルの投与を行う。			
医療技術名	頻回再発型ネフローゼ症候群に対する高用量プレドニソン治療	取扱患者数	20人
当該医療技術の概要 プレドニソン血中濃度モニタリングを行ない、投与量を調節して、小児頻回再発型ネフローゼ症候群の治療を行なう。			

医療技術名	セルセプト薬物モニタリングによる小児ネフローゼ症候群の治療	取扱患者数	5人
当該医療技術の概要 セルセプト血中濃度測定により、投与量を調節し、小児難治性ネフローゼ症候群の治療を行なう。			
医療技術名	小児期IgA腎症に対する扁桃摘出療法	取扱患者数	4人
当該医療技術の概要 内科的治療による改善が不十分な症例に対して扁桃摘出療法を行なう。			
医療技術名	小児期および先天性心疾患に対する高周波カテーテル心筋焼灼術	取扱患者数	38
当該医療技術の概要 全身麻酔下で三次元マッピング装置を用いて小児期および先天性心疾患に対するに關与する不整脈器質に対して高周波カテーテル心筋焼灼術の治療を行なう。			
医療技術名	小児期植え込み型除細動器移植術	取扱患者数	1人
当該医療技術の概要 小児期の先天性不整脈器質(QT延長症候群など)の心室頻拍に植え込み型除細動器の移植を行う。			
医療技術名	爪郭部ビデオ毛細血管顕微鏡検査(NVC)による肺高血圧症発症リスクの診断	取扱患者数	25人
当該医療技術の概要 NVCによる爪郭部毛細血管像から膠原病性肺高血圧症の診断、治療評価に利用している。			
医療技術名	OOKP(歯根部利用人工角膜手術)	取扱患者数	1人
当該医療技術の概要 角膜瘻痕などによる視力障害患者を歯を支持にした人工角膜で視力回復させる手術。			
医療技術名	進行再発トリプルネガティブ乳癌を対象としたペンプロリズマブの3相試験	取扱患者数	7人
当該医療技術の概要 企業治験による比較第三相試験 参加者2人 エストロゲン受容体陰性HER2陰性の進行再発乳癌を対象			
医療技術名	エストロゲン受容体陽性、HER2陰性の閉経後進行再発乳癌を対象としたアペマシクリブとアロマトーゼ阻害薬併用の3相試験	取扱患者数	5人
当該医療技術の概要 企業治験による比較第三相試験 参加者4人 エストロゲン受容体陽性HER2陰性の進行再発乳癌を対象			
医療技術名	エストロゲン受容体陽性、HER2陰性の閉経後進行再発乳癌を対象とした塩化ラジウム ²²³ の3相試験	取扱患者数	2人
当該医療技術の概要 企業治験による比較第三相試験 エストロゲン受容体陽性HER2陰性の進行再発乳癌を対象			
医療技術名	タモキシフェンのファーマコジェニクス(CYP2D6)を用いた3相試験 (AMED)	取扱患者数	10人
当該医療技術の概要 医師主導の比較第三相試験 エストロゲン受容体陽性HER2陰性の進行再発乳癌を対象			
医療技術名	HER2陰性進行再発乳癌におけるエリブリンとエスワン併用療法に関する2相試験	取扱患者数	19人
当該医療技術の概要 医師主導の比較第二相試験 HER2陰性の進行再発乳癌を対象			
医療技術名	4期乳癌に対する原発切除の意義に関する3相試験 (JCOG1017)	取扱患者数	5人
当該医療技術の概要 医師主導の比較第三相試験 4期乳癌を対象とし薬物療法と薬物療法に続く原発手術を比較			

医療技術名	再発高リスク乳癌術後患者のインテンシブフォローアップに関する3相試験 (JCOG1204)	取扱患者数	2人
当該医療技術の概要 医師主導の比較第三相試験 ハイリスク根治手術後のフォローアップに関してインテンシブフォローの意義を検討			
医療技術名	HER2陽性進行再発乳がんに対するペルツズマブ再投与の意義を検討する3相試験 (JBCRG M06)	取扱患者数	1人
当該医療技術の概要 医師主導の比較第三相試験 HER2陽性の進行再発乳癌を対象			
医療技術名	ニボルマブの有効性を検討するバイオマーカー試験 (Nivolution試験)	取扱患者数	50人
バイオマーカー第II相試験 医師主導治験 既治療進行再発非小細胞肺癌に対してニボルマブと血液、腫瘍組織のバイオマーカー候補との有効性の相関を検討		50例	
医療技術名	ニボルマブとニボルマブ・イピリムマブ併用療法および化学療法併用療法の有効性を検討する第III相臨床試験)	取扱患者数	6人
比較第III相試験 未治療進行非小細胞肺癌を対象とした企業治験 標準療法とニボルマブおよびイピリムマブや化学療法との併用の有効性を検証		50例	
医療技術名	EGFR遺伝子変異陽性EGFR阻害剤後のニボルマブの臨床試験	取扱患者数	2人
比較第II相試験 西日本癌研究多施設共同の医師主導臨床試験 EGFR遺伝子変異陽性のEGFR-TKI耐性で再生検にてT790M変異陰性患者		10例	
医療技術名	ゲフィチニブと放射線治療の同時併用療法	取扱患者数	3人
単アーム第II相試験 WJOG多施設共同医師主導臨床試験		3例	
医療技術名	肺癌を対象としたドライバー遺伝子変異の分子スクリーニング	取扱患者数	250人
医師主導臨床試験 パラフィン包埋ブロックからDNAおよびRNAを抽出 次世代シーケンサーなどを用いて約30遺伝子の遺伝子異常と融合遺伝子を検出する		250症例	
医療技術名	固形癌を対象としたドライバー遺伝子変異の分子スクリーニング	取扱患者数	200人
医師主導臨床試験 パラフィン包埋ブロックからDNAおよびRNAを抽出 次世代シーケンサーなどを用いて約30遺伝子の遺伝子異常と融合遺伝子を検出する		200症例	
医療技術名	cMET阻害剤INC280単剤による治療	取扱患者数	1人
企業治験による臨床第II相試験 肺扁平上皮癌の2次、3次治療症例		1例	
医療技術名	アベマサイクリブとエルロチニブの比較試験	取扱患者数	2人
企業治験の第III相比較試験 KRAS変異陽性のIV期非小細胞肺癌 プラチナ併用療法治療後の2次治療、3次治療症例		2症例	
医療技術名	エルロチニブとラムシルマブの併用療法	取扱患者数	5人
企業治験による比較III相試験 EGFR遺伝子変異陽性肺癌初回治療例が対象 エルロチニブ150mg/日連日投与とラムシルマブ10mg iv/2週を併用する		2症例	
医療技術名	第3世代EGFRチロシinkinase阻害剤ASP8273単剤による治療	取扱患者数	4人
企業治験による第III相比較試験 EGFR遺伝子変異陽性肺癌化学療法未治療症例が対象 ASP8273単剤を300mg/日で連日投与		4例	

医療技術名	未治療原発不明癌に対する次世代シーケンスを用いた原発巣推定に基づく治療効果の意義を問う第II相試験	取扱患者数	14人
	(AMED)医師主導第II相臨床試験 未治療原発不明癌 次世代シーケンシングにて推定された原発巣の標準化学療法を行う	14例	
医療技術名	PARP阻害剤M14-359Valiparibとカルボプラチン+パクリタキセル併用療法	取扱患者数	5人
	企業治験による第III相試験 非扁平非小細胞肺癌初回治療例を対象 喫煙者および元喫煙者を対象とした臨床試験	5症例	
医療技術名	特定の分子異常を有する進行非小細胞肺癌患者を対象としたPF-06463922 (ALK/ROS1 チロシンキナーゼ阻害剤) の第1/2相試験	取扱患者数	7人
	企業治験による第I・II相試験 ALK融合遺伝子/ROS-1融合遺伝子陽性非小細胞肺癌の未治療、既治療例 PF-06463922の有効性を検討する	7症例	
医療技術名	AXL阻害剤ASP2215とタルセバの併用療法	取扱患者数	4人
	企業治験による併用臨床第I相試験 EGFR遺伝子変異陽性症例 第1世代EGFRチロシンキナーゼ阻害剤の既治療例でT790M遺伝子変異陰性症例	4症例	
医療技術名	肺がんを対象としたPD1抗体であるMK3475とプラチナ併用療法	取扱患者数	4人
	企業治験の併用第I相比較試験 IV期非小細胞肺癌初回治療例 シスプラチン+ペメトレキセドまたはカルボプラチン+ペメトレキセドを選択して併用	4症例	
医療技術名	第2世代ALK阻害剤セリチニブ単剤による治療	取扱患者数	4人
	企業治験によるII相試験 EML4-ALK融合遺伝子陽性クリゾチニブ既治療症例を対象	4症例	
医療技術名	DS-6051b第I相臨床試験—ROS1又はNTRK融合遺伝子を持つ日本人固形癌患者におけるDS-6051bの安全性及び薬物動態の評価	取扱患者数	4人
	企業治験による併用臨床第I相試験 ROS1/NTRK融合遺伝子陽性症例 DS-6051bを漸増し至適容量を決定する	4症例	
医療技術名	固形癌を対象としたPD1抗体であるMK3475の第II相試験	取扱患者数	22人
	企業治験の第II相バイオマーカー試験 10癌腫(小細胞肺癌、胆管がん、胸膜中皮腫、唾液腺がん、子宮体癌/頸癌などを対象 MK-3475の有効性を検討する	22症例	
医療技術名	第2世代ALK阻害剤セリチニブ単剤による治療	取扱患者数	4人
	企業治験によるII相試験 EML4-ALK融合遺伝子陽性クリゾチニブ既治療症例を対象	4症例	
医療技術名	食道表在癌に対する内視鏡的粘膜下層剥離術	取扱患者数	58人
	当該医療技術の概要 食道表在癌に対して、術前にNBI診断で進達度を評価し、一括切除できる内視鏡的粘膜下層剥離術を施行している。全周性の病変に対しても施行可能であり、術後狭窄予防のため、ステロイドの粘膜下層局注を行っている。		
医療技術名	早期胃癌に対する内視鏡的粘膜下層剥離術	取扱患者数	212人
	当該医療技術の概要 早期胃癌に対して内視鏡的粘膜下層剥離術を行っており、術前に超音波内視鏡による進達度診断、NBIによる切除範囲の確定を行っている。		
医療技術名	大腸腫瘍に対する内視鏡的粘膜下層剥離術	取扱患者数	110人
	当該医療技術の概要 大腸腫瘍に対して内視鏡的粘膜下層剥離術を行っている。術前に色素内視鏡やNBIにより、質的診断、進達度診断を行ない、これらの工夫により、一括完全切除が行い得ている。		

医療技術名	肝細胞癌に対する新規の分子標的療法の臨床試験	取扱患者数	32人
当該医療技術の概要 肝動脈化学塞栓療法や既存の分子標的療法(ソラフェニブ)に不応、不耐の切除不能進行肝癌に対して、新規の分子標的療法の有効性を立証するの臨床試験を積極的に行っている。			
医療技術名	肝細胞癌に対する免疫チェックポイント阻害剤の臨床試験	取扱患者数	30人
当該医療技術の概要 肝動脈化学塞栓療法や既存の分子標的療法(ソラフェニブ)に不応、不耐の切除不能進行肝癌に対して、免疫チェックポイント阻害剤の有効性を立証するの臨床試験を積極的に行っている。			
医療技術名	多発性肝嚢胞に対するエタノラミンを用いた硬化療法	取扱患者数	2人
当該医療技術の概要 多発性肝嚢胞の治療には、切除や肝移植、内科ではアルコールやマイトマイシン注入が行われていたが、内科的治療の効果は限定的であった。本手法はエタノラミンを用いた硬化療法であり、効果の持続が長期で良好である。			
医療技術名	肝細胞癌に対するUS-US fusion imagingを用いたラジオ波焼灼術	取扱患者数	30人
当該医療技術の概要 ラジオ波焼灼術に際して、焼灼前後の複数の超音波画像を重ね合わせることで、リアルタイムにablativemarginを3次元的に評価し、単回の治療で高い根治性が得られる手法を開発し、用いている。			
医療技術名	EUSガイド下腹腔神経叢ブロック術	取扱患者数	6人
当該医療技術の概要 膵癌などの悪性腫瘍の腹腔神経叢浸潤に伴う難治性の癌性疼痛に対し、EUSガイド下腹腔神経叢ブロック術を行ない、高い除痛効果を得ている。			

計99

(注) 1 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

(注) 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として十以上の診療科名を標榜する病院については、他の医療機関での実施状況を含め、当該医療技術が極めて先駆的であることについて記入すること(当該医療が先進医療の場合についても記入すること)。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
難治性瘵疾患に関する調査研究	竹山 宜典	外科学	5,971,000	補委 厚生労働省
医療における放射線防護と関連法令整備に関する研究	細野 眞	高度先端総合医療センターPET分子イメージング部	3,000,000	補委 厚生労働省
建築物環境衛生管理に係る行政監視等に関する研究	東 賢一	環境医学・行動科学	1,550,000	補委 厚生労働省
科学的エビデンスに基づく「新シックハウス症候群に関する相談と対策マニュアル(改訂版)」の作成	東 賢一	環境医学・行動科学	280,000	補委 厚生労働省
気道障害性を指標とする室内環境化学物質のリスク評価手法の開発に関する研究	東 賢一	環境医学・行動科学	2,000,000	補委 厚生労働省
スモンに関する調査研究	楠 進	神経内科	400,000	補委 厚生労働省
エビデンスに基づいた神経免疫疾患の早期診断基準・重症度分類・治療アルゴリズムの確立	楠 進	神経内科	750,000	補委 厚生労働省
子宮頸がんワクチン接種後の神経障害に関する治療法の確立と情報提供についての研究	楠 進	神経内科	550,000	補委 厚生労働省
腎・泌尿器系の希少・難治性疾患群に関する診断基準・診療ガイドラインの確立	竹村 司	小児科学	600,000	補委 厚生労働省
小児期発症の希少難治性肝胆瘵疾患における包括的な診断・治療ガイドライン作成に関する研究	虫明 聡太郎	奈良病院小児科	120,000	補委 厚生労働省
小児期発症の希少難治性肝胆瘵疾患における包括的な診断・治療ガイドライン作成に関する研究	米倉 竹夫	奈良病院小児外科	120,000	補委 厚生労働省
小児期発症の希少難治性肝胆瘵疾患における包括的な診断・治療ガイドライン作成に関する研究	近藤 宏樹	奈良病院小児科	120,000	補委 厚生労働省
小児期からの希少難治性消化管疾患の移行期を包含するガイドラインの確立に関する研究	虫明 聡太郎	奈良病院小児科	200,000	補委 厚生労働省
小児期からの希少難治性消化管疾患の移行期を包含するガイドラインの確立に関する研究	米倉 竹夫	奈良病院小児外科	100,000	補委 厚生労働省
免疫性ニューロパシーの治療反応性予測に基づく有効な治療戦略の構築	楠 進	神経内科	18,846,156	補委 日本医療研究開発機構
慢性ウイルス性肝炎の病態把握(重症度・治療介入時期・治療効果判定・予後予測)のための非侵襲的病態診断アルゴリズムの確立	工藤 正俊	消化器内科	36,940,000	補委 日本医療研究開発機構
ドッグ・リポジショニングによる難治性小児肝内胆管腫瘍の病態解明を目的としたフェーズIIa試験の有効性と安全性の検討を目的とした臨床研究	近藤 宏樹	奈良病院小児科	22,554,385	補委 日本医療研究開発機構
がん疼痛へのオピオイド使用に対するバイオマーカーを用いたランダム化比較試験	中川 和彦	腫瘍内科	21,122,308	補委 日本医療研究開発機構
未治療原発不明癌に対する次世代シーケンスを用いた原発推定に基づく治療効果の意義を問う第II相試験	中川 和彦	腫瘍内科	30,210,000	補委 日本医療研究開発機構
次世代型コンパニオン診断薬の創出に向けた橋渡し研究	西尾 和人	ゲノム生物学	17,498,000	補委 日本医療研究開発機構
Liquid Biopsyによる分子標的薬の治療感受性・抵抗性の予測および新規獲得耐性機序の解明	西尾 和人	ゲノム生物学	14,142,308	補委 日本医療研究開発機構
頭頸部腫瘍に対する強度変調放射線治療の確立と標準化のための臨床研究	西村 恭昌	放射線医学(放射線腫瘍学)	19,361,611	補委 日本医療研究開発機構
慢性炎症に伴う臓器線維化の分子・細胞基盤	義江 修	細菌学	6,300,000	補委 日本医療研究開発機構
SGK1阻害による新規うつ病治療薬の探索-標的探索	宮田 信吾	東洋医学研究所	55,383,292	補委 日本医療研究開発機構
チロシンキナーゼ阻害薬による慢性骨髄性白血病の治療を目指した研究	松村 到	血液・膠原病内科	23,573,429	補委 日本医療研究開発機構

関節鏡視下自己骨髄間葉系幹細胞移植による関節軟骨欠損修復-多施設共同、非盲検、ランダム化、並行比較試験	赤木 将男	整形外科学	1,923,077	補 委	日本医療研究 開発機構
高度リンパ節転移を有するHER2陽性胃癌に対する術前trastuzumab併用化学療法の意味に関する臨床試験	今本 治彦	外科学	700,000	補 委	日本医療研究 開発機構
ドラッグ・リポジショニングによる視神経脊髄炎(NMO)の治療薬開発に関する研究	楠 進	神経内科	1,500,000	補 委	日本医療研究 開発機構
医師主導治験[サリドマイド]	楠 進	神経内科	800,000	補 委	日本医療研究 開発機構
多発性硬化症生体試料バンクを活用したアジア人特有の遺伝環境因子探索による病態解明	楠 進	神経内科	650,000	補 委	日本医療研究 開発機構
抗Neurotactin155抗体関連中枢・末梢神経障害性機群(CC PD/CIDP)の移植ガイン作成のための定量的抗体測定法の開発と表型エピジェネシスの解析	楠 進	神経内科	538,462	補 委	日本医療研究 開発機構
ギラン・バレー症候群に対するエクリズマブの安全性と有効性を評価する前向き・多施設共同・第II相試験	楠 進	神経内科	1,200,000	補 委	日本医療研究 開発機構
進行性家族性肝内胆汁うっ滞症I型患者におけるフェニール酪酸ナトリウムの有効性と安全性の検討を目的としたオープン試験	近藤 宏樹	奈良病院小児科	2,481,000	補 委	日本医療研究 開発機構
小児・若年者の視覚障害の早期発見・診断・治療・訓練・リハビリ等の自立支援に資する技術開発等に関する研究	日下 俊次	堺病院眼科	692,308	補 委	日本医療研究 開発機構
新規血漿因子HRGによる好中球制御を介した敗血症と多臓器不全の治療法開発	高橋 英夫	薬理学	1,160,000	補 委	日本医療研究 開発機構
難治性めまい疾患の診療の質を高める研究	土井 勝美	耳鼻咽喉科学	269,231	補 委	日本医療研究 開発機構
高齢者の小細胞肺癌に対する新たな標準治療の確立に関する研究	中川 和彦	腫瘍内科	384,616	補 委	日本医療研究 開発機構
高齢者進行非扁平上皮非小細胞肺癌に対する標準的科学的療法の確立に関する研究	中川 和彦	腫瘍内科	500,000	補 委	日本医療研究 開発機構
難治性食道がんの治療方針決定に資する技術開発に関する研究	西村 恭昌	放射線医学(放射線腫瘍学)	700,000	補 委	日本医療研究 開発機構
視神経脊髄炎動物モデル作成によるテラーメード治療の確立	宮本 勝一	神経内科	2,500,000	補 委	日本医療研究 開発機構
複合性局所疼痛症候群の汎用的で客観的な重症度評価技術の開発	三木 健司	整形外科学	300,000	補 委	日本医療研究 開発機構
グレリン投与による高齢者食道癌手術の安全性向上に関するランダム化第2相試験	安田 卓司	外科学	900,000	補 委	日本医療研究 開発機構
上皮性卵巣癌の妊孕性温存治療の対象拡大のための非ランダム化検証的試験	山本 嘉一郎	堺病院産婦人科	1,000,000	補 委	日本医療研究 開発機構
切除不能進行・再発胃癌に對する個別化治療と最適化標準治療に関する研究	田村 孝雄	腫瘍内科	1,000,000	補 委	日本医療研究 開発機構
アcantアメラバ角膜炎制御にむけたコンタクトレンズケアの実態調査	江口 洋	堺病院眼科	500,000	補 委	日本医療研究 開発機構
チロシンキナーゼ阻害剤による有効ながん治療の実用化に関する研究(肺がんにおける上皮成長因子受容体チロシンキナーゼ阻害薬耐性機構の解明)	中川 和彦	腫瘍内科	11,818,182	補 委	日本医療研究 開発機構
新生児外科の健診モデル構築とトランジション可能な長期フォローアップ電子手帳の開発	米倉 竹夫	奈良病院小児外科	220,000	補 委	日本医療研究 開発機構
「創薬コンセプトに基づく戦略的治療デザインの確立」(白血病ゲノムに基づく層別化治療の確立)	松村 到	血液・膠原病内科	8,800,000	補 委	日本医療研究 開発機構
近畿大学におけるペプチドワクチン免疫療法のバイオマーカー探索	奥野 清隆	外科学	5,000,000	補 委	日本医療研究 開発機構
時間軸を念頭に適切な医療・ケアを目指した、認知症の人等の全国的な情報登録・連携システムに関する研究	石井 一成	放射線医学(放射線診断学)	2,153,847	補 委	日本医療研究 開発機構
若年女性のスポーツ障害の解析とその予防と治療	武田 卓	東洋医学研究所	769,231	補 委	日本医療研究 開発機構
難治性神経障害性疼痛に対する在宅治療用反復経頭蓋磁気刺激装置の医師主導治験	中村 雄作	堺病院神経内科	2,062,000	補 委	日本医療研究 開発機構
骨一疾患連関を基盤に骨折予防を健康寿命延伸に繋げる大規模コホートの長期追跡	伊木 雅之	公衆衛生学	8,200,000	補 委	日本学術振興 会

細胞内複製制限因子APOBEC3の進化要因としての異種由来レトロウイルス	宮澤 正顕	免疫学	4,300,000	補委	日本学術振興会
プロテオグリカンの糖鎖に焦点をあてた神経難病の病態解明と治療戦略の構築	楠 進	神経内科	3,600,000	補委	日本学術振興会
髄鞘による軸索機能制御に関わる細胞内・細胞間情報伝達機構の解明	宮田 信吾	東洋医学研究所	3,000,000	補委	日本学術振興会
脳機能イメージングを用いた木材による人の心理生理反応とその評価方法に関する研究	東 賢一	環境医学・行動科学	8,900,000	補委	日本学術振興会
グライコアレイ法を用いた免疫性神経疾患の標的抗原の同定と病態解析	楠 進	神経内科	4,800,000	補委	日本学術振興会
行動・代謝の概日リズム安定性、同調性を制御する新規リン酸化シグナルの解明	早坂 直人	免疫学	300,000	補委	日本学術振興会
腎細胞癌に対するマルチペプチドワクチンの開発	植村 天受	泌尿器科学	100,000	補委	日本学術振興会
体脂肪分布の多様性の形成と代謝循環機能:日本人小児一般集団の大規模追跡研究	甲田 勝康	公衆衛生学	800,000	補委	日本学術振興会
救急医療におけるワークフォースに関する検討	平出 敦	救急医学	700,000	補委	日本学術振興会
2×2分割表における因果効果の正確検定に関する研究	千葉 康敬	臨床研究センター	900,000	補委	日本学術振興会
胎生期から成長期の栄養環境が脂質吸収に及ぼす影響	上裕 俊法	臨床検査医学部	1,000,000	補委	日本学術振興会
緑茶が及ぼす加齢ラット脳外傷後の脳機能改善効果及び神経再生促進効果に関する研究	佐藤 隆夫	病理診断科	1,300,000	補委	日本学術振興会
PMS症状を標的とした女性アスリートパフォーマンス改善への栄養学的アプローチ	武田 卓	東洋医学研究所	1,400,000	補委	日本学術振興会
臓器結合型アディポネクチンによる心疾患抑制機構と治療的効果に関する研究	井上 敬夫	病理学	1,300,000	補委	日本学術振興会
アストロサイトに高発現するDISC1の機能解析～統合失調症との関連を中心に～	遠山 正彌	東洋医学研究所	1,600,000	補委	日本学術振興会
哺乳類中枢時計における測時領域の形態機能学的解析	鯉沼 聡	解剖学	2,300,000	補委	日本学術振興会
糖尿病による骨/骨髄相互連関の幹細胞分化誘導障害における線溶系因子の役割の解明	岡田 清孝	基礎医学部門研究室	1,500,000	補委	日本学術振興会
力学的因子により誘導される筋と骨のネットワークシステム	梶 博史	再生機能医学	1,700,000	補委	日本学術振興会
末梢体内時計の人為的操作と概日リズム機構の回復の試み	筋野 貢	解剖学	2,300,000	補委	日本学術振興会
物理的結合を介した時刻情報伝達機構の解明	升本 宏平	解剖学	2,300,000	補委	日本学術振興会
ホメオダイナミクス再生促進創薬の基礎的研究	高橋 英夫	薬理学	1,600,000	補委	日本学術振興会
非ステロイド性抗炎症薬による小腸粘膜傷害でのガレクチン-3および腸内細菌の役割	朴 雅美	細菌学	1,100,000	補委	日本学術振興会
血清分泌型マイクロRNAを用いたソラフェニブ治療効果予測マーカーの開発	工藤 正俊	消化器内科	1,500,000	補委	日本学術振興会
悪性胸膜中皮腫に対する癌幹細胞を標的とした新規治療法の開発	福岡 和也	臨床研究センター	2,000,000	補委	日本学術振興会
2型糖尿病発症因子の解明:多因子疾患における相互作用の検証	馬場谷 成	内分泌・代謝・糖尿病内科	1,800,000	補委	日本学術振興会
1型糖尿病の自己免疫と臓器特異性を一元的に説明する遺伝子の同定と機能解析	池上 博司	内分泌・代謝・糖尿病内科	2,200,000	補委	日本学術振興会
クラスリン依存性エンドサイトーシスを標的とした新規白血球治療法の開発	松村 到	血液・膠原病内科	1,300,000	補委	日本学術振興会
皮膚悪性腫瘍の全エクソンシーケンスによる網羅的遺伝子変異解析	大磯 直毅	皮膚科学	1,300,000	補委	日本学術振興会

食道癌手術後誤嚥に対する潜在的ハイリスク患者の予測システムの構築とその臨床応用	安田 卓司	外科学	1,000,000	補委	日本学術振興会
ステージIII大腸癌の再発予防におけるペプチドワクチン療法の優勢性に関する研究	川村 純一郎	外科学	1,000,000	補委	日本学術振興会
肺がん脳転移発症におけるM2マクロファージの病的意義の解明	奥田 武司	脳神経外科学	1,600,000	補委	日本学術振興会
グリオーマ治療後脳放射線壊死におけるM2マクロファージの病的意義の解明	藤田 貢	細菌学	1,600,000	補委	日本学術振興会
前立腺癌に対する癌ワクチン療法に応用しうるペプチドの同定	南 高文	泌尿器科学	2,200,000	補委	日本学術振興会
内耳に発現するRhoA/ROCK pathwayの分子構造と生理機能の解析	土井 勝美	耳鼻咽喉科学	2,200,000	補委	日本学術振興会
頭頸部癌における機能温存を目指した集学的治療に対するバイオマーカーの開発	家根 旦有	奈良病院耳鼻咽喉科	1,300,000	補委	日本学術振興会
高密度視野測定による視野感度の研究	奥山 幸子	眼科学	3,300,000	補委	日本学術振興会
変視症の定量化に関する研究	小池 英子	眼科学	2,000,000	補委	日本学術振興会
中枢神経障害による筋緊張異常症の代謝機能に及ぼす影響と治療評価に関する研究	内山 卓也	堺病院脳神経外科	600,000	補委	日本学術振興会
パーキンソン病の歩行障害に対する脊髄刺激療法の刺激機序と効果的な刺激方法の探求	中野 直樹	脳神経外科学	400,000	補委	日本学術振興会
鍼刺激療法を用いた心不全に対する新規制御システムの構築	山本 裕美	循環器内科	700,000	補委	日本学術振興会
レスベトロールのアザ誘導体化合物による細胞増殖抑制機構の解明	藤田 至彦	ゲノム生物学	1,000,000	補委	日本学術振興会
脳白質におけるリン酸化とメチル化をキーとしたうつ病発症機構の解明	宮田 信吾	東洋医学研究所	1,200,000	補委	日本学術振興会
加齢性疾患の予知を目的としたバイオマーカーの検討	水野 成人	奈良病院内視鏡部	1,100,000	補委	日本学術振興会
組織線溶系によるマクロファージを介した新規な骨・軟骨再生機構	河尾 直之	再生機能医学	1,200,000	補委	日本学術振興会
レトロウイルスのToll様受容体を利用した免疫回避機構の解明	河原 佐智代	免疫学	700,000	補委	日本学術振興会
HIV-1 Vprによるオートファジー制御の分子機構と感染における意義の解明	博多 義之	免疫学	1,300,000	補委	日本学術振興会
膝疾患の診断能・予後の向上を目指した超音波内視鏡技術の開発	北野 雅之	消化器内科	900,000	補委	日本学術振興会
気道平滑筋の遊走能と収縮能の制御に基づく喘息分子標的療法	久米 裕昭	呼吸器・アレルギー内科	600,000	補委	日本学術振興会
神経変性疾患の新規原因蛋白p62とユビキリン2の関連と治療的蛋白分解亢進	平野 牧人	堺病院神経内科	1,200,000	補委	日本学術振興会
1型糖尿病遺伝子解析による免疫制御機構の解明と発症予防への展開	廣峰 義久	内分泌・代謝・糖尿病内科	800,000	補委	日本学術振興会
変異型レセプター型チロシンキナーゼの細胞内輸送を標的とした新規白血球治療法の開発	田中 宏和	血液・膠原病内科	900,000	補委	日本学術振興会
近赤外線スペクトロスコピーによる気分障害におけるリチウム反応性、自殺傾性の評価	白川 治	精神神経科学	600,000	補委	日本学術振興会
アルファ線放出核種ラジウム-223による骨転移治療の基礎的検討	細野 眞	高度先端総合医療センターPET分子イメージング部	900,000	補委	日本学術振興会
金属粉含有機能紙による新しい放射線防護材の研究・開発	門前 一	大学院医学研究科	500,000	補委	日本学術振興会
腫瘍内低酸素イメージングに基づく高精度放射線治療の開発	西村 恭昌	放射線医学教室(放射線腫瘍学部門)	1,500,000	補委	日本学術振興会
ストレス応答分子としてのRhoファミリータンパク質の機能と関節変性反応への関与	福田 寛二	リハビリテーション医学	1,200,000	補委	日本学術振興会

レニン・アンジオテンシン系の変形性膝関節症の発症および進行に与える影響	赤木 将男	整形外科学	1,200,000	補委	日本学術振興会
吸収性ナノファイバーを応用した自家移植モデルにおける耳介形状軟骨の再生誘導	磯貝 典孝	形成外科学	600,000	補委	日本学術振興会
口蓋裂形成手術後のろう孔発生を防止するための多血小板血漿を用いた臨床学的研究	松永 和秀	歯科口腔外科	900,000	補委	日本学術振興会
運動習慣による傷害脳再生起点の延長	丹羽 淳子	薬理学	1,300,000	補委	日本学術振興会
運動中の体性感覚フィードバック処理のメカニズム	村田 哲	生理学	1,500,000	補委	日本学術振興会
大脳皮質と基底核の機能連関による時間計測機構	稲瀬 正彦	生理学	700,000	補委	日本学術振興会
HER2陽性乳癌、胃癌におけるheregulinによる抗HER2薬の効果予測	鶴谷 純司	腫瘍内科	1,600,000	補委	日本学術振興会
胚盤胞を抗原として網羅的に作製したモノクローナル抗体ライブラリーの抗原同定	佐藤 泰史	病理学	1,200,000	補委	日本学術振興会
体内時計中枢である視交叉上核における光入力制御に係わるゲート機構の解明	長野 護	解剖学	600,000	補委	日本学術振興会
体内時計中枢ゲート機構の探求—位相特異的光照射情報遮断の仕組みに迫る—	重吉 康史	解剖学	1,300,000	補委	日本学術振興会
粘膜免疫におけるCCL28の役割の解明	義江 修	細菌学	1,700,000	補委	日本学術振興会
大規模男性コホート研究による骨粗鬆症性骨折リスク評価法FRAXの有効性評価と改良	由良 晶子	公衆衛生学	1,100,000	補委	日本学術振興会
大腸癌、炎症性腸疾患における新規治療標的分子およびバイオマーカーの探索	櫻井 俊治	消化器内科	1,400,000	補委	日本学術振興会
気管支喘息における呼吸困難と脳活動に関する研究	東本 有司	呼吸器・アレルギー内科	1,100,000	補委	日本学術振興会
IRS1/インスリンシグナルによるポドサイト障害修復メカニズムの解明	美馬 晶	奈良病院血液内科	1,400,000	補委	日本学術振興会
1型糖尿病濃厚発症家系を用いた1型糖尿病疾患感受性遺伝子の同定と機能解析	川畑 由美子	内分泌・代謝・糖尿病内科	900,000	補委	日本学術振興会
免疫寛容破綻の機序解明とその制御による1型糖尿病発症修飾への応用	能宗 伸輔	内分泌・代謝・糖尿病内科	1,100,000	補委	日本学術振興会
エビジェネティック制御因子HIDAC8のATL発がんにおける役割の解明	樋口 智紀	細菌学	1,200,000	補委	日本学術振興会
小児胆汁うっ滞性疾患における胆汁酸/糖・脂質代謝制御機構破綻のメカニズムの検討	近藤 宏樹	奈良病院小児科	1,500,000	補委	日本学術振興会
ミノリピン吸収における濃縮型拡散トランスポーターの関与	岡田 満	総合医学教育研修センター	900,000	補委	日本学術振興会
抗精神病薬の作用機序を探る; Kv3チャネルファミリーの発現調節	柳 雅也	精神神経科学	1,100,000	補委	日本学術振興会
非侵襲的組織成分診断の為のVirtual CT生検技術の確立	村上 卓道	放射線医学教室(放射線診断学部門)	800,000	補委	日本学術振興会
転移性脳腫瘍におけるWT1ワクチン療法・分子標的治療併用新規集学的治療法の開発	泉本 修一	脳神経外科学	1,300,000	補委	日本学術振興会
迷走神経刺激療法におけるレスポンドのバイオマーカーの探求	加藤 天美	脳神経外科学	1,200,000	補委	日本学術振興会
骨髄間葉系幹細胞移植した同種脱細胞化神経片含有血管柄入りチューブ内での神経再生	柿木 良介	整形外科学	1,300,000	補委	日本学術振興会
前立腺特異的PTEN/p53ダブルノックアウトマウスモデルに関する研究	デベラスコ マルコ	泌尿器科学	1,300,000	補委	日本学術振興会
羊水特異マーカーSCCを用いた母体への羊水流入の影響に関して	大井 豪一	奈良病院産婦人科	700,000	補委	日本学術振興会
聴覚器官としての球形嚢の役割—不可聴音の聴覚認知への関与—	瀬尾 徹	耳鼻咽喉科学	400,000	補委	日本学術振興会

両眼開放視野計の開発ならびに正常者、緑内障への応用	松本 長太	眼科学	100,000	補委	日本学術振興会
自動動的視野測定プログラムの臨床開発	橋本 茂樹	眼科学	1,600,000	補委	日本学術振興会
未熟児網膜症におけるperiostinの役割と2種の抗血管内皮増殖因子治療の検討	日下 俊次	堺病院眼科	1,200,000	補委	日本学術振興会
味覚の認知能力と体組成:地域小児集団の研究	藤田 裕規	公衆衛生学	1,200,000	補委	日本学術振興会
立つ・歩くことと大脳皮質-大脳基底核ループとのかかわり	中崎 克己	生理学	1,900,000	補委	日本学術振興会
骨髄を介した摂食及び食餌同調リズム制御の分子基盤	早坂 直人	免疫学	1,700,000	補委	日本学術振興会
内圧上昇が病変形成に至る分子基盤の解析	伊藤 彰彦	病理学	1,400,000	補委	日本学術振興会
救急応需の基幹的問題の解明に関する検討	平出 敦	救命救急医学	900,000	補委	日本学術振興会
糸球体血行動態調節機構の加齢性変化:腎臓の老化における病態生理的意義	有馬 秀二	内科学	1,200,000	補委	日本学術振興会
PTEN/Atg7 DKOマウス前立腺癌におけるオートファジー機能解析の研究	植村 天受	泌尿器科学	1,200,000	補委	日本学術振興会

計 147

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入する
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
1	能宗 伸輔	内分泌・代謝・糖尿病内科	Organ Specificity in Autoimmune Diseases:Thyroid and Islet Autoimmunity in Alopecia Areata	The Journal of Clinical Endocrinology & Metabolism, 100(5),1976-1983,2015
2	Shiomi A ^a . Kawao N ^b . Yano M ^b . Okada K ^b . Tamura Y ^b . Okumoto K ^c . Matsuo O ^b . Akagi M ^a . Kaji H ^b	^a Department of Orthopaedic Surgery, Kinki University Faculty of Medicine ^b Department of Physiology and Regenerative Medicine, Kinki University Faculty of Medicine ^c Life Science Research Institute, Kinki University	α 2-Antiplasmin is involved in bone loss induced by ovariectomy in mice	Bone,79:233-41,2015
3	石川一樹	放射線腫瘍学部門	Clinical results of definitive-dose (50 Gy/25 fractions) preoperative chemo-radiotherapy for unresectable esophageal cancer.	Int J Clin Oncol 20:531-537. 2015
4	川守田龍、 西村恭昌	放射線腫瘍学部門	Novel anisotropic margin calculation based on the cumulative frequency distribution of uncertainties in the clinical target volume.	OMICS J Radiol 4:202, 2015
5	西村恭昌	放射線腫瘍学部門	Clinical outcomes of radiotherapy for esophageal cancer between 2004 and 2008: the second survey of the Japanese Radiation Oncology Study Group (JROSG).	Int J Clin Oncol. 21:88-94, 2016
6	古平毅、 西村恭昌	放射線腫瘍学部門	Definitive radiotherapy for head and neck squamous cell carcinoma: update and perspectives on the basis of EBM.	Jpn J Clin Oncol 45:235-243, 2015
7	安田 佳子	京都府立医科大学	Erythropoietin Receptor Antagonist Suppressed Ectopic Hemoglobin Synthesis in Xenografts of Hela Cells to Promote Their Destruction.	PLoS One 10:2015
8	冬田 昌樹	附属病院ICU部	Preoperative Prevalence of J-Wave Syndrome Electrocardiographic Patterns and Their Association With Perioperative Cardiac Events	Journal of Cardiothoracic and Vascular Anesthesia 29(6):1533-1536 2015
9	増田詩織、上碓俊法 他	臨床検査医学	Evaluation of menstrual cycle-related changes in 85 clinical laboratory analytes.	Annals of Clinical Biochemistry
10	Kanao K, Fukuda K	森ノ宮医療大学, 近畿大学医学部リハビリテーション医学	Factors associated with the effect of pulmonary rehabilitation on physical activity in patients with chronic obstructive pulmonary disease.	Geriatr Gerontol Int
11	Higashimoto Y, Fukuda K	呼吸器アレルギー内科, リハビリテーション医学	Exertional dyspnoea and cortical oxygenation in patients with COPD.	Eur Respir J.
12	Takehara T, Teramura T, Onodera Y, Fukuda K.	高度先端総合医療センター・ 再生医療部	Cdh2 stabilizes FGFR1 and contributes to primed-state pluripotency in mouse epiblast stem cells.	Sci Rep
13	Kitada K, Teramura T, Takehara T,	高度先端総合医療センター・ 再生医療部	Gene-modified embryonic stem cell test to characterize chemical risks.	Environ Sci Pollut Res Int.

14	Onodera Y, Teramura T, Takehara T, Shigi K, Fukuda K.	高度先端総合医療センター・ 再生医療部	Reactive oxygen species induce Cox-2 expression via TAK1 activation in synovial fibroblast cells.	FEBS Open Bio
15	Onodera Y, Teramura T, Takehara T, Fukuda K.	高度先端総合医療センター・ 再生医療部	Hyaluronic acid regulates a key redox control factor Nrf2 via phosphorylation of Akt in bovine articular chondrocytes.	FEBS Open Bio
16	武田 卓	近畿大学東洋医学研究所	Effectiveness of ethinylestradiol/drospirenone for premenstrual symptoms in Japanese patients with dysmenorrhea: Open-label pilot study.	The journal of obstetrics and gynaecology research 41(10) 1584-1590 2015
17	武田 卓	近畿大学東洋医学研究所	Proliferative effect of Hachimijogan, a Japanese herbal medicine, in C2C12 skeletal muscle cells.	Clinical interventions in aging 10 445-451 2015
18	Tomizawa K, Suda K, Takemoto T, Mizuno T, Kuroda H, Sakakura N, Iwasaki T, Sakaguchi M, Kuвано H, Mitsudomi T, Sakao Y	Department of Surgery, Division of Thoracic Surgery, Kinki University Faculty of Medicine Osaka-sayama, Japan ; Department of Thoracic Surgery, Aichi Cancer Center Hospital Nagoya, Japan ; Department of General Surgical Science, Graduate School of Medicine, Gunma University Maebashi, Japan. Department of Surgery, Division of Thoracic Surgery, Kinki University Faculty of Medicine Osaka-sayama, Japan. Department of Thoracic Surgery, Aichi Cancer Center Hospital Nagoya, Japan. Department of General Surgical Science, Graduate School of Medicine, Gunma University Maebashi, Japan.	Prognosis and segment-specific nodal spread of primary lung cancer in the right lower lobe	Thorac Cancer 6:672- 7, 2015
19	Suda K, Murakami I, Sakai K, Mizuuchi H, Shimizu S, Sato K, Tomizawa K, Tomida S, Yatabe Y, Nishio K, Mitsudomi T	Division of Thoracic Surgery, Department of Surgery, Kinki University Faculty of Medicine, Osaka-Sayama, Japan. Department of Surgery and Science, Graduate School of Medical Sciences, Kyushu University, Fukuoka, Japan. Department of Respiratory Medicine, Higashi-Hiroshima Medical Center, Higashi- Hiroshima, Japan. Department of Genome Biology, Kinki University Faculty of Medicine, Osaka- Sayama, Japan. Division of Molecular Pathology, Department of Pathology, Hyogo College of Medicine, Nishinomiya, Japan. Department of Pathology and Molecular Diagnostics, Aichi Cancer Center Hospital, Nagoya, Japan.	Small cell lung cancer transformation and T790M mutation: complimentary roles in acquired resistance to kinase inhibitors in lung cancer	Sci Rep 5:14447, 2015
20	Suda K, Mitsudomi T	Division of Thoracic Surgery, Department of Surgery, Kinki University Faculty of Medicine,	Role of EGFR mutations in lung cancers: prognosis and tumor chemosensitivity	Arch Toxicol 89:1227- 40, 2015

21	Kobayashi Y, Togashi Y, Yatabe Y, Mizuuchi H, Jangchul P, Kondo C, Shimoji M, Sato K, Suda K, Tomizawa K, Takemoto T, Hida T, Nishio K, Mitsudomi T	Division of Thoracic Surgery, Kinki University Faculty of Medicine. Department of Genome Biology, Kinki University Faculty of Medicine. Pathology and Molecular Diagnostics, Aichi Cancer Center. Division of Thoracic Surgery, Department of Surgery, Kinki University Faculty of Medicine. Respiratory Medicine, Nagoya City East Medical Center. Pathology and Molecular Diagnostics, Aichi Cancer Center Hospital. Department of Internal Medicine, Aichi Cancer Center Hospital. Genome Biology, Kinki University Faculty of Medicine. Division of Thoracic Surgery, Department of Surgery, Kinki University Faculty of Medicine mitsudom@surg.med.kindai.ac.jp.	EGFR exon 18 mutations in lung cancer: molecular predictors of augmented sensitivity to afatinib and neratinib as compared with first or third generation TKIs	Clin Cancer Res 21:5305-13, 2015
22	吉岡康多	外科学(下部消化管)	Clinicopathological and Genetic Differences Between Low-Grade and High-Grade Colorectal Mucinous Adenocarcinomas	Cancer Vol. 121 No.24 p.4359~68 2015年
23	Wada Y, Hashimoto T, Kakizaki H, Isogai N, Asamura S	Kindai Univeristy Faculty of Medicine, Dept of Plastic and Reconstructive Surgery	What Is the Best Way to Handle the Involutional Blepharoptosis Repair	J Craniofac Surg. 2015 Jul;26(5):e377-80
24	Morotomi T, Iuchi T, Hashimoto T, Sueyoshi Y, Nagasao T, Isogai N	Kindai Univeristy Faculty of Medicine, Dept of Plastic and Reconstructive Surgery	Image analysis of the inferior rectus muscle in orbital floor fracture using cine mode magnetic resonance imaging.	J Craniomaxillofac Surg. 2015 Dec;43(10):2066-70
25	明石浩幸	精神神経科	Prefrontal cortex activation is associated with a discrepancy between self- and observer-rated depression severities of major depressive disorder: a multichannel near-infrared spectroscopy study.	Journal of Affective Disorders. 2015 Mar 15;174:165-72
26	三川和歌子	精神神経科	Left temporal activation associated with depression severity during a verbal fluency task in patients with bipolar disorder: a multichannel near-infrared spectroscopy study.	Journal of Affective Disorders. 2015 Mar 1;173:193-200
27	辻井農亜	精神神経科	Experiences with Patient Refusal of Off-Label Prescribing of Psychotropic Medications to Children and Adolescents in Japan.	Journal of Child and Adolescent Psychopharmacology. 2015 Jun 23. [Epub ahead of print]
28	細川 知紗	高度先端総合医療センター PET分子イメージング部門	Performance of 11C-PiB PET binding potential images in the equivocal static images in the detection of amyloid deposits.	J Nucl Med. 56 1910-1915, 2015
29	伊藤 健吾	国立長寿医療研究センター	SEAD-J Study Group. Prediction of Outcomes in Mild Cognitive Impairment by Using 18F-FDG-PET: A Multicenter Study.	J Alzheimers Dis. 45 543-552, 2015

30	数井 裕光	大阪大学精神科	Lumboperitoneal shunt surgery for idiopathic normal pressure hydrocephalus (SINPHONI-2): an open-label randomised trial.	Lancet Neurol. 14 585-594, 2015
31	鶴崎 正勝	高度先端総合医療センターPET分子イメージング部門	Surgical and Locoregional Therapy of HCC: TACE.	Liver Cancer. 2015;4(3):165-75.
32	鶴崎 正勝	高度先端総合医療センターPET分子イメージング部門	Comparison of gadoxetic acid-enhanced magnetic resonance imaging and contrast-enhanced computed tomography with histopathological examinations for the identification of hepatocellular carcinoma: a multicenter phase III study.	J Gastroenterol. 2016 Jan;51(1):71-9.
33	鶴崎 正勝	高度先端総合医療センターPET分子イメージング部門	Current evidence for the diagnostic value of gadoxetic acid-enhanced magnetic resonance imaging for liver metastasis.	Hepatol Res. 2016;46(9):853-61.
34	祖父江 慶太郎	神戸大学放射線科	Ultrasonography-guided central venous port placement with subclavian vein access in pediatric oncology patients.	J Pediatr Surg. 2015 Oct;50(10):1707-10.
35	北島 一宏	兵庫医科大学放射線科	Role of diffusion weighted imaging and contrast-enhanced MRI in the evaluation of intrapelvic recurrence of gynecological malignant tumor.	PLoS One. 2015 28;10(1):e0117411.
36	高木 治行	兵庫医科大学放射線科	Hepatic arterial infusion chemotherapy with fine-powder cisplatin and iodized-oil suspension in patients with intermediate-stage and advanced-stage (Barcelona Clinic Liver Cancer stage-B or stage-C) hepatocellular carcinoma: multicenter phase-II clinical study.	Int J Clin Oncol. 2015 Aug;20(4):745-54.
37	曾根 美雪	国立がん研究センター中央病院放射線診断科	Interventional radiology for critical hemorrhage in obstetrics: Japanese Society of Interventional Radiology (JSIR) procedural guidelines.	Jpn J Radiol. 2015 ;33(4):233-40.
38	南 康範	消化器内科	Balloon-Occluded Transcatheter Arterial Chemoembolization for Hepatocellular Carcinoma: A Single-Center Experience.	Oncology. 2015;89 Suppl 2:27-32.
39	瀬尾 徹	耳鼻咽喉科	Clinical course of persistent geotropic direction-changing positional nystagmus with neutral position-Light cupula.	Acta Otolaryngol. 136: 34-7, 2016.
40	瀬尾 徹	耳鼻咽喉科	Intractable persistent direction-changing geotropic nystagmus improved by lateral semicircular canal plugging.	Case Reports in Otolaryngology 2015: 192764, 2015
41	Higashimoto Y., et al	近畿大学医学部呼吸器・アレルギー内科	Exertional dyspnoea and cortical oxygenation in patients with COPD.	Eur Respir J. 2015;46(6):1615-24
42	Sano H., et al	近畿大学医学部呼吸器・アレルギー内科	Characteristics of phenotypes of elderly patients with asthma.	Allergol Int. 2016;65(2):204-9.
43	Nishiyama O., et al	近畿大学医学部呼吸器・アレルギー内科	Obstructive lung function in idiopathic pulmonary fibrosis.	Chron Respir Dis. 2016;13(2):206.
44	Yamasaki A., et al	近畿大学医学部呼吸器・アレルギー内科	Development and validation of a predictive model of failed stepping-down of inhaled corticosteroids in adult asthmatics.	Patient Prefer Adherence.2016;18;10:339-44.

45	Atsuko Koyama Hirokuni Okumi Hiromichi Matsuoka Chihiro Makimura Ryo Sakamoto and Kiyohiro Sakai	Department of Psychosomatic Medicine, Kinki University, Faculty of Medicine	The physical and psychological problems of immigrants to Japan who require psychosomatic care : a retrospective observation study	BioPsychoSocial Medicine/10/ P.7/2016年
46	Yasuda T, et al.	上部消化管外科	Prognostic significance of 18F- fluorodeoxyglucose positron emission tomography (FDG-PET)-positive lymph nodes following neoadjuvant chemotherapy and surgery for resectable thoracic esophageal squamous cell carcinoma.	Ann Surg Oncol 2015;22(8):2599-2607
47	Yasuda T, et al.	上部消化管外科	A novel technique for securing tracheal blood supply in salvage anterior mediastinal tracheostomy.	Int J Surg Case Rep 2015;14:112-116
48	Peng YF, Imano M, Itoh T, Satoh T, Chiba Y, Imamoto H, Tsubaki M, Nishida S, Yasuda T, Furukawa H.	上部消化管外科、病理学教 室	A phase II trial of perioperative chemotherapy involving a single intraperitoneal administration of paclitaxel followed by sequential S-1 plus intravenous paclitaxel for serosa-positive gastric cancer.	J Surg Oncol 2015;111(8):1041-1046
49	Yasuda A, Yasuda T, Imamoto H, Kato H, Nishiki K, Iwama M, Makino T, Shiraishi O, Shinkai M, Imano M, Furukawa H, Okuno K, Shiozaki H.	上部消化管外科	A newly modified esophagogastrostomy with a reliable angle of His by placing a gastric tube in the lower mediastinum in laparoscopy-assisted proximal gastrectomy.	Gastric Cancer 2015;18(4):850-858
50	Ishikawa K, Nakamatsu K, Shiraishi O, Yasuda T, Nishimura Y.	放射線治療科、上部消化管 外科	Clinical results of definitive-dose (50Gy/25 fractions) preoperative chemoradiotherapy for unresectable esophageal cancer.	Int J Clin Oncol 2015;20(3):531-537
51	Nakano N, Miyuchi M, Nakanishi K, Saigoh K, Mitsui Y, Kato A	Department of Neurosurgery, Kindai University Faculty of Medicine	Successful Combination of Pallidal and Thalamic Stimulation for Intractable Involuntary Movements in Patients with Neuroacanthocytosis	World Neurosurg 84/1177.e1-7/2015 DOI:10.1016/j.wneu. 2015.06.052
52	Kubota H, Sanada Y, Nagatsuka K, Kato A	Department of Neurosurgery, Kindai University Faculty of Medicine	A case of angiographically occult, distal small anterior inferior cerebellar artery aneurysm.	Surg Neurol Int 6/97/2015 PMC:4462615
53	Sanada Y, Yabuuchi T, Yoshioka H, Kubota H, Kato A	Department of Neurosurgery, Kindai University Faculty of Medicine	Zigzag skin incision effectively camouflages the scar and alopecia for moyamoya disease: technical note.	Neurol Med Chir 55/210-213/2015 DOI:10.2176/nmc.tn. 2014-0193

54	Tsuji K, Fukawa N, Nakagawa N, Yabuuchi T, Nakano N, Kato A	Department of Neurosurgery, Kindai University Faculty of Medicine	Overlapped Stenting for Treatment of an Extracranial Carotid Artery Aneurysm	NMC Case Report J 3/93-96 /2015 DOI:10.2176/nmccrj.c r.2014-0432
55	Kubota H, Sanada Y, Tasaki T, Miyauchi M, Tanikawa R, Ohtsuki T, Kato A	Department of Neurosurgery, Kindai University Faculty of Medicine	Surgical Accessibility of the Distal Internal Carotid Artery on Carotid Endarterectomy Evaluated Using Magnetic Resonance Angiography.	Neurosurgery 76/633-636/2015 DOI:10.1227/NEU.00 0000000000664
56	Kubota H, Sanada Y , Yoshioka H , Tasaki T, Shiroma J, Miyauchi M, Tanikawa R , Matsuki M, Ohtsuki T, Kato A	Department of Neurosurgery, Kindai University Faculty of Medicine	C1 transverse process-hyoid bone line for preoperative evaluation of the accessible internal carotid artery on carotid endarterectomy: technical note.	Acta Neurochir (wien) 157/43-8 /2015 DOI:10.1007/s00701- 014-2253-z
57	松本長太	近畿大学医学部眼科学教室	CLOCK CHART®: a novel multi-stimulus self-check visual field screener	Jpn J Ophthalmol59(3): 187-193; 2015
58	河本庄平	近畿大学医学部眼科学教室	Effects of antiviral medications on herpetic epithelial keratitis in mice	Jpn J Ophthalmol59(3):194- 200; 2015
59	長井紀章	近畿大学薬学部医療薬学科 製剤学研究室	Enhanced Production of Nitric Oxide Leads to ATP Collapse in the Retinas of Otsuka Long-Evans Tokushima Fatty Rats, a Model of Human Diabetes	Curr Eye Res5: 1-11: 2015
60	國吉一樹	近畿大学医学部眼科学教室	Reduced rod electroretinograms in carrier parents of two Japanese siblings with autosomal recessive retinitis pigmentosa associated with PDE6B gene mutations	Doc Ophthalmol131(1):71-9; 2015
61	西内 辰也	救急医学	The Current Status of Development and Implementation of Medical Emergency Response Plan in Schools	Pediatric Emergency Care/2016.4
62	Yasuhito Kotake Takashi Kurita Yuzuru Akaiwa Ryobun Yasuoka Koichiro Motoki Kazuhiro Kobuke Yoshitaka Iwanaga Shunichi Miyazaki	Yasuhito Kotake 1 Takashi Kurita2 Yuzuru Akaiwa1 Ryobun Yasuoka1 Koichiro Motoki1 Kazuhiro Kobuke1 Yoshitaka Iwanaga1 Shunichi Miyazaki1 1Division of Cardiology ,Kindai 2Division of Cardiovascular Center, Kindai University Hospital	Intravenous amiodarone homogeneously prolongs ventricular repolarization in patients with life-threatening ventricular tachyarrhythmia	Journal of Cardiology:66:161- 167:2015

63	Hiromi Yamamoto, Toru Kawada, Shuji Shimizu, Atsunori Kamiya, Michael J. Turner, Shunichi Miyazaki, Masaru Sugimachi	Hiromi Yamamoto1 Toru Kawada2 Shuji Shimizu2 Atsunori Kamiya2 Michael J. Turner2 Shunichi Miyazaki1 Masaru Sugimachi2 1 Division of Cardiology, Department of Medicine, Faculty of Medicine, Kinki University, Osaka, Japan 2 Department of Cardiovascular Dynamics, National Cerebral and Cardiovascular Center Research Institute, Osaka.	Acute effects of intravenous nifedipine or azelnidipine on open-loop baroreflex static characteristics in rats	Life Sciences: 126:37-41:2015
64	Masafumi Ueno, Kosuke Fujita, Hiroyuki Yamamoto, Tomoyuki Ikeda, Tatsuya Suga, Kenji Yamaji, Shinichiro Ikuta, Kazuhiro Kobuke, Yoshitaka Iwanaga, Dominick J. Angiolillo, Shunichi Miyazaki	Dominick J. Angiolillo (University of Florida College of Medicine - Jacksonville, FL, USA) 他10名 (Division of Cardiology, Kindai University)	Impact of impaired glucose tolerance on clopidogrel response in patients with coronary artery disease	J Thromb Thrombolysis: 40(2):174-181:2015
65	Miyazaki K, Nishi H, Enya T, Miyazawa T, Sugimoto K, Yanagida H, Okada M, Takemura T	Department of Pediatrics, Kinki University Faculty	BENEFICIAL EFFECTS OF TONSILLECTOMY FOR CLINICOPATHOLOGICAL FINDING AND CLINICAL OUTCOME OF CHILDHOOD IGA NEPHROPATHY (IGAN) IN JAPAN	Pediatr Nephrol
66	谷山 佳弘	腎臓内科	Management of hypertension for patients undergoing dialysis therapy	Renal Replacement Therapy (2016) 2:21 DOI 10.1186/s41100-016-0034-2
67	Sakiyama T, Tsurutani J, Iwasa T, Kawakami H, Nonagase Y, Yoshida T, Tanaka K, Fujisaka Y, Kurata T, Komoike Y, Nishio K, Nakagawa K.	腫瘍内科	A phase I dose-escalation study of eribulin and S-1 for metastatic breast cancer.	Br J Cancer. 112(5):819-24 2015

68	Yonesaka K, Sato T, Ueda S, Yoshida T, Takeda M, Shimizu T, Okamoto I, Nishio K, Tamura T, Nakagawa K.	腫瘍内科	Circulating hepatocyte growth factor is correlated with resistance to cetuximab in metastatic colorectal cancer.	Anticancer Res. 35(3)1683-9 2015
69	Tsurutani J, Kuroi K, Iwasa T, Miyazaki M, Nishina S, Makimura C, Tanizaki J, Okamoto K, Yamashita T, Aruga T, Shigekawa T, Komoike Y, Saeki T, Nakagawa K.	腫瘍内科	Phase I study of weekly nab-paclitaxel combined with S-1 in patients with human epidermal growth factor receptor type 2-negative metastatic breast cancer.	Cancer Sci. 106(6)734-9 2015
70	Takeda M, Okamoto I, Nakagawa K.	腫瘍内科	Pooled safety analysis of EGFR-TKI treatment for EGFR mutation-positive non-small cell lung cancer.	Lung Cancer. 88(1)74-9 2015
71	Ueda S, Kawakami H, Nishina S, Sakiyama T, Nonagase Y, Okabe T, Tamura T, Nakagawa K.	腫瘍内科	Phase I trial of 5-FU, docetaxel, and nedaplatin (UDON) combination therapy for recurrent or metastatic esophageal cancer.	Cancer Chemother Pharmacol. 76(2)279-85 2015
72	Takeda M, Nakagawa K.	腫瘍内科	Role of EGFR Monoclonal Antibodies in the Management of Non-small Cell Lung Cancer.	Curr Cancer Drug Targets. 15(9):792-802. 2015

73	Yonesaka K, Takegawa N, Sato T, Ueda H, Yoshida T, Takeda M, Shimizu T, Chiba Y, Okamoto I, Nishio K, Tamura T, Nakagawa K.	腫瘍内科	Combined Analysis of Plasma Amphiregulin and Heregulin Predicts Response to Cetuximab in Metastatic Colorectal Cancer.	PLoS One. 10(11):e0143132. 2015
74	Takeda M, Okamoto I, Nakagawa K.	腫瘍内科	Clinical development of nintedanib for advanced non-small-cell lung cancer.	Ther Clin Risk Manag. 11:1701-6 2015
75	Yonesaka K, Kudo K, Nishida S, Takahama T, Iwasa T, Yoshida T, Tanaka K, Takeda M, Kaneda H, Okamoto I,	腫瘍内科	The pan-HER family tyrosine kinase inhibitor afatinib overcomes HER3 ligand heregulin-mediated resistance to EGFR inhibitors in non-small cell lung cancer	Oncotarget. 6(32):33602-11 2015
76	Takegawa N, Yonesaka K, Sakai K, Ueda H, Watanabe S.	腫瘍内科	HER2 genomic amplification in circulating tumor DNA from patients with cetuximab-resistant colorectal cancer.	Oncotarget. 7(3):3453-60. 2016
77	Nonagase Y, Okamoto K, Iwasa T, Yoshida T, Tanaka K, Takeda M, Kaneda H, Shimizu T, Tsurutani J, Nakagawa K.	腫瘍内科	Afatinib-refractory brain metastases from EGFR-mutant non-small-cell lung cancer successfully controlled with erlotinib: a case report.	Anticancer Drugs. 27(3):251-3. 2016
78	Adachi T, Sakurai T, Kashida H, Mine H, Hagiwara S, Matsui S, Yoshida K, Nishida N, Watanabe T, Itoh K, Fujita I, Kudo	Dept. Gastroenterology and Hepatology Kinki University School of Medicine	Involvement of heat shock protein A4/Apg-2 in refractory inflammatory bowel disease	Inflamm Bowel Dis 21:31- 39, 2015
79	Kitano M, Kamata K, Imai H, Miyata T, Yasukawa S, Yanagisawa A, Kudo M	Dept. Gastroenterology and Hepatology Kinki University School of Medicine	Contrast-enhanced harmonic endoscopic ultrasonography for pancreatobiliary diseases	Digest Endosc 27:60-67, 2015
80	Sakurai T, Itoh N, Watanabe T, Arizumi T, Hagiwara S, Ueshima K, Nishida N, Fujita I, Kudo M	Dept. Gastroenterology and Hepatology Kinki University School of Medicine	Cold-inducible RNA-binding protein promotes the development of liver cancer	Cancer Sci 106:352-358, 2015
81	Kudo M	Dept. Gastroenterology and Hepatology Kinki University School of Medicine	Foreword to the WFUMB guideline and recommendations on the clinical use of ultrasound elastography	Ultrasound Med Biol 41:1125, 2015
82	Kudo M	Dept. Gastroenterology and Hepatology Kinki University School of Medicine	Value of dynamic contrast enhanced MRI in predicting outcomes of HCC receiving radiotherapy	Hepatol Int 9:155-156, 2015

83	Sakurai T, Kashida H, Hagiwara S, Nishida N, Watanabe T, Fujita J, Kudo M	Dept. Gastroenterology and Hepatology Kinki University School of Medicine	Heat shock protein A4 controls cell migration and gastric ulcer healing	Digest Dis Sci 60:850-857, 2015
84	Nishida N, Iwanishi M, Minami T, Chishina H, Arizumi T, Takita M, Kitai S, Yada N, Ida H, Hagiwara S, Minami Y, Ueshima K, Sakurai T, Kitano M, Kudo M	Dept. Gastroenterology and Hepatology Kinki University School of Medicine	Early viral response predicts the efficacy of antiviral triple therapy with simeprevir, peg-interferon, and ribavirin in patients infected with hepatitis C virus genotype 1	Digest Dis 33:708-714, 2015
85	Arizumi T, Ueshima K, Iwanishi M, Chishina H, Kono M, Takita M, Kitai S, Inoue T, Yada N, Hagiwara S, Ida H, Minami Y, Sakurai T, Nishida N, Kitano M, Kudo M	Dept. Gastroenterology and Hepatology Kinki University School of Medicine	Real-life clinical practice with sorafenib in advanced hepatocellular carcinoma: a single-center experience second analysis	Digest Dis 33:728-734, 2015
86	Nishida N, Iwanishi M, Minami T, Chishina H, Arizumi T, Takita M, Kitai S, Yada N, Ida H, Hagiwara S, Minami Y, Ueshima K, Sakurai T, Kitano M, Kudo M	Dept. Gastroenterology and Hepatology Kinki University School of Medicine	Hepatic DNA methylation is affected by hepatocellular carcinoma risk in patients with and without hepatitis virus	Digest Dis 33:745-750, 2015
87	Kudo M, Arizumi T, Ueshima K, Sakurai T, Kitano M, Nishida N	Dept. Gastroenterology and Hepatology Kinki University School of Medicine	Subclassification of BCLC stage hepatocellular carcinoma and treatment strategies: Proposal of modified Bolondi subclassification (Kinki Criteria)	Digest Dis 33:751-758, 2015
88	Minami Y, Murakami T, Kitano M, Sakurai T, Nishida N, Kudo M	Dept. Gastroenterology and Hepatology Kinki University School of Medicine	Cone-beam CT angiography for hepatocellular carcinoma: current status	Digest Dis 33:759-764, 2015
89	Nishida N, Kitano M, Sakurai T, Kudo M	Dept. Gastroenterology and Hepatology Kinki University School of Medicine	Molecular mechanism and prediction of sorafenib chemoresistance in human hepatocellular carcinoma	Digest Dis 33:771-779, 2015
90	Arizumi T, Ueshima K, Iwanishi M, Minami T, Chishina H, Kono M, Takita M, Kitai S, Inoue T, Yada N, Hagiwara S, Ida H, Minami Y, Sakurai T, Nishida N, Kitano M, Kudo M	Dept. Gastroenterology and Hepatology Kinki University School of Medicine	Evaluation of ART scores for repeated transarterial chemoembolization in Japanese patients with hepatocellular carcinoma	Oncology 89:4-10, 2015

91	Minami Y, Minami T, Chishina H, Arizumi T, Takita M, Kitai S, Yada N, Hagiwara S, Tsurusaki M, Yagyu Y, Ueshima K, Nishida N, Arizumi T, Ueshima K, Iwanishi M, Minami T, Chishina H, Kono M, Takita M, Kitai S, Inoue T, Yada N, Hagiwara S, Ida H, Minami Y, Sakurai T, Kitano M, Nishida N, Kudo M	Dept. Gastroenterology and Hepatology Kinki University School of Medicine	Balloon-occluded transcatheter arterial chemoembolization for hepatocellular carcinoma: a single-center experience	Oncology 89:27-32, 2015
92	Ueshima K, Kudo M, Tanaka M, Kumada T, Chung H, Hagiwara S, Inoue T, Yada N, Kitai S, Arizumi T, Ueshima K, Minami T, Kono M, Chishina H, Takita M, Kitai S, Inoue T, Yada N, Hagiwara S, Minami Y, Sakurai T, Nishida N, Kudo M	Dept. Gastroenterology and Hepatology Kinki University School of Medicine	Validation of a modified substaging system (Kinki Criteria) for patients with intermediate-stage hepatocellular carcinoma	Oncology 89:47-52, 2015
93	Hagiwara S, Nishida N, Kudo M	Dept. Gastroenterology and Hepatology Kinki University School of Medicine	A newly developed shear wave elastography modality: with a unique reliability index	Oncology 89:53-59, 2015
94	Ueshima K, Kudo M, Tanaka M, Kumada T, Chung H, Hagiwara S, Inoue T, Yada N, Kitai S, Arizumi T, Ueshima K, Minami T, Kono M, Chishina H, Takita M, Kitai S, Inoue T, Yada N, Hagiwara S, Minami Y, Sakurai T, Nishida N, Kudo M	Dept. Gastroenterology and Hepatology Kinki University School of Medicine	Antiviral therapy for chronic hepatitis B: combination of nucleoside analogs and interferon	World J Hepatol 7:2427-2431, 2015
95	Ueshima K, Kudo M, Tanaka M, Kumada T, Chung H, Hagiwara S, Inoue T, Yada N, Kitai S, Arizumi T, Ueshima K, Minami T, Kono M, Chishina H, Takita M, Kitai S, Inoue T, Yada N, Hagiwara S, Minami Y, Sakurai T, Nishida N, Kudo M	Dept. Gastroenterology and Hepatology Kinki University School of Medicine	Phase I/II study of sorafenib in combination with hepatic arterial infusion chemotherapy using low-dose cisplatin and 5-fluorouracil	Liver Cancer 4:263- 273, 2015
96	Ueshima K, Kudo M, Tanaka M, Kumada T, Chung H, Hagiwara S, Inoue T, Yada N, Kitai S, Arizumi T, Ueshima K, Minami T, Kono M, Chishina H, Takita M, Kitai S, Inoue T, Yada N, Hagiwara S, Minami Y, Sakurai T, Nishida N, Kudo M	Dept. Gastroenterology and Hepatology Kinki University School of Medicine	Effectiveness of sorafenib in patients with transcatheter arterial chemoembolization (TACE) refractory and intermediate-stage hepatocellular carcinoma	Liver Cancer 4:253- 262, 2015
97	Kudo M	Dept. Gastroenterology and Hepatology Kinki University School of Medicine	Immune checkpoint blockade in hepatocellular carcinoma	Liver Cancer 4:201- 207, 2015
98	Yamao K, Kitano M, Kudo M, Maenishi O	Dept. Gastroenterology and Hepatology Kinki University School of Medicine	Synchronous pancreatic and gastric metastasis from an ovarian adenocarcinoma diagnosed by endoscopic ultrasound-guided fine-needle aspiration	Endoscopy 47:E596- 597, 2015

99	Minami Y, Kudo M	Dept. Gastroenterology and Hepatology Kinki University School of Medicine	Imaging modalities for assessment of treatment response to nonsurgical hepatocellular carcinoma therapy: Contrast-enhanced US, CT and MRI	Liver Cancer 4:106-114, 2015
100	Minaga K, Kitano M, Imai H, Miyata T, Kudo M	Dept. Gastroenterology and Hepatology Kinki University School of Medicine	Acute spinal cord infarction after EUS-guided celiac plexus neurolysis	Gastrointest Endosc 83:1039-1040, 2015
101	Matsui S, Kudo M, Kitano M, Asakuma Y	Dept. Gastroenterology and Hepatology Kinki University School of Medicine	Evaluation of the response to chemotherapy in advanced gastric cancer by contrast-enhanced harmonic EUS	Hepato-Gastroenterol 62:595-598, 2015
102	Kudo M	Dept. Gastroenterology and Hepatology Kinki University School of Medicine	Defect reperfusion imaging with sonazoid®: a breakthrough in hepatocellular carcinoma	Liver Cancer 5:1-7, 2016
103	Kudo M	Dept. Gastroenterology and Hepatology Kinki University School of Medicine	Breakthrough imaging in hepatocellular carcinoma	Liver Cancer 5:47-54, 2016
104	Kamata K, Kitano M, Omoto S, Kadosaka K, Miyata T, Yamao K, Imai H, Sakamoto H, Harwani Y, Chikugo T, Chiba Y, Matsumoto I, Takeyama Y	Dept. Gastroenterology and Hepatology Kinki University School of Medicine	Contrast-enhanced harmonic endoscopic ultrasonography for differential diagnosis of pancreatic cysts	Endoscopy 48:35-41, 2016
105	Kudo M, Ueshima K, Kubo S, Sakamoto M, Tanaka M, Ikai I, Furuse J, Murakami T, Kadoya M, Kokudo N, Liver Cancer Study Group of Japan	Dept. Gastroenterology and Hepatology Kinki University School of Medicine	Response evaluation criteria in cancer of the liver (RECICL)(2015 revised version)	Hepatol Res 46:3-9, 2016
106	Kudo M	Dept. Gastroenterology and Hepatology Kinki University School of Medicine	Heterogeneity and subclassification of Barcelona Clinic Liver Cancer Stage B	Liver Cancer 5:91-96, 2016
107	Miyata T, Kitano M, Omoto S, Kadosaka K, Kamata K, Imai H, Sakamoto H, Nishida N, Harwani Y, Murakami T, Takeyama Y, Chiba Y, Kudo M	Dept. Gastroenterology and Hepatology Kinki University School of Medicine	Contrast-enhanced harmonic endoscopic ultrasonography for assessment of lymph node metastases in pancreatobiliary carcinoma	World J Gastroenterol 22:3381-3391, 2016

108	Kamata K, Kitano M, Yasukawa S, Kudo M, Chiba Y, Ogura T, Higuchi K, Fukutake N, Ashida R, Yamasaki T, Nebiki H, Hirose S, Hoki N, Asada M, Yazumi S, Takaoka M, Okazaki K.	Dept. Gastroenterology and Hepatology Kinki University School of Medicine	Histologic diagnosis of pancreatic masses using 25-gauge endoscopic ultrasound needles with and without a core trap: a multicenter randomized trial	Endoscopy 48:632-638, 2016
109	Minaga K, Kitano M, Imai H, Yamao K, Kamata K, Miyata T, Matsuda T, Omoto S, Kadosaka K, Yoshikawa T, Kudo M	Dept. Gastroenterology and Hepatology Kinki University School of Medicine	Modified single transluminal gateway transcystic multiple drainage technique for a huge infected walled-off pancreatic necrosis: A case report	World J Gastroenterol 22(21):5132-5136, 2016
110	Minaga K, Kitano M, Sakamoto H, Miyata T, Imai H, Yamao K, Kamata K, Omoto S, Kadosaka K, Sakurai T, Nishida N, Chiba Y, Kudo M	Dept. Gastroenterology and Hepatology Kinki University School of Medicine	Predictors of pain response in patients undergoing EUS – guided neurolysis for abdominal pain caused by pancreatic cancer	Ther Adv Gastroenterol 9:483-494, 2016
111	Kamata K, Kitano M, Omoto S, Kadosaka K, Miyata T, Minaga K, Yamao K, Imai	Dept. Gastroenterology and Hepatology Kinki University School of Medicine	New endoscopic ultrasonography techniques for pancreaticobiliary diseases	Ultrasonography 35:169-179, 2016
112	Minaga K, Kitano M, Imai H, Yamao K, Kamata K, Miyata T, Omoto S, Kadosaka K, Yoshikawa T, Kudo M	Dept. Gastroenterology and Hepatology Kinki University School of Medicine	Urgent endoscopic ultrasound-guided choledochoduodenostomy for acute obstructive suppurative cholangitis-induced sepsis	World J Gastroenterol 22:4264-4269, 2016
113	Hagiwara S, Nishida N, Watanabe T, Sakurai T, Ida H, Minami Y, Takita M, Minami T, Iwanishi M, Chishina H, Ueshima K, Komeda Y, Arizumi T, Kudo M	Dept. Gastroenterology and Hepatology Kinki University School of Medicine	Outcome of asunaprevir/daclatasvir combination therapy for chronic liver disease type C	Digest Dis 34:620-626, 2016

114	Nishida N, Kono M, Minami T, Chishina H, Arizumi T, Takita M, Yada N, Ida H, Hagiwara S, Minami Y, Ueshima K, Sakurai T, Kudo M	Dept. Gastroenterology and Hepatology Kinki University School of Medicine	Safety, tolerability, and efficacy of sofosbuvir plus rivavirin in elderly patients infected with hepatitis C virus genotype 2	Digest Dis 34:632-639, 2016
115	Takita M, Iwanishi M, Minami T, Kono M, Chishina K, Arizumi T, Yada N, Hagiwara S, Minami Y, Ida H, Ueshima K, Nishida N, Kudo M	Dept. Gastroenterology and Hepatology Kinki University School of Medicine	Monoethanolamine oleate sclerotherapy for polycystic liver disease	Digest Dis 34:654-658, 2016
116	Chishina H, Hagiwara S, Nishida N, Ueshima K, Sakurai T, Ida H, Minami Y, Takita M, Kono M, Minami T, Iwanishi M, Umehara Y, Watanabe T, Komeda Y, Arizumi T	Dept. Gastroenterology and Hepatology Kinki University School of Medicine	Clinical factors predicting the effect of tolvaptan for refractory ascites in patients with decompensated liver cirrhosis	Digest Dis 34:659-664, 2016
117	Minami Y, Minami T, Chishina H, Kono M, Arizumi T, Takita M, Yada N, Hagiwara S, Ida H, Ueshima K, Sakurai T, Kudo M	Dept. Gastroenterology and Hepatology Kinki University School of Medicine	US-US fusion imaging in radiofrequency ablation for liver metastases	Digest Dis 34:687-691, 2016
118	Yada N, Sakurai T, Minami T, Arizumi T, Takita M, Hagiwara S, Ida H, Ueshima K, Nishida N, Kudo M	Dept. Gastroenterology and Hepatology Kinki University School of Medicine	Prospective risk analysis of hepatocellular carcinoma in patients with chronic hepatitis C by ultrasound strain elastography	Digest Dis 34:650-653, 2016
119	Arizumi T, Ueshima K, Iwanishi M, Minami T, Chishina H, Kono M, Takita M, Kitai S, Inoue T, Yada N, Hagiwara S, Minami Y, Ida H, Sakurai T, Kitano M	Dept. Gastroenterology and Hepatology Kinki University School of Medicine	Validation of Kinki criteria, a modified substaging system, in patients with intermediate stage hepatocellular carcinoma	Digest Dis 34:671-678, 2016
120	Hagiwara S, Nishida N, Kudo M	Dept. Gastroenterology and Hepatology Kinki University School of Medicine	Hepatocyte damage due to protoporphyrin deposition	Hepatology, 2016

計120

(注) 1 当該特定機能病院に所属する医師等が申請の前年度に発表した英語論文のうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを七十件以上記入すること。七十件以上発表を行っている場合には、七十件のみを記載するのではなく、合理的な範囲で可能な限り記載すること。

2 報告の対象とするのは、筆頭著者の所属先が当該特定機能病院である論文であり、査読のある学術雑誌に掲載されたものに限るものであること。ただし、実態上、当該特定機能病院を附属している大学の講座等と当該特定機能病院の診療科が同一の組織として活動を行っている場合においては、筆頭著者の所属先が大学の当該講座等であっても、論文の数の算定対象に含めるものであること(筆頭著者が当該特定機能病院に所属している場合に

3 「発表者の所属」については、論文に記載されている所属先をすべて記載すること。

4 「雑誌名」欄には、「雑誌名」「巻数・号数」「該当ページ」「出版年」について記載すること。

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
1	池田光正	整形外科	骨粗鬆症性脊椎骨折に伴う脊柱アライメントの検討	中部整災誌, 58 (3):487-488,2015
2	赤木将男	整形外科	変形性膝関節症のX線像と痛み:解離はなぜ生じるのか	臨床リウマチ, 27 (3):157-161,2015
3	橋本和喜	整形外科	腰部脊柱管狭窄症が全脊柱矢状面アライメントに与える影響とその治療戦略	J.Spine Res., 6 (10):1539-1544,2015
4	橋本和喜	整形外科	首下がりにおける全脊柱矢状面アライメントの特徴	中部整災誌, 59 (1):119-120,2016
5	大磯直毅	近畿大学医学部皮膚科	Human papilloma virus-infected genital warts in a girl with Costello syndrome	Eur J Dermatol 25 (2): 184-5, 2015
6	松田洋昌	近畿大学医学部皮膚科	Bullous Pemphigoid in Infancy Showing Epitope-spreading Phenomenon: Recovery with Topical Therapy	Acta Derm Venereol 95 (5): 610-1, 2015
7	岡橋一憲	近畿大学医学部皮膚科	Tick Attachment Cement with a Feeding Cavity in the Deep Dermis of the Penis	Acta Derm Venereol 95 (6): 741-2, 2015
8	大磯直毅	近畿大学医学部皮膚科	Vitiligo and remarkable freckles in chronic graft-versus-host disease	Eur J Dermatol 26 (1): 91-2, 2016
9	成田智彦	近畿大学医学部皮膚科	Serological aggravation of autoimmune thyroid disease in two cases receiving nivolumab	J Dermatol43 (2) :210- 4, 2016
10	打田 智久	麻酔科	Serious cervical hematoma after stellate ganglion block.	J Anesth 29(2):321 2015
11	森本 充男	現フリーランス (元非常勤医師)	Quincke,s edema following stellate ganglion block.	Acta Medica Kinki University 40(2):43-46 2015
12	中尾 慎一	麻酔科	今号のハイライト1(パーキンソン病の心臓交感神経除神経過敏)	日本集中治療 医学会誌 22(1):12-13 2015
13	中尾 慎一	麻酔科	巻頭言ー麻酔科医の特権	麻酔 64:689 2015
14	濱崎 真一	麻酔科	質疑応答「咽頭蓋の気管内迷入に対する対応について」	臨床麻酔 39(8):1186-1187 2015
15	北浦 淳寛	麻酔科	食道がん一期的根治術中に弓部大動脈損傷を来し胸部大動脈ステントグラフト内挿術に移行した1症例	麻酔 65(2):157-159 2016
16	古垣内美智子、 上裕俊法 他	臨床検査医学	抗菌薬治療経過中に遊離型コアグラーゼが陰性化したMRSAの解析	日本臨床微生物雑誌

17	井本真由美、 上裕俊法 他	臨床検査医学	尿中クレアチニン・アルブミン試験紙におけるアルブミン半定量値に及ぼすBence Jonesタンパクの影響	日本臨床検査自動化学会 会誌
18	Kanao K., et al	近畿大学医学部呼吸器・アレルギー 内科	Factors associated with the effect of pulmonary rehabilitation on physical activity in patients with chronic obstructive pulmonary disease.	Geriatr Gerontol Int. 2015
19	Yamagata E, Thoda Y et al.	近畿大学医学部呼吸器・ア レルギー内科	Long-term (52 weeks) safety and tolerability of umeclidinium in Japanese patients with chronic obstructive pulmonary disease.	Curr Med Res Opin. 2016;32(5):967-73.
20	高橋史彦 奥克裕 邦 村田昌彦 酒 井清裕 大武陽一 和泉宏昌 阪本亮 敦村ちひろ 松岡	近畿大学医学部内科学 心療内科部門	西洋薬を中心に加療された患者に対し、随証的漢方治療を併用し症状改善に至った過敏性腸症候群の一例	日本東洋心身医学研究 /第30巻1/2号/P.46- 50/2015
21	小山敦子	近畿大学医学部内科学 腫瘍内科部門 心療内科分野	心身医学の近未来のために、今、われわれは何をなすべきか？	日本心身医学会/ 55 巻4号/P.315- 317/2015.4.1
22	Matsumoto Ippei	Multicenter Study Group of Pancreatobiliary Surgery (MSG-PBS), Japan; Division of Hepato-Biliary-Pancreatic	Proposed preoperative risk factors for early recurrence in patients with resectable pancreatic ductal adenocarcinoma after surgical resection: A multi-center	Pancreatology 15: 674- 680, 2015
23	松永和秀	近畿大学医学部附属病院・ 鹿児島大学	進行性顔面半側萎縮症患者の上唇変形をCross-lip vermilion flapで再建した1例	日本口腔外科学会雑誌62巻3号134- 138, 2016
24	Akifumi Enomoto	近畿大学医学部附属病院・大阪大 学	Subthreshold and resurgent sodium currents in burst generation in mesencephalic neurons	International Symposium on Neuroscience in Orofacial sensory- motor functions 2015
25	Suguru Hamada	近畿大学医学部附属病院	Attempt for better OOKP lamina preparation and novel wound management	10th Kpro Study Group Meeting 2016
26	澤井利夫	小児外科	A novel approach to neonatal abdominal surgery via a circular incision around the umbilical cord	Pediatric Surgery International DOI 10.1007/s00383-016- 3945-7
27	Yasuyoshi Morita,Masakats u Emoto,Kentaro	Division of Hemeatology & Rheumatology, Department of Internal Medicine, Kindai University Faculty of	HIV-negative Primary Bone Marrow Hodgkin Lymphoma Manifesting with a Hige Fever Associated with Hemophagocytosis as the Initial Symptom:A Case Report and Review	INTERNAL MEDICINE, vol.54, 1393-1396, 2015
28	Yuji Nozaki, Koji Kinoshita, Jinhai Ri, Kenji Sakai, Toshihiko Shiga, Shoichi Hino, Yasuaki Hirooka, Masahumi Sugiyama, Masanori Funauchi, and	Division of Hemeatology & Rheumatology, Department of Internal Medicine, Kindai University Faculty of Medicine	Estimation of the symptoms for GERD by GerdQ in the patients with rheumatic diseases	MODERN RHEUMATOLOGY, Online:1-6, 2015
29	Tomohiro Yano, Yuji Nozaki, Koji Kinoshita, Shoichi Hino, Yasuaki Hirooka, Kaoru Niki, Hideki Shimazu, Kazuya Kishimoto, Masanori Funauchi and Itaru Matsumura	Division of Hemeatology & Rheumatology, Department of Internal Medicine, Kindai University Faculty of Medicine	The pathological role of IL-18R α in renal ischemia/ reperfusion injury	Laboratory Investigation, 95 January, 78-91, 2015

30	Nozaki Y, Kinoshita K, Hino S, Yano T, Niki K, Yasuaki H, Kishimoto K, Funauchi M, Matsumura I.	Division of Hematology & Rheumatology, Department of Internal Medicine, Kindai University Faculty of Medicine	Signaling Rho-kinase mediates the inflammation and apoptosis on T-cell and renal tubules in nephrotoxicity.	Am J Physiol Renal Physiol, Jan 28, 899-909, 2015
31	Kudo M	Dept. Gastroenterology and Hepatology Kinki University School of Medicine	Malignant transformation of hepatocellular adenoma: How frequently does it happen?	Liver Cancer 1:1-5, 2015
32	Kudo M	Dept. Gastroenterology and Hepatology Kinki University School of Medicine	Surveillance, diagnosis, treatment, and outcome of liver cancer in Japan	Liver Cancer 4:39-50, 2015
33	Kudo M	Dept. Gastroenterology and Hepatology Kinki University School of Medicine	Clinical practice guidelines for hepatocellular carcinoma differ between Japan, United States, and Europe	Liver Cancer 4:85-95, 2015
34	Nishida N, Kudo M	Dept. Gastroenterology and Hepatology Kinki University School of Medicine	A bridge between multi-omics data and the management of hepatocellular carcinoma	Ann Transl Med 3:1, 2015
35	Kono M, I suji N, Ozaki N, Matsumoto N, Takaba T, Okumura N, Kawasaki M, Tomita T, Umehara Y, Taniike S, Hatabe S, Funai S, Ono Y, Ochiai K, Maekura S, Kudo M	Dept. Gastroenterology and Hepatology Kinki University School of Medicine	Primary leiomyosarcoma of the colon	Clin J Gastroenterol 8:217-222, 2015
36	Kudo M	Dept. Gastroenterology and Hepatology Kinki University School of Medicine	Chronic Liver Diseases and Liver Cancer: An Update in 2015	Digest Dis 33:705-707, 2015
37	Kudo M, Kitano M, Sakurai T, Nishida N	Dept. Gastroenterology and Hepatology Kinki University School of Medicine	General rules for the clinical and pathological study of primary liver cancer, nationwide follow-up survey and clinical practice guidelines: the outstanding achievements of the Liver Cancer Study Group of Japan	Digest Dis 33:765-770, 2015
38	Kudo M, Kitano M, Sakurai T, Nishida N	Dept. Gastroenterology and Hepatology Kinki University School of Medicine	Challenges of clinical research on hepatocellular carcinoma	Digest Dis 33:780-790, 2015
39	Kudo M	Dept. Gastroenterology and Hepatology Kinki University School of Medicine	Evidence and consensus on management of hepatocellular carcinoma: update in 2015	Oncology 89:1-3, 2015

40	Kudo M	Dept. Gastroenterology and Hepatology Kinki University School of Medicine	Molecular targeted therapy for hepatocellular carcinoma: where are we now?	Liver Cancer 4:1-7, 2015
41	Hagiwara S, Nishida N, Park AM, Sakurai T, Kawada A, Kudo M	Dept. Gastroenterology and Hepatology Kinki University School of Medicine	Impaired expression of ATP-binding cassette transporter G2 and liver damage in erythropoietic protoporphyria	Hepatology 62:1638-1689, 2015
42	Kudo M	Dept. Gastroenterology and Hepatology Kinki University School of Medicine	Locoregional therapy for hepatocellular carcinoma	Liver Cancer 4:163-164, 2015
43	Kudo M, Kanai H	Dept. Gastroenterology and Hepatology Kinki University School of Medicine	Inclusion of Journal of Medical Ultrasonics in MEDLINE	J Med Ultrason 43:163, 2016
44	Hagiwara S, Nishida N, Kudo M	Dept. Gastroenterology and Hepatology Kinki University School of Medicine	Reply	Hepatology 63:1744-1745, 2016
45	Matsui S, Kashida H, Kudo M	Dept. Gastroenterology and Hepatology Kinki University School of Medicine	Gastric perineurioma	Am J Gastroenterol 111:453, 2016
46	Kudo M, Izumi N, Ichida T, Ku Y, Kokudo N, Sakamoto M, Takayama T, Nakashima O, Matsui O, Matsuyama Y, and the Liver Cancer Study Group of Japan	Dept. Gastroenterology and Hepatology Kinki University School of Medicine	Report of the 19th follow-up survey of primary liver cancer in Japan	Hepatology Res 46:372-390, 2016
47	Kudo M, Lencioni R, Marrero JA, Venook AP, Bronowicki JP, Chen XP, Dagher L, Furuse J, Geschwind JFH, Ladron de Guevara L, Papandreou C, Sanyal AJ, Takayama T, Yoon SK, Nakajima K, Lehr R, Heldner	Dept. Gastroenterology and Hepatology Kinki University School of Medicine	Regional differences in sorafenib-treated patients with hepatocellular carcinoma: GIDEON observational study	Liver Int 36:1196-1205, 2016

48	Kudo M	Dept. Gastroenterology and Hepatology Kinki University School of Medicine	Chronic Liver diseases and liver cancer: state-of-the art progress in 2016	Digest Dis, 34:617-619, 2016
49	Nishida N, Kudo M	Dept. Gastroenterology and Hepatology Kinki University School of Medicine	Clinical significance of epigenetic alterations in human hepatocellular carcinoma and its association with genetic mutations	Digest Dis 34:708-713, 2016
50	Kudo M	Dept. Gastroenterology and Hepatology Kinki University School of Medicine	Recent trends in the management of hepatocellular carcinoma with special emphasis on treatment with regorafenib and immune checkpoint inhibitors	Digest Dis 34:714-730, 2016
51	Nagai T, Arao T, Nishio K, Matsumoto K, Hagiwara S, Sakurai T, Minami Y, Ida H, Ueshima K, Nishida N, Sakai K, Saijo N, Kudo K, Kaneda H, Tamura D, Aomatsu K, Kimura H, Fujita Y, Haji S, Kudo M	Dept. Gastroenterology and Hepatology Kinki University School of Medicine	Impact of tight junction protein ZO-1 and TWIST expression on post-operative survival of patients with hepatocellular carcinoma	Digest Dis 34:702-707, 2016
52	Watanabe T, Sadakane Y, Yagama N, Sakurai T, Ezoe H, Kudo M, Chiba T, Strober W	Dept. Gastroenterology and Hepatology Kinki University School of Medicine	Nucleotide-binding oligomerization domain 1 acts in concert with the cholecystokinin receptor agonist, cerulein, to induce IL-33-dependent chronic pancreatitis	Mucosal Immunol, 2016

計52

- 1 当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「発表者の所属」については、論文に記載されている所属先をすべて記載すること。
- 3 「雑誌名」欄には、「雑誌名」「巻数・号数」「該当ページ」「出版年」について記載すること。

(様式第 3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

3 高度の医療技術の開発及び評価の実施体制

(1) 倫理審査委員会の開催状況

① 倫理審査委員会の設置状況	有
② 倫理審査委員会の手順書の整備状況	有
・ 手順書の主な内容 ヘルシンキ宣言の倫理的原則に則り、指針に基づき、医学部等で行われる人を対象とした医学系研究が倫理的配慮のもとに行われることを目的として、医学部倫理委員会・医学部遺伝子倫理委員会審査における運営に関する手順を定める。	
③ 倫理審査委員会の開催状況	年 9 回

(注) 1 倫理審査委員会については、「臨床研究に関する倫理指針」に定める構成である場合に「有」に○印を付けること。

(2) 利益相反を管理するための措置

① 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の設置状況	有
② 利益相反の管理に関する規定の整備状況	有
・ 規定の主な内容 目的、利益相反マネジメントの対象者について 対象事象について 他	
③ 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の開催状況	年 12 回

(3) 臨床研究の倫理に関する講習等の実施

① 臨床研究の倫理に関する講習等の実施状況	年 4 回
・ 研修の主な内容 研究倫理の基礎知識 平成 27 年 5 月 29 日 研究倫理の基礎知識 その 2 平成 27 年 7 月 31 日 失敗例に学ぶ生物統計学 平成 27 年 9 月 16 日 失敗例に学ぶ生物統計学 DVD 研修 平成 27 年 11 月 20 日	

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

1 研修の内容

近畿大学医学部附属病院における認定医・専門医育成プログラムでは、内科、外科、その他の専門家の認定医・専門医取得を第一目標に定めている。それと同時に2年間の卒後臨床研修で最終目標に定め修得していたプライマリ・ケアの幅と奥行きを深めるために多くの関連病院での研修も含めたカリキュラムを用意している。

2 研修の実績

研修医の人数	141.58	人
--------	--------	---

(注) 前年度の研修医の実績を記入すること。

3 研修統括者

研修統括者氏名	診療科	役職等	臨床経験年数	特記事項
宮崎 俊一	循環器内科	教授	36年	
池上 博司	内分泌・代謝・糖尿病内科	教授	34年	
工藤 正俊	消化器内科	教授	37年	
松村 到	血液・膠原病内科 (血液)	教授	31年	
船内 正憲	血液・膠原病内科 (膠原病)	教授	35年	
楠 進	神経内科	教授	37年	
中川 和彦	腫瘍内科	教授	32年	
小山 敦子	心療内科	教授	31年	
東田 有智	呼吸器・アレルギー内科	教授	35年	
有馬 秀二	腎臓内科	教授	24年	
白川 治	メンタルヘルス科	教授	35年	
竹村 司	小児科	教授	33年	
奥野 清隆	外科	教授	38年	
加藤 天美	脳神経外科	教授	36年	
佐賀 俊彦	心臓血管外科	教授	37年	
赤木 将男	整形外科	教授	32年	
福田 寛二	リハビリテーション科	教授	34年	
川田 暁	皮膚科	教授	36年	
磯貝 典孝	形成外科	教授	33年	
植村 天受	泌尿器科	教授	32年	
下村 嘉一	眼科	教授	38年	
土井 勝美	耳鼻咽喉科	教授	34年	
万代 昌紀	産婦人科	教授	31年	
西村 恭昌	放射線科・放射線腫瘍学部門 (放射線治療科)	教授	34年	
村上 卓道	放射線科診断学部門	教授	29年	
中尾 慎一	麻酔科	教授	34年	
上裕 俊法	臨床検査医学	教授	30年	
平出 敦	救命救急センター (ER)	教授	34年	
北澤 康秀	救命救急センター	教授	36年	
大槻 俊輔	脳卒中センター	教授	29年	
佐藤 隆夫	病院病理部	教授	34年	

(注) 1 医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。

(注) 2 内科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(注) 3 外科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

4 医師、歯科医師以外の医療従事者等に対する研修

① 医師、歯科医師以外の医療従事者に対する研修の実施状況（任意）

・研修の主な内容

①TeamSTEPPS（米国AHRQと国防総省との合同研究企画の結果生まれたチームの新しい活動の考え方・あり方の概要で、特にストレスの高い状況下で治療や看護を行う医療提供者によるチーム活動の進め方とトレーニング方法）研修を全職員対象で実施。

②医療機器研修を看護師・臨床工学技士対象で実施。

③診療放射線技師による放射線治療技術を中心とした英文書物、学術論文の抄読会の実施

④診療放射線技師、医学物理士を対象とした高度医療機器の安全取扱に関する研修の実施

・研修の期間・実施回数

①定期的で開催しており、全45回の研修を開催した（平成28年7月16日現在）。平成27年度は10回開催。全職員修了まで継続予定。

②平成27年度は216回開催。

③1回/月

④2回/年

・研修の参加人数

①約3200人が参加（平成28年7月16日現在）。平成27年度は668人（毎月平均約70人）が参加。

②平成27年度は4720人が参加。

③10名

④10名

② 業務の管理に関する研修の実施状況（任意）

・研修の主な内容 医師、歯科医師以外の医療従事者等に対する研修の実施状況

- 1) 放射線科医師、医学物理士、診療放射線技師、看護師による放射線治療合同カンファレンスの実施
- 2) 診療放射線技師、医学物理士、看護師による、始業前ミーティングの実施
- 3) 医学物理士、診療放射線技師による高精度放射線治療機器のQA、QC実施結果の報告、研修の実施

・研修の期間・実施回数

- 1) 1回/週
- 2) 1回/日
- 3) 1回/週

・研修の参加人数

- 1) 18人、 2) 10人、 3) 3～4人

③ 他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況

・研修の主な内容

- ① TeamSTEPPS研修で他施設参加者の受入。
- ② 南大阪地域内での医療安全情報共有を目的とし、南大阪医療安全ネットワークを設立。会員施設対象に定期的に研修会を開催。

・研修の期間・実施回数

- ①定期的に開催しており、全45回の研修を開催した(平成28年7月16日現在)。平成27年度は10回開催。
- ②平成27年度は年間6回開催。

・研修の参加人数

- ①平成27年度は他施設より86人(毎月平均約8人)が参加。
- ②毎回平均約80人が参加。

(注) 1 高度の医療に関する研修について記載すること。

(注) 2 「③他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況」については、医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院についてのみ記載すること。また、日本全国の医療機関に勤務する医療従事者を対象として実施した専門的な研修を記載すること。

平成27年度研修・実習

1. 公開講座

月日	テーマ・内容	参加人数	担当者	
平成27年5月27日(水)	認知機能障害のある高齢者への支援	168名	副看護部長	小山 富美子
平成27年11月16日(月)	『なんでやねんカ！セミナー』	210名	看護長	北本 智美
平成28年2月25日(木)	いつでも どこでも 受けられる 緩和ケア	86名	緩和ケア認定看護師	西井 智恵子

2. その他職種実習

月日	テーマ・内容	参加人数	担当者	
平成27年8月 6日(木) 7日(金) 10日(月)	近畿大学 薬学部(1年生) 実習	170名	副看護部長	小瀬利章子
平成28年2月1日(月) ～2月5日(金)	帝塚山学院大学 看護学臨床実習	5名	57病棟	
平成28年2月8日(月) ～12日(金)、15日(月)	帝塚山学院大学 看護学臨床実習	4名	57病棟	

講師依頼など

年度	公文書日付	日時	日数	種別	依頼内容	担当者領域	担当者氏名	施設区分	依頼施設	交通費	報酬金額
平成27年度	H27.3.6	平成27年4月17日 10:00～13:30	1	その他	「慢性期医療展」ブース出展への派遣	助産師	大國 恵	看護協会	大阪府看護協会	なし	-
平成27年度	H27.3.20	平成27年4月1日～平成29年3月31日	-	役割	大阪府看護協会 教育委員会委員 就任	OP	中島陽子	看護協会	大阪府看護協会	なし	-
平成27年度	H27.3.20	平成27年4月1日～平成29年3月31日	-	役割	大阪府看護協会 医務委員会委員 就任	安全管理	山田明子	看護協会	大阪府看護協会	なし	-
平成27年度	H27.3.20	平成27年4月1日～平成29年3月31日	-	役割	大阪府看護協会 防災・災害看護委員会委員 就任	救急看護	野見山 美子	看護協会	大阪府看護協会	なし	-
平成27年度	H27.3.20	平成28年4月1日～平成28年3月31日	-	役割	大阪府看護協会 教育委員会委員 就任	OP	中島陽子	看護協会	大阪府看護協会	なし	-
平成27年度	H27.5.11	平成27年5月29日 13:30～16:30	1	その他	ELNEC-J大阪事前会議 出席	がん看護	小山 富美子	看護協会	大阪府看護協会	なし	-
平成27年度	H27.5.26	平成27年6月3日(水) 9:00～17:00 平成27年6月8日(月) 9:00～17:00 平成27年7月1日(水) 9:00～17:00 平成27年10月7日(水) 9:00～17:00 平成27年12月14日(月) 9:00～17:00	5	その他	大阪府看護協会 教育委員 研修担当	OP	中島陽子	看護協会	大阪府看護協会	なし	-
平成27年度	H27.5.25	平成27年6月13日(土) 10:00～12:00	1	その他	防災・災害看護委員会 調査研究 協力	救急看護	野見山 美子	看護協会	大阪府看護協会	なし	3,000
平成27年度	H27.5.29	平成27年6月13日(土) 10:00～16:00	1	その他	平成27年度 医道師・助産師・看護師合同研修会 出席(職協委員)	助産師	大國 恵	看護協会	大阪府看護協会	なし	-
平成27年度	H27.6.1	平成27年7月10日(金) 10:00～11:00	1	その他	2015年度研修 №45～48共通可救急看護2演習①②③④JBLISの講師 「ストラクター」打ち合わせ会議出席	救急看護	岩本 理恵	看護協会	大阪府看護協会	なし	-
平成27年度	H27.6.8	平成27年8月17日(月) 9:30～16:30	1	講義	2018年度研修 №45、46「看護共通5」救急看護2 演習①②③④J講師・インストラクター	がん看護	小山 富美子	看護協会	大阪府看護協会	交通費有	66,000
平成27年度	H27.6.9	平成27年7月10日(金) 11:00～13:00	1	その他	2016年度研修 №45～48共通可2「ワジカルアセスメント演習①②③④」 講師・インストラクター 打ち合わせ 参加	救急看護	野見山 美子	看護協会	大阪府看護協会	なし	-
平成27年度	H27.6.9	平成27年8月7日(金) 9:30～12:30 平成27年8月7日(金) 13:30～16:30	2	その他	2015年度研修 №45、46「看護共通5」救急看護2 演習①②③④J講師・インストラクター	救急看護	岩本 理恵	看護協会	大阪府看護協会	なし	-
平成27年度	H27.7.2	平成27年9月11日(金) 15:00～17:00	1	その他	2016年度研修 №35～38共通可2「ワジカルアセスメント演習①②③④」 講師・インストラクター 打ち合わせ 参加	救急看護	西井 美子	看護協会	公益社団法人大阪府看護協会	なし	-
平成27年度	H27.7.2	平成27年9月11日(金) 15:00～17:00	1	その他	2016年度研修 №35～38共通可2「ワジカルアセスメント演習①②③④」 講師・インストラクター 打ち合わせ 参加	救急看護	村上 香枝	看護協会	公益社団法人大阪府看護協会	なし	-
平成27年度	H27.7.2	平成27年9月11日(金) 15:00～17:00	1	その他	2016年度研修 №35～38共通可2「ワジカルアセスメント演習①②③④」 講師・インストラクター 打ち合わせ 参加	救急看護	西 有未	看護協会	公益社団法人大阪府看護協会	なし	-
平成27年度	H27.7.9	平成27年7月25日(土) 9:00～17:00	1	その他	大阪府看護協会 教育委員 研修担当	OP	中島陽子	看護協会	大阪府看護協会	なし	-
平成27年度	H27.7.17	平成27年10月22日(土) 8:30～16:30	1	その他	2015年の研修№38看護共通2「ワジカルアセスメント演習②」の インストラクターの依頼	救急看護	村上 香枝	看護協会	公益社団法人大阪府看護協会	交通費有	1回18,000円
平成27年度	H27.7.17	平成27年10月29日(木) 8:30～16:30 平成27年10月30日(金) 9:30～16:30	2	その他	2016年の研修№37看護共通2「ワジカルアセスメント演習③」の インストラクターの依頼	救急看護	西 有未	看護協会	公益社団法人大阪府看護協会	交通費有	1回36,000円
平成27年度	H27.7.17	平成27年11月5日(木) 9:30～16:30	1	その他	2015年の研修№38看護共通2「ワジカルアセスメント演習④」の 講師派遣の依頼	救急看護	野見山 美子	看護協会	公益社団法人大阪府看護協会	交通費有	1回60,000円
平成27年度	H27.7.17	平成27年11月6日(金) 9:30～16:30	1	その他	2015年の研修№38看護共通2「ワジカルアセスメント演習④」の 講師派遣の依頼	救急看護	野見山 美子	看護協会	公益社団法人大阪府看護協会	交通費有	1回60,000円
平成27年度	H27.7.13	平成27年8月10日(月) 13:30～17:00予定	1	その他	専門看護師認定実行委員会の開催	がん看護	小山 富美子	看護協会	公益社団法人大阪府看護協会	なし	-
平成27年度	H27.8.3	平成27年8月31日(月)9:30～17:00	1	その他	ELNEC-J大阪事前会議 出席	がん看護	小山 富美子	看護協会	大阪府看護協会	なし	-
平成27年度	H27.8.3	平成27年8月31日(月)9:30～17:00	1	その他	ELNEC-J大阪事前会議 出席	がん性疼痛	竹久志穂	看護協会	大阪府看護協会	なし	-
平成27年度	H27.8.3	平成27年8月31日(月)9:30～17:00	1	その他	ELNEC-J大阪事前会議 出席	緩和ケア	森山めぐみ	看護協会	大阪府看護協会	なし	-
平成27年度	H27.8.21	平成27年10月19日(月)委員会9:00 研修会10:00～16:00 委員会16:00～17:00	1	その他	防災・災害看護委員会 「災害支援チーム」の育成研修への派遣	救急看護	西井 美子	看護協会	公益社団法人大阪府看護協会	交通費有	-
平成27年度	H27.8.27	平成27年9月12日(土)12:30～16:30(集合11:00)	1	その他	平成27年度近畿地区助産師連合主催合同研修会 「助産師実務能力強化に向けて～クリニカルラーへの推進と助産師 のキャリア発達を支援する」	助産師	大國 恵	看護協会	公益社団法人大阪府看護協会	交通費有	-
平成27年度	H27.9.1	平成27年9月26日(土)9:00～18:05 平成27年9月27日(日)9:00～17:00	1	講義	「看護師のためのエンド・オブ・ライフ・ケア研修」の講師依頼 「看護師のためのエンド・オブ・ライフ・ケア研修」の講師依頼	緩和ケア	森山めぐみ	看護協会	大阪府看護協会	交通費有	11,000
平成27年度	H27.9.1	平成27年9月26日(土)9:00～18:05 平成27年9月27日(日)9:00～17:00	1	講義	2015年度研修№223 ELNEC-Jコアカリキュラム看護師教育プログラム 「看護師のためのエンド・オブ・ライフ・ケア研修」の講師依頼	がん性疼痛	竹久志穂	看護協会	大阪府看護協会	交通費有	11,600
平成27年度	H27.9.1	平成27年9月26日(土)9:00～18:05 平成27年9月27日(日)9:00～17:00	1	講義	2015年度研修№223 ELNEC-Jコアカリキュラム看護師教育プログラム 「看護師のためのエンド・オブ・ライフ・ケア研修」の講師依頼	がん看護	小山 富美子	看護協会	大阪府看護協会	交通費有	20,000
平成27年度	H27.10.5	平成27年12月3日(木)9:30～16:30	1	講義	2015年度研修№20成人看護6慢性期疾患患者のセルフケア (看護師のための)の講師依頼	慢性心不全	加藤 恵子	看護協会	公益社団法人 大阪府看護協会	交通費有	30,000
平成27年度	H27.12.25	平成28年1月23日(土)13:00～16:30(11:30集合)	1	その他	平成27年度 助産師連合委員会研修 「助産師の働き方アンケート」の出席依頼	助産師	大國 恵	看護協会	公益社団法人 大阪府看護協会	交通費有	-
平成27年度	H28.1.28	平成28年3月11日(金)9:00～17:00	1	その他	教育委員会主催研修及び委員会開催日変更による担当者派遣依頼	OP	中島陽子	看護協会	大阪府看護協会	交通費有	-

依頼公文書年月日	執筆者	書籍名40文字	テーマ 40文字	巻・号(vol, No) 7文字	開ページ～終ページ	出版社名 15文字	出版・発行年月日
H27.4.14	神谷健司	呼吸器ケア誌「呼吸器ケア」	「測り方、読み方、循環動態と合わせた考え方まで総ざらえ！ 難しくない職業化・換気モニタリング」	2015年8月号		株式会社メディアイカ出版	？
H27.8.7	神谷健司	『月刊ナーシング』	特集「急変対応・体位ドレナージ・嚥嚥対策・早期離床 どれが優先？ ポジショニングの実践選択(仮)」	2015年11月号		株式会社学研メディアイカカル秀潤社	2015年10月20日刊行予定
H27.9.7	小山富美子	『50の失敗事例/ヒヤリ・ハット事例から学ぶ！ 緩和医療ケースファイル』		-	(3600～4800字)	株式会社南江堂臨床出版部1課	平成28年6月1日(水) 予定
H27.12.2	村上香織	『Emergency Care』	『新人ナース徹底指導②はじめのはじめの救急看護(応用編)』	第29巻5号(2016年5月号)	B5・50ページ	株式会社メディアイカ出版	平成28年4月上旬予定
H28.2.5	村上香織	「改訂3版 ALS 写真と動画でわかる二次救命処置 動画付き(仮題)」	第4章 コミュニケーションに求められる役割	-	AB版、約200ページ	株式会社学研メディアイカカル秀潤社	2016年9月末
H28.2.10	神谷健司	3年目ナースのための 消化器看護ケア事典	「症状のうち「腹痛」		4ページ(2400字) × 1項目	ナツメ出版企画株式会社	2016年10月以降予定
H28.2.10	阿部健太	3年目ナースのための 消化器看護ケア事典	「症状のうち「血痰・咯血」		7ページ(4200字) × 1項目	ナツメ出版企画株式会社	2016年10月以降予定

看護部実習受入一覧

年度	公文書日付	実習期間	実習内容	担当者領域	担当者氏名	施設区分	依頼施設	実習者氏名	受入人数	報酬金額
平成27年度	H27.4.6	平成27年5月11日～平成27年6月26日 計23日間	大阪府立大学大学院 実習受入 看護学研究科 家族看護学分野	家族支援	藤野 崇	大学	大阪府立大学	米田 愛	1名	-
平成27年度	H27.4.6	平成27年5月18日～平成27年6月5日	大阪府立大学大学院 実習受入 がん看護学専攻 (ONSコース)	がん看護	小山富美子	大学	大阪府立大学	神崎 美和	1名	-
平成27年度	H27.4.吉日	平成27年8月5日(講義) 10:00～13:00 平成27年8月6日(病棟体験実習) 10:30～16:00 平成27年8月7日(病棟体験実習) 10:30～16:00 平成27年8月10日(病棟体験実習) 10:30～16:00	近畿大学 薬学部(1年生) 実習受入	-	-	自施設	近畿大学 薬学部	-	170名	-
平成27年度	H27.5.21	平成27年7月15日～平成27年7月17日	大阪府立大学 地域保健学域 看護学類 総合実 習:在宅・家族看護学分野 実習受入	在宅看護	河野政子	大学	大阪府立大学	晒谷 瞳 山本 彩加	2名	-
平成27年度	H27.7.吉日	平成27年7月28日 13:00～17:00	嚙下サポートチームの活動見学	-	-	他施設	大阪府薬済生会中津病院	-	4名	-
平成27年度	H27.7.22	平成27年9月9日(水)、10日(木)、9月25日(金)	大阪府立大学大学院 看護学研究科 家族看護学 分野 見学実習	家族支援	藤野 崇	大学	大阪府立大学	永野 晶子	1名	-
平成27年度	H27.8.20	H27年度	平成27年度和歌山看護協会救急看護認定看護師 教育課程随時実習依頼	-	-	看護協会	公益社団法人和歌山県看護協会	-	-	-
平成27年度	H27.8.6	平成27年8月27日～平成27年8月28日	平成27年度緩和ケア認定看護師教育課程 事前課題研修依頼	緩和ケア	西井智恵子	看護協会	公益社団法人日本看護協会 神戸研修センター	藤井 知江子	1名	2,500
平成27年度	H27.11.5	平成27年11月11日(水)14:00～16:00	ICU・救命救急センター等見学依頼	-	赤尾幸恵	自施設	社会医療法人同仁会 耳原総合病院	田端 志郎(副院長) 南 きよみ(ICU師長) 今津 梨香(ICU主任) 丸岡 邦啓(薬剤科主任) 田野 ちひろ(理学療法士主 任) 植浦 麻子(言語聴覚士主 任)	6名	-
平成27年度	H27.9.17	平成28年1月6日(水)～2月10日(水)	平成27年度和歌山看護協会救急看護認定看護師 教育課程随時実習依頼	救命	-	看護協会	公益社団法人和歌山県看護協会	池田 景子 田村 麻衣	2名	-
平成27年度	H27.12.25	平成28年2月1日(月)～2月3日(水)のうち計2日間	家族支援専門看護師として、理論、モデルに基づい た看護過程を展開する	家族支援	藤野 崇	大学	大阪府立大学	永野 晶子	1名	-

平成27年度院内研修会

看護実践能力到達段階別研修

I

研修テーマ	研修日時	研修内容	講師・担当者
1ヶ月研修 ・医療用ポンプ	平成27年4月23日(木) 13:30 ~ 17:00 平成27年4月27日(月) 13:30 ~ 17:00 平成27年4月30日(木) 13:30 ~ 17:00	【目的】 1ヶ月:働きはじめてからの自己の気持ちを表出する 医療用ポンプ:医療用ポンプの機能・特徴・操作方法を理解する 【目標】 1ヶ月:働きはじめてからの戸惑いについて互いに話し合うことができる 医療用ポンプ:医療用ポンプの機能・特徴を理解する 医療用ポンプを正しい手順で操作できる	新人研修責任者 臨床工学士 看護教育委員会
120名			
心電図(基礎)	平成27年5月19日(火) 15:00 ~ 17:00 平成27年5月22日(金) 15:00 ~ 17:00 平成27年5月28日(木) 15:00 ~ 17:00 平成27年5月29日(金) 15:00 ~ 17:00	【目的】 基本的な心臓のメカニズムをふまえ、心電図の基本を理解する 【目標】 心電図の働きが理解できる、正常洞調律を理解できる	慢性心不全看護認定看護師 加藤 恵子 日本光電(株) 萩田 清 新人研修責任者 看護教育委員会
119名			
3ヶ月研修	平成27年6月22日(月) 13:30 ~ 17:00 平成27年6月24日(水) 13:30 ~ 17:00 平成27年6月25日(木) 13:30 ~ 17:00	【目的】 3ヶ月を振り返り、看護師としての自己の成長を確認する 【目標】 1 ストレスマネジメントの基礎を理解し、上手に付き合う方法を知る 2 3ヶ月の経験を振り返り、自己の看護師としての成長を感じることができる	臨床心理士 長谷川 百代 新人研修責任者 看護教育委員会
116名			
スキンケア・ 輸血療法	平成27年7月24日(金) 17:30 ~ 19:00 平成27年7月22日(水) 13:30 ~ 17:00 平成27年7月24日(金) 13:30 ~ 17:00 平成27年7月31日(金) 13:30 ~ 17:00	【目的】 スキンケア:スキンケアの基礎について理解する 輸血療法:輸血療法の目的を理解し、管理方法・看護師の役割を理解する 【目標】 スキンケア:スキンケアの基礎を学び、スキントラブルの予防に活用する 輸血療法:1.血液製剤種類・取扱いを知り、正しい手順で実施できる 2.輸血作用、副作用を理解し、患者観察ができる	新人研修責任者 輸血部技師 看護教育委員会
131名			
救急看護処置 技術	平成27年8月24日(月) 9:00 ~ 12:00 平成27年8月26日(水) 9:00 ~ 16:30 平成27年8月26日(水) 9:00 ~ 16:30 平成27年8月28日(金) 9:00 ~ 12:00 平成27年8月28日(金) 9:00 ~ 12:00 平成27年9月2日(水) 9:00 ~ 12:00 平成27年9月2日(水) 14:00 ~ 17:00	【目的】 救命救急処置を理解し、蘇生技術を習得する 【目標】 1 蘇生法が理解でき、実施できる 2 安全にAEDを使用できる 3 気管挿管の準備と介助が実施できる 4 チームメンバーへの応援要請ができる	集中ケア認定看護師 下垣内 順子 阿部 健太 救急看護認定看護師 岩本 理恵 西井 泰子 西 有未 看護教育委員会
136名			
6ヶ月研修	平成27年9月7日(月) 13:00 ~ 17:00 平成27年9月8日(火) 13:00 ~ 17:00 平成27年9月18日(金) 13:00 ~ 17:00	【目的】 社会人としての自覚をもち、職業人としての役割について知る・自己の看護実践を振り返り、課題を明確にする 【目標】 社会人として働くということを考え、専門職業人としての役割を考えることができる 自己の看護実践を振り返り、他者へ語ることで今後の課題を見つけられる	新人研修責任者 看護教育委員会
113名			

研修テーマ	研修日時	研修内容	講師・担当者
看護過程 112名	平成27年10月6日(火) 13:30 ~ 17:00 平成27年10月9日(金) 13:30 ~ 17:00 平成27年10月19日(月) 13:30 ~ 17:00 平成27年10月21日(水) 13:30 ~ 17:00	【目的】 問題解決アプローチを基盤とした看護過程の概要を理解する 【目標】 1 看護過程の概念、5段階を理解する 2 事例を通じて、自己の看護を振り返ることができる 看護師としての感性を磨く	新人研修責任者 看護教育委員会
人工呼吸器 112名	平成27年11月2日(月) 13:30 ~ 17:00 平成27年11月9日(月) 13:30 ~ 17:00 平成27年11月16日(月) 13:30 ~ 17:00	【目的】 人工呼吸器、NIPPVの機能について理解できる 【目標】 1 自然呼吸と人工呼吸の違いを理解し、人工呼吸の機能を理解できる 2 人工呼吸器の機能を理解し、使用前点検ができる 3 人工呼吸器装着中の看護を理解できる	臨床工学士 集中ケア認定看護師 下垣内 順子 看護教育委員会
心電図(応用) 111名	平成27年12月1日(火) 15:00 ~ 17:00 平成27年12月9日(水) 15:00 ~ 17:00 平成27年12月16日(水) 15:00 ~ 17:00	【目的】 危険な不整脈を理解し、対処方法を学ぶ 【目標】 1 血行動態の重篤な低下をまねく危険な不整脈を理解できる 2 不整脈出現時の対応を理解できる	慢性心不全看護認定看護師 加藤 恵子 看護教育委員会
1年研修 108名	平成28年2月15日(月) 13:30 ~ 17:00 平成28年2月17日(水) 13:30 ~ 17:00 平成28年2月26日(土) 13:30 ~ 17:00	【目的】 自分の成長を確認できる 【目標】 1 1年間を振り返り、看護師としての自己の成長を考え、課題を明確にできる 2 目標管理について理解できる	新人研修責任者 看護教育委員会
II			
研修テーマ	研修日時	研修内容	講師・担当者
感染予防対策2 (経路別) 106名	平成27年6月10日(水) 17:15 ~ 19:00 平成27年6月17日(水) 17:15 ~ 19:00	【目的】 エビデンスに基づく感染予防対策を理解し、実践できる 【目標】 感染の基礎知識・経路別感染予防策を理解する	感染管理認定看護師 三五 裕子 感染症看護専門看護師 久光 由香 看護教育委員会
静脈注射実施者 育成 137名 134名	平成27年7月2日(木) 17:15 ~ 18:15 平成27年7月8日(水) 17:15 ~ 18:15 (口頭試問、実技テスト 5日間) 平成27年8月3日 ~平成27年8月7日 9:00 ~ 17:00	【目的】 近畿大学医学部附属病院の看護師として、静脈注射実施基準に則り、静脈注射が実施できる 【目標】 静脈注射を安全に実施するための知識・技術を学ぶ	静脈注射院内認定看護師 玉井 里実 看護教育委員会
看護研究1 (文献検索) 77名	平成27年5月8日(金) 17:15 ~ 19:15	【目的】 看護研究を行うための文献検索を学ぶ 【目標】 文献検索の方法が理解できる	医学部図書館 吉富 啓子 看護教育委員会
看護研究2 (事例研究) 95名 発表会	平成27年6月11日(木) 9:00 ~ 12:00 平成27年6月11日(木) 13:00 ~ 16:00 平成27年11月6日(金) 17:15 ~ 19:15 平成27年11月12日(木) 17:15 ~ 19:15	【目的】 看護実践に活かす看護研究の意義・研究に向かう姿勢を理解し看護研究のプロセスを学ぶ 【目標】 看護研究の基礎知識を習得し、事例研究としてまとめることができる	摂南大学 看護学部 講師 森谷 利香 看護教育委員会
看護倫理2 118名	平成27年7月10日(金) 17:20 ~ 18:05 平成27年7月24日(金) 17:20 ~ 18:05 平成27年8月11日(火) 17:20 ~ 18:05	【目的】 倫理綱領の内容について理解できる 【目標】 臨床場面における看護上の倫理的問題に気づき、行動する力を養う	感染症看護専門看護師 久光 由香 看護教育委員会

研修テーマ	研修日時	研修内容	講師・担当者
実地指導者育成 56名	平成28年1月29日(金) 9:00 ~ 12:00	【目的】 新人看護職員臨床研修制度を理解し、実地指導者の役割を理解する 【目標】 実地指導者の役割を理解し、行動できる	看護長 高橋 直美 看護教育委員会
退院支援アセスメント 65名	平成27年9月3日 13:00 ~ 16:50	【目的】 退院支援に関しての考え方を理解する 【目標】 退院支援アセスメント力を身につける	在宅看護専門看護師 河野 政子 看護教育委員会
Ⅲ			
研修テーマ	研修日時	研修内容	講師・担当者
フィジカルアセスメント 102名	平成27年5月1日(金) 17:15 ~ 18:45 平成27年5月26日(火) 9:00 ~ 17:00 平成27年6月23日(火) 9:00 ~ 17:00 平成27年8月25日(火) 13:30 ~ 17:00	【目的】 フィジカルアセスメントスキルについて学び、 根拠に基づいたアセスメントができる 【目標】 系統的フィジカルイグザミネーションについて学び、 フィジカルアセスメントスキルを身につける	急性・重症患者看護専門看護師 村上 香織 慢性心不全看護認定看護師 加藤 恵子 脳卒中リハビリ看護認定看護師 林 真由美 看護教育委員会
臨床指導者育成 38名	平成27年5月15日(金) 9:00 ~ 16:00 平成28年1月22日(金) 9:00 ~ 16:00	【目的】 臨床指導者の役割が理解できる 【目標】 臨床実習指導者の役割と学生の思考過程が理解できる あり方を学ぶ	近畿大学附属 看護専門学校 教員 片山 美子 看護教育委員会
臨床指導者1 臨床指導者2 28名	平成27年6月4日(木) 9:00 ~ 16:00 平成27年6月26日(金) 9:00 ~ 16:00	【目的】 臨床実習指導者として効果的な関りができる 【目標】 臨床実習指導者の基礎的な知識と、効果的な指導のあり方を理解する	看護長 中島 陽子 近畿大学附属 看護専門学校 教員 平松 幸子 看護教育委員会
リーダーシップ 43名	平成27年8月12日(水) 9:00 ~ 16:00	【目的】 チーム医療の中で看護師の役割を理解し、リーダーシップを 発揮することができる 【目標】 リーダーシップに必要な基礎的知識と方法論が理解できる できる	医療法人 協和会 法人本部 総括部長 青木 菜穂子 看護教育委員会
リーダーシップ スキルアップ 24名/外部13名	平成27年9月9日(水) 9:00 ~ 12:00	【目的】 チーム医療の中で看護師の役割を理解し、リーダーシップを 発揮することができる 【目標】 チームの中での自分の役割と、看護の視点でリーダーシップを 発揮するために必要なスキルがわかる	医療法人 協和会 法人本部 総括部長 青木 菜穂子 看護教育委員会
チームリーダー 25名	平成27年7月30日(木) 9:00 ~ 16:00	【目的】 チーム運営が円滑にできる 【目標】 チーム運営に責任を持ち、チームリーダーとして リーダーシップが発揮できる	大阪国際大学人間科学 心理コミュニケーション学科 教授 青野 明子 看護教育委員会
安全管理2 (危険予知 トレーニング) 48名	平成27年7月6日(月) 13:30 ~ 17:00	【目的】 予測に基づいて適切な安全対策が実施できる 【目標】 安全管理上のリスクを軽減するための方法について 理解できる	副看護部長 酒井 美恵 看護教育委員会
看護研究3(統計) 19名 /外部23名	平成27年8月7日(金) 9:00 ~ 16:00	【目的】 看護研究方法(量的研究)について学び、看護研究 に適した分析を理解し研究に取り組むことが出来る 【目標】 看護研究に必要な統計の基礎知識を学ぶ	大阪人間科学大学 人間科学部 健康心理学科 石井 京子 看護教育委員会

研修テーマ	研修日時	研修内容	講師・担当者
看護研究4 (統計の処理の 実際) 11名	平成27年12月3日(木) 17:15 ~ 19:15	【目的】 看護研究方法(量的研究)について学び、看護研究に 適した分析を理解し研究に取り組むことが出来る 【目標】 看護研究に必要な統計の使い方を学ぶ	リハビリテーション部 技術係長 言語聴覚士 久保田 功 看護教育委員会
感染予防対策3 (血流感染・ 尿路感染) 45名	平成27年9月16日(水) 13:30 ~ 17:00	【目的】 エビデンスに基づく血流感染予防対策・尿路感染予防 対策の実践ができる 【目標】 エビデンスに基づく血流感染・尿路感染の予防対策を 理解する	感染症看護専門看護師 久光 由香 看護教育委員会
感染予防対策4 (手術部位感染・人 工呼吸器関連感 染) 35名	平成27年9月30日(水) 13:30 ~ 17:00	【目的】 エビデンスに基づく手術部位感染対策・人工呼吸器 関連感染対策を理解し実践できる 【目標】 エビデンスに基づく手術部位感染対策・人工呼吸器 関連感染対策を理解する	感染症看護専門看護師 久光 由香 看護教育委員会
感染管理1 (感染症発生時の対応) 29名	平成27年10月7日(水) 13:30 ~ 17:00	【目的】 感染症を理解し、感染症発生時の対応が実践できる 【目標】 感染症発生時に必要な知識を得る	感染管理認定看護師 三五 裕子 感染症看護専門看護師 久光 由香 看護教育委員会
看護倫理3-① 看護倫理3-② 54名	平成27年10月9日(金) 17:15 ~ 18:45 平成27年10月30日(金) 17:15 ~ 18:45	【目的】 看護上の倫理的問題に対して、看護職としてとるべき行動 が理解できる 【目標】 臨床場面における看護上の倫理的問題に気づき検討する 力を養う	急性・重症患者看護専門看護師 村上 香織
災害看護1 35名 災害看護2 34名	平成27年10月14日(水) 13:30 ~ 17:00 平成27年11月11日(水) 9:00 ~ 17:00	【目的】 災害発生時の看護について理解し、災害時の看護に 活かすことができる 【目標】 防災・災害予防対策の基礎知識を学ぶ 災害発生時の院内で適切な対応を理解する	内科外来 主任 倉又 佳代 栄養部 科長 西村 町子 看護教育委員会
看護研究5 (抄録作成・発 表) 9名/外部20名	平成27年11月16日(月) 8:45 ~ 12:15	【目的】 看護研究を発表するためのスキルを学ぶ 【目標】 1 学会抄録の書き方が分かる 2 効果的なプレゼンテーションが出来る	大阪大学大学院 医学系研究科保健学専攻 看護学専攻 准教授 伊藤 美樹子 看護教育委員会
静脈注射認定 看護師育成 8名 筆記テスト 平成27年12月17日(木) 17:15 ~ 18:45 実技テスト 平成28年1月20日(水) 13:30 ~ 17:00 12名	平成27年11月17日(火) 13:30 ~ 18:10	【目的】 静脈注射に関する院内認定看護師の役割を理解し、 実践できる 【目標】 静脈注射に関する知識・技術の習得をする 静脈注射認定看護師としての役割を学ぶ	静脈注射院内認定看護師 主任 福和 直美 薬剤師 平川 真吾 看護教育委員会
教育担当者育成 15名	平成28年2月5日(金) 9:00 ~ 17:00	【目的】 新採用者の教育に必要な知識・技術を習得する 【目標】 教育担当者の役割がわかる	副看護長 高橋 直美 臨床心理士 長谷川 百代 副看護部長 脇坂 真由美 看護教育委員会
チームリーダー 育成 30名	平成28年1月28日(木) 8:30 ~ 12:00	【目的】 チームリーダーの役割が理解できる 【目標】 固定チームナーシングにおけるチームリーダーの役割 がわかる	大阪国際大学人間科学 心理コミュニケーション学科 教授 青野 明子 看護教育委員会

研修テーマ	研修日時	研修内容	講師・担当者
退院支援プロセス 41名	平成27年10月23日 13:00 ~ 17:00	【目的】 退院支援プロセスを理解する 【目標】 退院支援のプロセスにおける具体的活動について学ぶ	在宅看護専門看護師 河野 政子 看護教育委員会
IV			
研修テーマ	研修日時	研修内容	講師・担当者
感染管理2 7名/外部13名	平成27年10月28日(水) 13:30 ~ 17:00	【目的】 感染予防対策を管理的視点から学び、感染管理を実施できる 【目標】 組織的な感染管理に取り組むために必要な知識を得る	感染管理認定看護師 三五 裕子 感染症看護専門看護師 久光 由香 看護教育委員会
看護倫理4 34名	平成27年11月13日(金) 17:15 ~ 18:45	【目的】 倫理カンファレンスの実際を学び、倫理問題の解決に向けた行動ができる 【目標】 医療倫理・看護倫理上の問題に気づき、現状分析し解決に向けた行動ができる	在宅看護専門看護師 河野 政子 看護教育委員会
安全管理3 (RCA分析) 27名	平成27年11月16日(月) 13:30 ~ 17:00	【目的】 RCA分析を学び所属の安全に関する問題点の分析・改善策を立案・実施・評価ができる 【目標】 RCA分析の方法を理解する	副看護部長 酒井 美恵 看護教育委員会
全体看護職員対象			
研修テーマ	研修日時	研修内容	講師・担当者
看護部長の 所信表明 334名	平成27年4月7日(火) 17:15 ~ 18:15	【内容】 「看護部が目指す方向性」 ① 地域システムの中核となる病院 ② 国際化を推進する看護部 ③ ユニフィケーションの先頭をいく看護部 ④ 新しい体制を推進する看護部	看護部長 赤尾 幸恵
退院支援に 関する診療報酬 122名	平成27年5月22日(金) 17:20 ~ 18:05	【目的】 退院支援・調整に関する診療報酬が理解できる 【目標】 退院支援・調整に関する診療報酬とその仕組みを理解する	在宅看護専門看護師 河野 政子 看護教育委員会
認知機能 障害のある 高齢者への支援 168名	平成27年5月27日(水) 17:30 ~ 19:00	【目的】 高齢者の認知機能障害の特徴と基本的な支援方法を理解する	有馬温泉病院 ケア開発室室長 老人看護専門看護師 西山 みどり
患者支援に 関する諸制度 98名	平成27年10月22日(木) 17:20 ~ 18:20	【目的】 患者支援に関する医療・福祉制度について、概要を理解できる	患者支援センター 課長補佐 小西 直毅 看護教育委員会
総会報告会 194名	平成27年7月14日(火) 17:15 ~ 18:15	【目的】 専門職としての活動範囲を知り、看護の専門性を理解する 【目標】 1 看護協会、看護連盟の活動内容を知る 2 チーム医療の活動を知る	副看護部長 小山 富美子 看護長 堂本 勝子 浦井 美香 大西 晴江 今村 美生 主任 末永 圭子 看護師 菊池 恵美 看護教育委員会

研修テーマ	研修日時	研修内容	講師・担当者
専門領域研修			
研修テーマ	研修日時	研修内容	講師・担当者
がん看護初級 23名	平成27年6月27日(土) 8:30 ~ 17:00	【目的】 がん看護における基本的な知識を習得し、患者・家族へのケアを検討できる	がん看護専門看護師 小山 富美子 長尾 充子
22名	平成27年7月25日(土) 13:00 ~ 17:00	【目標】 がん看護における基本的な知識を習得できる	城山 敏江 がん化学療法看護認定看護師 愼 玉姫 林 真紀子 石山 さつき 緩和ケア認定看護師 森山 めぐみ がん性疼痛看護認定看護師 竹久 志穂 看護教育委員会
がん看護中級	平成27年9月5日(土) 9:00 ~ 17:00 平成27年10月17日(土) 9:00 ~ 17:00 平成28年1月16日(土) 13:30 ~ 17:00	【目的】 がん看護における知識・技術・態度を身につけ、看護実践に活用できる 【目標】 ・ がん化学療法を受ける患者のケアについて学習し、適切な症状マネジメントを行うための知識を得る ・ がん放射線療法看護における知識・技術・態度を理解でき看護実践につなげることができる ・ 疼痛アセスメントおよび全人的苦痛のアセスメント方法を理解することができる ・ 症状アセスメント・ケアを理解することができ、実践につなげることができる	がん看護専門看護師 小山 富美子 長尾 充子 城山 敏江 がん化学療法看護認定看護師 愼 玉姫 林 真紀子 石山 さつき 緩和ケア認定看護師 森山 めぐみ がん性疼痛看護認定看護師 竹久 志穂 看護教育委員会
15名			
エンド・オブ・ライフケア	平成27年11月28日(土) 8:30 ~ 17:00 平成27年12月19日(土) 8:30 ~ 17:00	【目的】 エンド・オブ・ライフ・ケアにある患者の特徴を知り、ケアにつなげる知識・技術を養う 【目標】 1 エンド・オブ・ライフ・ケアの基本を理解することができる 2 エンド・オブ・ライフ・ケアの患者の特徴を知ることができる 3 エンド・オブ・ライフ・ケアの患者のケアを理解することができる 4 エンド・オブ・ライフ・ケアにおける看護技術について理解することができる	がん看護専門看護師 小山 富美子 長尾 充子 志方 優子 城山 敏江 緩和ケア認定看護師 西井 智恵子 森山 めぐみ 看護教育委員会
30名			
家族への意思決定支援	平成27年6月20日(土) 13:00 ~ 17:00	【目的・目標】 ・ 意思決定支援のプロセスと援助を理解する ・ 意思決定が困難になる問題状況を知る ・ 問題状況の解決に向けた援助を検討できる	家族支援専門看護師 藤野 崇 看護教育委員会
15名			
対応困難な家族への関わり方	平成27年9月25日(金) 13:00 ~ 17:00	【目的・目標】 ・ 対応困難とされやすい家族について、家族との関わり方のポイントを知ることができる ・ 実際の事例に適用し、看護実践を行うことができる	家族支援専門看護師 藤野 崇 看護教育委員会
9名			
継続看護と在宅療養支援	平成27年8月5日(水) 17:00 ~ 18:00	【目的】 病棟⇄外来看護師、病院⇄在宅領域の看護師間の連携の実態を振り返り、患者が安心・安定した健康状態で在宅療養を続けられる看護連携の在り方について考える	在宅看護専門看護師 河野 政子 がん看護専門看護師 長尾 充子 看護教育委員会
15名			
退院支援・在宅療養支援に関する看護師の葛藤と解決方法	平成27年12月2日(水) 13:00 ~ 17:00	【目的】 他院支援および在宅療養支援に関する葛藤について検討し、自己の課題や学習プランを見いだせる	在宅看護専門看護師 河野 政子 看護教育委員会
11名			

研修テーマ	研修日時	研修内容	講師・担当者
アドバンスド褥瘡 予防・治療ケア 10名	平成27年6月30日(火) 13:30 ~ 17:00 平成27年7月28日(火) 13:30 ~ 17:00 平成27年12月5日(土) 13:30 ~ 17:00	【目的】 褥瘡予防・治療ケアにおいて、リーダーシップを発揮し 自部署の褥瘡発生を予防する 【目標】 1 褥瘡に関する最新の知識・スキルが習得できる 2 アセスメント能力を高め、褥瘡予防・治療ケアが実践できる 3 スタッフとのIPW(協働)や指導について、スキルアップできる	皮膚排泄ケア認定看護師 堂本 勝子 看護教育委員会
ストーマケア 20名	平成27年10月30日(金) 13:00 ~ 17:00	【目的】 ストーマケアにおいて知識・技術を習得し、自部署で実践 モデルとなる 【目標】 1 消化管・尿路ストーマの特徴と患者の心理状況を理解する 2 基本的なストーマケア方法を習得することができる 3 オストメイトが円滑な日常生活を送るために必要な退院 指導の内容が理解できる	皮膚排泄ケア認定看護師 紺屋 洋子 看護教育委員会
フィジカル アセスメント 症状編 13名	平成27年11月10日(火) 13:00 ~ 17:00	【目的】 症状別(呼吸困難、胸痛、頭痛、せん妄)のアセスメント能力 を高め、看護実践に活用できる 【目標】 症状別(呼吸困難、胸痛、頭痛、せん妄)のアセスメントし 看護実践に繋げることができる	集中ケア認定看護師 神谷 健司 慢性心不全看護認定看護師 加藤 恵子 脳卒中リハビリ看護認定看護師 林 真由美 急性・重症患者看護専門看護師 村上 香織 看護教育委員会
フィジカル アセスメント 疾患編 9名	平成27年12月14日(月) 9:00 ~ 16:00	【目的】 呼吸・循環・脳神経疾患(誤嚥性肺炎、心不全、脳梗塞、 せん妄)患者のアセスメント能力を高め、看護実践に活用 できる 【目標】 呼吸・循環・脳神経疾患(誤嚥性肺炎、心不全、脳梗塞、 せん妄)患者のアセスメント能力を高め、看護実践に繋げる ことができる	集中ケア認定看護師 神谷 健司 慢性心不全看護認定看護師 加藤 恵子 脳卒中リハビリ看護認定看護師 林 真由美 急性・重症患者看護専門看護師 村上 香織 看護教育委員会
急変の前兆を見抜く 31名	平成27年10月5日(月) 13:00 ~ 17:00	【目的】 救急看護に必要な知識を習得する 【目標】 患者の急変を見抜き、迅速な対応につなげる事ができる	救急看護認定看護師 西井 泰子 看護教育委員会
急変時の対応 I 32名	平成27年9月30日(水) 13:30 ~ 17:00	【目的】 患者急変時に、医師が到着するまでに必要な対応ができる 【目標】 ・ BLSを実施することができる ・ 急変時に使用する薬剤を理解することができる ・ 急変時に使用する機器を理解することができる	救急看護認定看護師 西 有未 看護教育委員会
急変時の対応 II 21名	平成27年10月26日(月) 13:30 ~ 17:00	【目的】 患者急変時にリーダーシップを発揮し実践できる 【目標】 ・ BLSを実施することができる ・ 二次救急処置のアルゴリズムを理解し実践することができる ・ 急変時に使用する薬剤を準備し、投与することができる ・ 急変時に使用する機器を準備し、医師の介助につくこと ができる	救急看護認定看護師 西 有未 集中ケア認定看護師 阿部 健太 看護教育委員会
急変時の家族の 対応 14名	平成27年12月15日(火) 13:30 ~ 17:00	【目的】 急変時の家族の心理的危機的状況を理解し家族にどのように 対応するかが分かる 【目標】 急変時の家族の心理的危機的状態を理解し家族看護を 実践できる	救急看護認定看護師 岩本 理恵 看護教育委員会

研修テーマ	研修日時	研修内容	講師・担当者
糖尿病看護 (基礎編) 19名	平成27年10月2日(金) 8:30 ~ 12:30	【目的】 糖尿病の病態生理や治療法を理解し、慢性疾患とともに生きる患者を身体・心理・社会的側面から捉えて看護援助ができる 【目標】 糖尿病の病態、治療法について理解出来る 糖尿病患者への具体的な看護援助について検討できる	糖尿病看護認定看護師 久城 恵理 看護教育委員会
糖尿病看護 (応用編Ⅰ) 4名	平成27年11月20日(金) 8:30 ~ 12:30	【目的】 糖尿病の病態生理や治療法を理解し、慢性疾患とともに生きる患者を身体・心理・社会的側面から捉えて看護援助ができる 【目標】 ・合併症の病期に応じた生活調整、療養支援を理解できる ・症状マネジメントの方法を知り、糖尿病に関連した症状とその観察点が理解できる	糖尿病看護認定看護師 久城 恵理 看護教育委員会
糖尿病看護 (応用編Ⅱ) 3名	平成27年12月8日(火) 8:30 ~ 12:30	【目的】 糖尿病の病態生理や治療法を理解し、慢性疾患とともに生きる患者を身体・心理・社会的側面から捉えて看護援助ができる 看護師を育成する 【目標】 ・発達段階による、血糖コントロール方法の違いが理解できる ・治療法及び、ライフイベントによる身体的影響を理解し、状況に応じた援助方法を理解できる ・セルフモニタリングによる療養支援を理解できる	糖尿病看護認定看護師 久城 恵理 看護教育委員会
管理者研修			
研修テーマ	研修日時	研修内容	講師・担当者
主任昇格者研修 8名	平成27年5月8日(金) 8:30 ~ 17:00	【目的】 看護組織を理解し、役割を自覚する 【目標】 主任としての役割について学び、行動に繋げることができる	看護部長 担当副看護部長
管理者のストレスマネジメント 36名	平成27年5月25日(月) 13:30 ~ 15:15	【目標】 (副看護長以上の看護管理者) 管理職のストレスマネジメント:セルフケアの視点とラインケア	関西福祉科学大学 健康福祉学部健康科学科 教授 山田 富美雄
44名	平成27年6月25日(木) 17:30 ~ 19:10	(主任対象) 管理職のストレスマネジメント:セルフケアの視点とラインケア	
67名	平成27年10月29日(木) 17:30 ~ 19:00	(主任以上の看護管理者) 管理者のストレスマネジメント:特性を伸ばす方法を知り活かす	
			担当副看護部長

研修テーマ	研修日時	研修内容	講師・担当者
看護補助者			
研修テーマ	研修日時		講師・担当者
看護補助者	平成27年5月13日(水) 13:30 ~ 14:30 平成27年5月13日(水) 15:00 ~ 16:00 平成27年5月14日(木) 13:30 ~ 14:30 平成27年5月14日(木) 15:00 ~ 16:00 平成27年5月15日(金) 13:30 ~ 14:30 平成27年5月15日(金) 15:00 ~ 16:00	【目的】 看護部職員としてあるべき姿を学を学ぶ	看護補助者研修担当 看護長 杉本 幸恵 看護長 田尻 ゆかり
101名			
フォーラム	平成27年7月8日(水) 13:30 ~ 16:00 平成27年7月9日(水) 13:30 ~ 16:00 平成27年7月10日(水) 13:30 ~ 16:00	【目的】 協働ができる	看護補助者研修担当 看護長 杉本 幸恵 看護長 田尻 ゆかり
101名			
コミュニケーション	平成27年9月9日(水) 13:30 ~ 16:00 平成27年9月10日(水) 13:30 ~ 16:00 平成27年9月11日(水) 13:30 ~ 16:00	【目的】 他者を尊重するコミュニケーションについて理解できる	看護補助者研修担当 看護長 杉本 幸恵 看護長 田尻 ゆかり
87名			
フォロー研修	平成27年11月13日(金) 14:00 ~ 15:30	【目的】 根拠に基づいた看護補助援助を知り、安全・安楽に患者とかわることができる	看護補助者研修担当 看護長 杉本 幸恵 看護長 田尻 ゆかり
8名			
看護補助者	平成27年5月27日(水) 13:30 ~ 16:00 平成27年5月28日(水) 14:30 ~ 17:00	【目的】 感染・安全に対する振り返り	主任 河野 政子 看護長 杉本 幸恵 看護長 田尻 ゆかり
79名			
コミュニケーション	平成27年10月8日(木) 13:30 ~ 16:00 平成27年10月9日(木) 13:30 ~ 16:00	【目的】 他者を尊重するコミュニケーションについて理解できる	看護補助者研修担当 看護長 杉本 幸恵 看護長 田尻 ゆかり
54名			
BLSを学ぼう	平成27年6月18日(木) 17:15 ~ 19:00	【目的】 一次救命処置方法を習得する	看護補助者研修担当 看護長 杉本 幸恵 看護長 田尻 ゆかり 救急看護認定看護師 西井 泰子 西 有未
26名			

研修機器	型番	対象機器メーカー名	依頼部署・依頼者	依頼受付者	実施日時	場所	研修部署・対象	講師		医師	看護師	その他	研修医
								部署	名前				
人工呼吸器	特定保守管理機器(特定7品目)	人工呼吸器DVD研修	ザビーナ300 NPPV トリロジー	75病棟 元山主任	随時		75病棟 看護師				29		
人工呼吸器	特定保守管理機器(特定7品目)	人工呼吸器DVD研修	ザビーナ300 NPPV トリロジー	80病棟 高永	随時		80病棟 看護師				29		
人工呼吸器	特定保守管理機器(特定7品目)	人工呼吸器DVD研修	ザビーナ300 NPPV トリロジー	50病棟 小林主任	随時		50病棟 看護師				22		
人工呼吸器	特定保守管理機器(特定7品目)	人工呼吸器DVD研修	ザビーナ300 NPPV トリロジー	50病棟 小林主任	随時		50病棟 看護師(時短)				1		
人工呼吸器	特定保守管理機器(特定7品目)	人工呼吸器DVD研修	ザビーナ300 NPPV トリロジー	60病棟 玉川主任	随時		60病棟 看護師				22		
人工呼吸器	特定保守管理機器(特定7品目)	人工呼吸器DVD研修	ザビーナ300 NPPV トリロジー	75病棟 元山主任	随時		75病棟 看護師				30		
人工呼吸器	特定保守管理機器(特定7品目)	人工呼吸器DVD研修	ザビーナ300 NPPV トリロジー	100病棟 加藤主任	随時		100病棟 看護師				22		
人工呼吸器	特定保守管理機器(特定7品目)	人工呼吸器DVD研修	VN500 ターボ	NICU 永末主任	随時		NICU 看護師				27		
人工呼吸器	特定保守管理機器(特定7品目)	人工呼吸器DVD研修	ターボ	ER 井上主任	随時		ER 看護師				22		
人工呼吸器	特定保守管理機器(特定7品目)	人工呼吸器DVD研修	ザビーナ300 NPPV トリロジー	血液・膠原病内科 野崎	随時		血液・膠原病内科 医師			8			
人工呼吸器	特定保守管理機器(特定7品目)	人工呼吸器DVD研修	VN500 ターボ ザビーナ300 NPPV トリロジー	30病棟 水谷主任	随時		30病棟 看護師				32		
人工呼吸器	特定保守管理機器(特定7品目)	人工呼吸器DVD研修	ザビーナ300 NPPV トリロジー	57病棟 野長瀬主任	随時		57病棟 看護師				29		
人工呼吸器	特定保守管理機器(特定7品目)	人工呼吸器DVD研修	VN500 ターボ	57病棟 野長瀬主任	随時		57病棟 看護師				29		
人工呼吸器	特定保守管理機器(特定7品目)	人工呼吸器DVD研修	VN500 ターボ ザビーナ300 NPPV トリロジー	CCMC 村上主任	随時		CCMC 看護師				73		
人工呼吸器	特定保守管理機器(特定7品目)	人工呼吸器DVD研修	ザビーナ300 NPPV トリロジー	リハビリテーション部 武田	随時		理学療法士					23	
人工呼吸器	特定保守管理機器(特定7品目)	人工呼吸器DVD研修	VN500 ターボ	リハビリテーション部 武田	随時		理学療法士					13	
人工呼吸器	特定保守管理機器(特定7品目)	人工呼吸器DVD研修	VN500 ターボ ザビーナ300 NPPV トリロジー	中央放射線部	随時		中央放射線部 看護師				13		
人工呼吸器	特定保守管理機器(特定7品目)	人工呼吸器DVD研修	ザビーナ300 NPPV トリロジー	65病棟 浦主任	随時		65病棟 看護師				33		
人工呼吸器	特定保守管理機器(特定7品目)	人工呼吸器DVD研修	ザビーナ300 NPPV トリロジー	内分泌・代謝内科 伊藤	随時		内分泌・代謝内科 医師			16			
人工呼吸器	特定保守管理機器(特定7品目)	人工呼吸器DVD研修	ザビーナ300 NPPV トリロジー	呼吸器・アレルギー内科 西山	随時		呼吸器内科医師			13			
人工呼吸器	特定保守管理機器(特定7品目)	人工呼吸器DVD研修	ザビーナ300 NPPV トリロジー	皮膚科 内田	随時		皮膚科 医師			8			
人工呼吸器	特定保守管理機器(特定7品目)	DVD研修	ザビーナ300・NPPV・トリロジー				放射線看護学 医師			3			
人工呼吸器	特定保守管理機器(特定7品目)	DVD研修	ザビーナ300・NPPV・トリロジー				血液腫瘍内科 医師			20			
人工呼吸器	特定保守管理機器(特定7品目)	DVD研修	ザビーナ300・NPPV・トリロジー				循環器内科 医師			33			
人工呼吸器	特定保守管理機器(特定7品目)	DVD研修	ザビーナ300・NPPV・トリロジー				105病棟 看護師			32			
人工呼吸器	特定保守管理機器(特定7品目)	DVD研修	NPPV・ザビーナ・トリロジー	70病棟 南部美穂子			70病棟 看護師			36			
人工呼吸器	特定保守管理機器(特定7品目)	DVD研修	NIPⅢ・ザビーナ300・トリロジー・100・V60	85病棟 野中明子			85病棟 看護師			33			
人工呼吸器	特定保守管理機器(特定7品目)	DVD研修	NPPV・ザビーナ300・トリロジー	115病棟 佐藤亜矢			115病棟 看護師			36			
人工呼吸器	特定保守管理機器(特定7品目)	DVD研修	ザビーナ300・NPPV・トリロジー	難病患者在宅医療センター 河野 政子			難病患者在宅医療センター 看護師			1			
人工呼吸器	特定保守管理機器(特定7品目)	DVD研修	ザビーナ300・NPPV・トリロジー				110病棟 看護師			21			
人工呼吸器	特定保守管理機器(特定7品目)	DVD研修	ザビーナ300・NPPV・トリロジー				90病棟 看護師			21			
人工呼吸器	特定保守管理機器(特定7品目)	DVD研修	成人用人工呼吸器				55病棟 看護師			33			
人工呼吸器	特定保守管理機器(特定7品目)	DVD研修	小児用人工呼吸器				55病棟 看護師			34			
人工呼吸器	特定保守管理機器(特定7品目)	DVD研修					歯科口腔外科 医師			11			
人工呼吸器	特定保守管理機器(特定7品目)	DVD研修	NIPⅢ・ザビーナ300・トリロジー・V60・VN500	救急災害棟 ER			ER 看護師			22			
人工呼吸器	特定保守管理機器(特定7品目)	DVD研修					47病棟 看護師			32			
人工呼吸器	特定保守管理機器(特定7品目)	DVD研修		患者支援センター 藤野			患者支援センター 看護師			12			
人工呼吸器	特定保守管理機器(特定7品目)	DVD研修	成人用人工呼吸器	95病棟 宇城 恵			95病棟 看護師			33			
人工呼吸器	特定保守管理機器(特定7品目)	DVD研修	ザビーナ300	95病棟 宇城 恵			95病棟 看護師			33			
人工呼吸器	特定保守管理機器(特定7品目)	DVD研修	ザビーナ300 使用前後機	95病棟 宇城 恵			95病棟 看護師			33			
人工呼吸器	特定保守管理機器(特定7品目)	DVD研修	NPPV	95病棟 宇城 恵			95病棟 看護師			33			
人工呼吸器	特定保守管理機器(特定7品目)	DVD研修	トリロジー	95病棟 宇城 恵			95病棟 看護師			34			
人工呼吸器	特定保守管理機器(特定7品目)	DVD研修	小児用人工呼吸器	95病棟 宇城 恵			95病棟 看護師			33			

人工呼吸器	特定保守管理機器(特定7品目)	汎用人工呼吸器	サビナ	ドレーブル/パナル	臨床工学部	CE 山中	平成27年7月6日	病院棟4階ME機器管理室	臨床工学士	臨床工学部	山中	10	
人工呼吸器	特定保守管理機器(特定7品目)	小児用人工呼吸器	Servo i	フクダ電子	57病棟 次田	CE 高田	平成27年4月24日	57病棟 処置室	57病棟 看護師	臨床工学部	高田	14	
血液浄化装置	特定保守管理機器(特定7品目)	血液浄化装置各種	DCS-26/DBG-02/DBG-03/DCG-02/DBB-26	日機装	臨床工学部 中野健一	CE 中野健一	平成27年4月23日	人工透析室	人工透析部 看護師 新人臨床工学士	臨床工学部	中野健一	7	2
血液浄化装置	特定保守管理機器(特定7品目)	CHDF療法	ACH-Z	旭化成/パナル	臨床工学部 用具	CE 用具	平成27年4月14日	救急災害棟5階研修室	ICU 看護師	臨床工学部	竹田 用具 藤堂	14	
血液浄化装置	特定保守管理機器(特定7品目)	CHDF療法	ACH-Z	旭化成/パナル	臨床工学部 用具	CE 用具	平成27年4月16日	救急災害棟5階研修室	ICU 看護師	臨床工学部	用具 藤堂	9	
血液浄化装置	特定保守管理機器(特定7品目)	CHDF療法	ACH-Z	旭化成/パナル	臨床工学部 用具	CE 用具	平成27年4月17日	救急災害棟5階研修室	ICU 看護師	臨床工学部	竹田	10	
血液浄化装置	特定保守管理機器(特定7品目)	CHDF療法(セブライス)	ACH-Z	パナソニック	臨床工学部 藤堂	CE 藤堂	平成27年5月12日	病院棟4階ME機器管理室	臨床工学士	パナソニック	綱島	22	
血液浄化装置	特定保守管理機器(特定7品目)	CHDF療法	ACH-Z	旭化成/パナル	臨床工学部 中野健一	CE 中野健一	平成27年4月6日	病院棟4階ME機器管理室	臨床工学士	臨床工学部	中野健一	11	
血液浄化装置	特定保守管理機器(特定7品目)	CHDF療法	ACH-Z	旭化成/パナル	臨床工学部 藤堂	CE 藤堂	平成27年6月15日	救急災害棟5階小会議室	臨床工学士	旭化成メディカル	出野	16	
血液浄化装置	特定保守管理機器(特定7品目)	CHDF療法	ACH-Z	旭化成/パナル	臨床工学部 中野健一	CE 中野健一	平成27年7月6日	救急災害棟5階研修室	臨床工学士	臨床工学部	中野健一	18	
血液浄化装置	特定保守管理機器(特定7品目)	PMX療法	ACH-Z	旭化成/パナル	臨床工学部 中野健一	CE 中野健一	平成27年7月6日	救急災害棟5階研修室	臨床工学士	臨床工学部	中野健一	18	
血液浄化装置	特定保守管理機器(特定7品目)	血液交換療法	ACH-Z	東レメディカル	臨床工学部 藤堂	CE 藤堂	平成27年6月22日	救急災害棟5階会議室	臨床工学士	東レメディカル	片桐	7	
血液浄化装置	特定保守管理機器(特定7品目)	CHDF療法について	ACH-Z	コロン	臨床工学部 藤堂	CE 藤堂	平成27年10月16日	救急災害棟5階小会議室	臨床工学士	コロン	味山	11	
血液浄化装置	特定保守管理機器(特定7品目)	持続血液透析濾過の原理・構成・使用	ACH-Z	旭化成/パナル	CCMC CCU	CE 増田	平成27年11月10日	救急災害棟4階カフレス室	看護師	臨床工学部	増田	19	
血液浄化装置	特定保守管理機器(特定7品目)	持続血液透析濾過の原理・構成・使用	ACH-Z	旭化成/パナル	ACW	CE 増田						12	
血液浄化装置	特定保守管理機器(特定7品目)	CHDF療法	ACH-Z	旭化成/パナル	CCMC CCU	CE 用具	平成27年11月4日	救急災害棟4階カフレス室	看護師	臨床工学部	用具	18	3
血液浄化装置	特定保守管理機器(特定7品目)	CHDF療法	ACH-Z	旭化成/パナル	ACW	CE 増田						6	
血液浄化装置	特定保守管理機器(特定7品目)	CHDF療法	ACH-Z	旭化成/パナル	CCMC CCU	CE 竹田	平成27年11月6日	救急災害棟4階カフレス室	看護師	臨床工学部	竹田	23	1
血液浄化装置	特定保守管理機器(特定7品目)	CHDF療法	ACH-Z	旭化成/パナル	ACW	CE 竹田						16	
血液浄化装置	特定保守管理機器(特定7品目)	CHDF療法	ACH-Z	旭化成/パナル	心臓血管外科	CE 竹田	平成27年10月28日	55病棟カフレス	医師	臨床工学部	竹田	4	
血液浄化装置	特定保守管理機器(特定7品目)	CHDF療法(セブライス)	ACH-Z	パナソニック	臨床工学部 藤堂	CE 藤堂	平成27年9月15日	救急災害棟5階研修室	臨床工学士	臨床工学部	藤堂	17	
血液浄化装置	特定保守管理機器(特定7品目)	CHDF療法	ACH-Z	旭化成/パナル	臨床工学部 増田	CE 増田	平成27年12月14日	人工透析室	泌尿器科 医師	臨床工学部	増田	3	
閉鎖型保育器	特定保守管理機器(特定7品目)	閉鎖型保育器	V-2100G	パナソニック	臨床工学部 中野美和	CE 中野美和	平成27年6月24日	病院棟4階ME機器管理室	臨床工学士	臨床工学部	中野美和 上西	10	
閉鎖型保育器	特定保守管理機器(特定7品目)	閉鎖型保育器	V-2100G	パナソニック	臨床工学部 中野美和	CE 中野美和	平成27年6月25日	病院棟4階ME機器管理室	臨床工学士	臨床工学部	中野美和 上西	13	
閉鎖型保育器	特定保守管理機器(特定7品目)	閉鎖型保育器	Dual Incu	パナソニック	臨床工学部 中野美和	CE 中野美和	平成27年10月29日	病院棟4階ME機器管理室	臨床工学士 (修理・定期点検業務者)	パナソニック	内山	6	
閉鎖型保育器	特定保守管理機器(特定7品目)	閉鎖型保育器	V-2100G/Dual Incu	パナソニック	臨床工学部 中野美和	CE 中野美和	平成28年1月14日	病院棟4階ME機器管理室	臨床工学士	臨床工学部	上西	14	
補助循環装置	特定保守管理機器(特定7品目)	PCPS装置	エヌエフ装置+キネティックSLX	パナソニック	臨床工学部 荒川	CE 荒川	平成27年5月21日	病院棟4階血管造影室	循環器内科 医師	臨床工学部	中井	4	2
補助循環装置	特定保守管理機器(特定7品目)	PCPS装置	エヌエフ装置+キネティックSLX	パナソニック	臨床工学部 古田	CE 古田	平成27年9月24日	救急災害棟5階小会議室	臨床工学士	臨床工学部	古田	16	
補助循環装置	特定保守管理機器(特定7品目)	PCPS装置	エヌエフ装置+キネティックSLX	パナソニック	臨床工学部 荒川	CE 荒川	平成27年4月22日	病院棟4階 心臓血管造影室	循環器内科 医師	臨床工学部	中井 増田 西本 荒川 木村	13	6
補助循環装置	特定保守管理機器(特定7品目)	IABP装置	IABP全般		臨床工学部 古田	CE 古田	平成27年9月7日	救急災害棟5階小会議室	臨床工学士	臨床工学部	古田 増田	17	
補助循環装置	特定保守管理機器(特定7品目)	種込み型人工心臓	HeartMate II	ゾリック	臨床工学部 荒川	CE 荒川	平成27年12月25日	麻酔科カンファレンス室	ICU 看護師	臨床工学部	古田 荒川	11	
補助循環装置	特定保守管理機器(特定7品目)	種込み型人工心臓	HeartMate II	ゾリック	臨床工学部 荒川	CE 荒川	平成27年12月28日	麻酔科カンファレンス室	ICU 看護師	臨床工学部	古田 荒川	15	
補助循環装置	特定保守管理機器(特定7品目)	種込み型人工心臓	HeartMate II	ゾリック	臨床工学部 荒川	CE 荒川	平成28年1月8日	55病棟カフレスルーム	55病棟 看護師	臨床工学部	古田 増田 荒川	4	
補助循環装置	特定保守管理機器(特定7品目)	種込み型人工心臓	HeartMate II	ゾリック	臨床工学部 荒川	CE 荒川	平成28年1月12日	55病棟カフレスルーム	55病棟 看護師	臨床工学部	古田 増田 荒川	7	
除細動器	特定保守管理機器(特定7品目)	除細動器DVD研修	ハートスターIMRx	フクダ電子	人工透析部 六条				人工透析部 看護師			7	
除細動器	特定保守管理機器(特定7品目)	除細動器DVD研修	ハートスターIMRx	フクダ電子	50病棟 小林主任				50病棟 看護師			21	
除細動器	特定保守管理機器(特定7品目)	除細動器DVD研修	ハートスターIXL	フクダ電子	OP 古川				OP室 看護師			56	
除細動器	特定保守管理機器(特定7品目)	除細動器DVD研修	日本光電	日本光電					57病棟 看護師			28	
除細動器	特定保守管理機器(特定7品目)	除細動器DVD研修	日本光電	日本光電					47病棟 看護師			30	
除細動器	特定保守管理機器(特定7品目)	DVD研修			85病棟 浦 由美子				65病棟 看護師 医師			29	
除細動器	特定保守管理機器(特定7品目)	DVD研修			NICU部 末永圭子				NICU部 看護師			26	
除細動器	特定保守管理機器(特定7品目)	DVD研修			ICU 藤口				ICU 看護師			27	
除細動器	特定保守管理機器(特定7品目)	DVD研修			85病棟 大西 まり子				85病棟 看護師			33	
除細動器	特定保守管理機器(特定7品目)	DVD研修			55病棟 森 和保				55病棟 看護師			32	
除細動器	特定保守管理機器(特定7品目)	DVD研修			95病棟 玉井 晃実				95病棟 看護師			33	
除細動器	新規導入機器	除細動器	ハートスターIMRx	フクダ電子	臨床工学部 中井	CE 中井	平成27年8月10日	救急災害棟5階研修室	臨床工学士	フクダ電子	犬伏	20	
血液浄化装置	新規導入機器	透析装置	DCN-100NX	日機装	臨床工学部 藤堂	CE 藤堂	平成28年1月25日	人工透析室	臨床工学士・看護師	日機装	長谷	4	3

血液浄化装置	新規導入機器	透析装置	DCN-100NX	日機装	臨床工学部 藤堂	CE 藤堂	平成28年1月26日	人工透析室	臨床工学士・看護師	日機装	泉谷		4	7	
人工呼吸器	新規導入機器	汎用人工呼吸器	Infinity V300	ドレーゲルメディカル	循環器内科 上野医師	CE 中井	平成27年6月3日	病院棟4階血管造影室	循環器内科医師	臨床工学部	中井	12			3
人工呼吸器	新規導入機器	汎用人工呼吸器	ザビート300	ドレーゲルメディカル	循環器内科 上野医師	CE 中井	平成27年6月3日	病院棟4階血管造影室	循環器内科医師	臨床工学部	中井	12			3
人工呼吸器	新規導入機器	汎用人工呼吸器	ザビート300	ドレーゲルメディカル	脳外科 中川医師	CE 山中	平成27年8月19日	病院棟1階電子カンファレンス室	脳外科医師 [ICU]呼吸器医学医師	ドレーゲルメディカル	北河	19			
人工呼吸器	新規導入機器	汎用人工呼吸器	ザビート300	ドレーゲルメディカル	呼吸器・アレルギー内科	CE 山中	平成27年8月18日	病院棟4階47病棟	呼吸器内科医師	ドレーゲルメディカル	並河	12			
人工呼吸器	新規導入機器	汎用人工呼吸器	7スラム	フダライフテック	80病棟 林主任	CE 山中	平成27年12月14日	80病棟ナースステーション	80病棟 看護師	臨床工学部	山中		10		
人工呼吸器	新規導入機器	汎用人工呼吸器	7スラム	フダライフテック	80病棟 林主任	CE 山中	平成27年12月16日	80病棟ナースステーション	80病棟 看護師	臨床工学部	山中		5		
人工呼吸器	新規導入機器	汎用人工呼吸器	7スラム	フダライフテック	80病棟 林主任	CE 山中	平成27年12月21日	80病棟ナースステーション	80病棟 看護師	臨床工学部	山中		7		
人工呼吸器	新規導入機器	汎用人工呼吸器	7スラム	フダライフテック	80病棟 林主任	CE 山中	平成27年12月28日	80病棟ナースステーション	80病棟 看護師	臨床工学部	山中		2		
人工呼吸器	新規導入機器	汎用人工呼吸器	7スラム	フダライフテック	80病棟 林主任	CE 山中	平成27年12月30日	80病棟ナースステーション	80病棟 看護師	臨床工学部	山中		2		
人工呼吸器	新規導入機器	汎用人工呼吸器	7スラム	フダライフテック	80病棟 林主任	CE 山中	平成28年1月4日	80病棟ナースステーション	80病棟 看護師	臨床工学部	山中		1		
人工呼吸器	新規導入機器	汎用人工呼吸器	7スラム	フダライフテック	80病棟 林主任	CE 山中	平成28年1月6日	80病棟ナースステーション	80病棟 看護師	臨床工学部	山中		1		
人工呼吸器	新規導入機器	汎用人工呼吸器	7スラム	フダライフテック	80病棟 林主任	CE 山中	平成28年1月8日	80病棟ナースステーション	80病棟 看護師	臨床工学部	山中		2		
人工呼吸器	新規導入機器	汎用人工呼吸器	7スラム	フダライフテック	80病棟 林主任	CE 山中	平成28年1月9日	80病棟ナースステーション	80病棟 看護師	臨床工学部	山中		1		
人工呼吸器	新規導入機器	汎用人工呼吸器	トリロジー-Q2	フィカアスビロニクス	100病棟 加藤主任	100病棟 加藤主任	平成28年3月8日	100病棟ナースステーション	100病棟 看護師	臨床工学部	中井	13			
人工呼吸器	新規導入機器	汎用人工呼吸器	トリロジー-100	フィカアスビロニクス	75病棟 元山主任	CE 山中	平成28年2月22日	75病棟ナースステーション	75病棟 看護師	臨床工学部	山中		11		
人工呼吸器	新規導入機器	汎用人工呼吸器	トリロジー-100	フィカアスビロニクス	75病棟 元山主任	CE 山中	平成27年12月2日 平成27年12月3日 平成27年12月7日	75病棟ナースステーション	75病棟 看護師	臨床工学部	山中		15		
人工呼吸器	新規導入機器	汎用人工呼吸器	PB980	コグニティブ	90病棟 五島主任	CE 山中	平成27年12月2日	90病棟ナースステーション	90病棟 看護師	臨床工学部	山中				
人工呼吸器	新規導入機器	汎用人工呼吸器	PB580	コグニティブ	50病棟 小林主任	50病棟 小林主任	平成28年1月18日	50病棟ナースステーション	50病棟 看護師	コグニティブ	山口	6			
人工呼吸器	新規導入機器	新生児用人工呼吸器	Babylog VN500	ドレーゲルメディカル	臨床工学部 中野美和	CE 中野美和	平成27年10月28日	救急災害棟5階小会議室	医師・臨床工学士	ドレーゲルメディカル	中村	1	14		
人工呼吸器	新規導入機器	小児人工呼吸療法金校	Babylog VN500	ドレーゲルメディカル	臨床工学部 中野美和	CE 中野美和	平成27年5月27日	病院棟4階ME機器管理室	臨床工学士	ドレーゲルメディカル	金城		15		
人工呼吸器	新規導入機器	NPPV装置	V60	フィカアスビロニクス	95病棟	CE 山中	平成27年7月13日	病院棟9階	95病棟 看護師	臨床工学部	山中		7		
人工呼吸器	新規導入機器	NPPV装置	V60	フィカアスビロニクス	110病棟 久保主任	CE 高田	平成27年7月23日	110病棟 1107号	110病棟 看護師	臨床工学部	高田		13		
人工呼吸器	新規導入機器	在宅用NPPV装置	NIP II オートセットCS V60	希人 フィカアスビロニクス	人工透析部	CE 中井	平成27年7月7日	人工透析室	人工透析部 看護師	臨床工学部	中井		7		
人工呼吸器	新規導入機器	経気管式人工呼吸器	RTX	IMI	急性期病棟	急性期病棟	平成27年5月16日	急性期病棟ナースステーション	急性期病棟 看護師	臨床工学部	中井		11		
人工呼吸器	新規導入機器	経気管式人工呼吸器	RTX	IMI	急性期病棟	急性期病棟	平成27年5月18日	急性期病棟ナースステーション	急性期病棟 看護師 理学療法士	臨床工学部	中井	1	7	2	
補助管理装置	新規導入機器	ECLS回路	ECLS回路		循環器内科 上野医師	CE 中井	平成27年6月3日	病院棟4階血管造影室	循環器内科医師	臨床工学部	中井	12			3
閉鎖型保育器	新規導入機器	搬送用閉鎖型保育器	T1500	ドレーゲルメディカル	臨床工学部 中野美和	CE 中野美和	平成27年10月26日	救急災害棟5階小会議室	医師・臨床工学士	ドレーゲルメディカル	中村	1	14		
搬送用人工呼吸器	新規導入機器	搬送用人工呼吸器	Oxylog 3000/3000plus	ドレーゲルメディカル	臨床工学部 高田	CE 高田	平成27年5月25日	80病棟ナースステーション	80病棟 看護師	臨床工学部	高田		9		
搬送用人工呼吸器	新規導入機器	搬送用人工呼吸器	Oxylog 3000/3000plus	ドレーゲルメディカル	50病棟 小林主任	CE 山中	平成28年1月19日	50病棟ナースステーション	50病棟 看護師	臨床工学部	山中		3		
搬送用人工呼吸器	新規導入機器	搬送用人工呼吸器	Oxylog 3000/3000plus	ドレーゲルメディカル	50病棟 小林主任	CE 山中	平成28年1月18日	50病棟ナースステーション	50病棟 看護師	臨床工学部	山中		7		
搬送用人工呼吸器	新規導入機器	搬送用人工呼吸器	Oxylog 3000/3000plus	ドレーゲルメディカル	がんセンター放射線治療部 藤山主任		平成28年1月18日	50Ns	放射線治療部 看護師	臨床工学部	山中		1		
搬送用人工呼吸器	新規導入機器	搬送用人工呼吸器	ハラウ2200D MRI	ドレーゲルメディカル	50病棟 小林主任	CE 山中	平成28年1月20日	50病棟ナースステーション	50病棟 看護師	臨床工学部	山中		9		
搬送用人工呼吸器	新規導入機器	搬送用人工呼吸器	ハラウ2200D MRI	ドレーゲルメディカル	がんセンター放射線治療部 藤山主任		平成28年1月25日	放射線治療部	放射線治療部 看護師	臨床工学部	山中		1		
在宅用人工呼吸器	新規導入機器	在宅用人工呼吸器	vivo50	CHEST/新生	臨床工学部 中野美和	CE 中野美和	平成27年8月24日	病院棟4階ME機器管理室	臨床工学士	CHEST	熊田		16		
在宅用人工呼吸器	新規導入機器	在宅用人工呼吸器	vivo50	CHEST/新生	57病棟 野長瀬主任	57病棟 野長瀬主任	平成27年5月22日	57病棟ナースステーション	57病棟 看護師	CHEST/新生	熊田/川端		14		
在宅用人工呼吸器	新規導入機器	在宅用人工呼吸器	vivo50	CHEST/新生	57病棟 野長瀬主任	57病棟 野長瀬主任	平成27年8月5日	57病棟ナースステーション	57病棟 看護師	CHEST/新生	熊田/川端		14		
在宅用人工呼吸器	新規導入機器	在宅用人工呼吸器	vivo50	CHEST/新生	57病棟 野長瀬主任	57病棟 野長瀬主任	平成27年8月14日	57病棟ナースステーション	57病棟 看護師	CHEST/新生	熊田/川端		10		
在宅用人工呼吸器	新規導入機器	在宅用人工呼吸器	vivo50	CHEST/新生	57病棟 野長瀬主任	57病棟 野長瀬主任	平成27年8月28日	57病棟ナースステーション	57病棟 看護師	CHEST/新生	熊田/川端		4		
在宅用人工呼吸器	新規導入機器	在宅用人工呼吸器	IMI レジランド I7	IMI/新生	57病棟 野長瀬主任	CE 高田	平成27年10月8日	57病棟面談室	57病棟 看護師	IMI/新生	鈴木/川端		14		
在宅用人工呼吸器	新規導入機器	在宅用人工呼吸器	IMI レジランド I7	IMI	57病棟 野長瀬主任	CE 高田	平成27年10月8日	57病棟面談室	57病棟 看護師	IMI	鈴木		12		
在宅用人工呼吸器	新規導入機器	在宅用人工呼吸器	IMI レジランド I7	IMI	57病棟 野長瀬主任	CE 高田	平成27年10月19日	57病棟ナースステーション	57病棟 看護師	IMI	鈴木		10		
在宅用人工呼吸器	新規導入機器	在宅用人工呼吸器	IMI レジランド I7	IMI	57病棟 野長瀬主任	CE 高田	平成27年10月22日	57病棟ナースステーション	57病棟 看護師	IMI	鈴木		7		
在宅用人工呼吸器	新規導入機器	在宅用人工呼吸器	CPAP装置	F&P JCON	F&P(フダライフテック)	CE 高田	平成27年9月14日	50病棟カンファレンス室	50病棟 看護師	フダライフテック	真山		8		
在宅用人工呼吸器	新規導入機器	在宅用NPPV装置	オートセットCS-A	希人	60病棟 玉川主任	CE 柴田	平成28年2月13日	60病棟ナースステーション	60病棟 看護師	臨床工学部	柴田		21		
加湿加湿器	新規導入機器	加湿加湿器	PMH8000	ハシワツカフコ	臨床工学部 中野	CE 中野(美)	平成28年3月10日	ME機器管理室	臨床工学士	ハシワツカフコ	楠木氏		7		
経腸栄養ポンプ	新規導入機器	経腸栄養ポンプ	パルモ FE-201	パルモ	57病棟 野長瀬主任	CE 真田	平成27年10月8日	57病棟面談室	57病棟 看護師	パルモ	山崎		12		
経腸栄養ポンプ	新規導入機器	経腸栄養ポンプ	パルモ FE-201	パルモ	57病棟 野長瀬主任	CE 真田	平成27年10月19日	57病棟ナースステーション	57病棟 看護師	パルモ	山崎		10		
経腸栄養ポンプ	新規導入機器	経腸栄養ポンプ	パルモ FE-201	パルモ	57病棟 野長瀬主任	CE 真田	平成27年10月22日	57病棟ナースステーション	57病棟 看護師	パルモ	山崎		7		

12誘導心電計	新規導入機器	心電計	ECG-2320	日本光電	人工透析部	CE 中野美和	平成27年4月9日	人工透析室	人工透析部 看護師	臨床工学部	中野美和	4		
12誘導心電計	新規導入機器	心電計	ECG-1250	日本光電	放射線外来 高須尚美	CE 高田	平成27年10月30日	中放看護師控室	中放 看護師	臨床工学部	高田	10		
12誘導心電計	新規導入機器	心電計	FCP-8321	フクダ電子	通院治療センター	看護師 林 真紀子	平成28年2月8日	通院治療センター	看護師	臨床工学部	高田	4		
12誘導心電計	新規導入機器	心電計	FCP-8321	フクダ電子	通院治療センター	看護師 西端 美智子	平成28年2月22日	通院治療センター	看護師	臨床工学部	高田	4		
12誘導心電計	新規導入機器	心電計	FCP-8321	フクダ電子	80病棟 高永主任	看護師 高永	2016/2/9 十伝謙悟	80病棟ナースステーション	80病棟 看護師	80病棟	高永	32		
補込み型ペースメーカー	新規導入機器	MRI対応ペースメーカー	KORA100	日本ライオン	臨床工学部 柴田	CE 柴田	平成27年8月3日	病院棟4階ME機器管理室	臨床工学技士	日本ライオン	瀬崎		5	
補込み型ペースメーカー	新規導入機器	理論	バイオニック製品全般	バイオニック	臨床工学部 柴田	CE 柴田	平成27年6月10日	病院棟4階ME機器管理室	臨床工学技士	バイオニック	酒見		6	
補込み型ペースメーカー	新規導入機器	理論	バイオニック製品全般	バイオニック	臨床工学部 柴田	CE 柴田	平成27年6月17日	病院棟4階ME機器管理室	臨床工学技士	バイオニック	酒見		5	
補込み型ペースメーカー	新規導入機器	理論	バイオニック製品全般	バイオニック	臨床工学部 柴田	CE 柴田	平成27年6月24日	病院棟4階ME機器管理室	臨床工学技士	バイオニック	酒見		4	
補込み型除細動器	新規導入機器	S-ICD	EMBLEM	Boston Scientific	臨床工学部 柴田	CE 柴田	平成28年3月14日	病院棟4階ME機器管理室	臨床工学技士	Boston Scientific	坂田氏		6	
体外式ペースメーカー	新規導入機器	体外式ペースメーカー	OSPYKA-バイオニック	フクダ電子・日本光電	100病棟 加藤主任	CE 上西	平成27年8月21日	100病棟ナースステーション	100病棟 看護師	臨床工学部	上西		8	
体外式ペースメーカー	新規導入機器	体外式ペースメーカー	OSPYKA	フクダ電子	55病棟	CE 山中	平成27年8月18日	55病棟ナースステーション	55病棟 看護師	臨床工学部	上西		13	
体外式ペースメーカー	新規導入機器	体外式ペースメーカー	OSPYKA	フクダ電子	55病棟	CE 山中	平成27年8月24日	55病棟ナースステーション	55病棟 看護師	臨床工学部			8	
体外式ペースメーカー	新規導入機器	体外式ペースメーカー	OSPYKA	フクダ電子	ICU 関口	ICU 関口	平成27年8月24日	ICU	ICU 看護師	ICU	関口		30	
体外式ペースメーカー	新規導入機器	体外式ペースメーカー	OSPYKA	フクダ電子	55病棟	CE 山中	平成27年8月28日	55病棟ナースステーション	55病棟 看護師	臨床工学部			3	
血液浄化関連	新規導入機器	CHDF膜	CHシリーズ	東レメディカル	臨床工学部 藤堂	CE 藤堂	平成27年8月24日	病院棟4階ME機器管理室	臨床工学技士	東レメディカル	片桐		18	
血液浄化関連	新規導入機器	血漿交換療法時のALB濃度について	ACH-Z	旭化成メディカル	臨床工学部 用具	CE 用具	平成27年7月14日	病院棟3階 人工透析部	臨床工学技士	臨床工学部	用具		5	
ネーザルハイフロー装置	新規導入機器	ハンディ式	マックスエンジャー	F&P	50病棟 小林主任	CE 高田	平成27年8月12日	50病棟ナースステーション	50病棟 看護師 産婦人科医師	臨床工学部	高田	1	7	
ネーザルハイフロー装置	新規導入機器	NHF専用装置	AIRVO 2 / Optiflow	F&P	臨床工学部 中野美和	CE 中野美和	平成27年4月30日	救急災害棟4階カフ病室	臨床工学技士	F&P	岡本		21	
ネーザルハイフロー装置	新規導入機器	NHF専用装置	AIRVO 2	F&P	50病棟 小林主任	CE 高田	平成27年8月14日	50病棟ナースステーション	50病棟 看護師 産婦人科医師	臨床工学部	中野美和	2	8	1
ネーザルハイフロー装置	新規導入機器	NHF専用装置	プレジジョンDR-	日本アイ・エル・システム	臨床工学部 中野美和	CE 中野美和	平成27年9月10日	病院棟4階ME機器管理室	臨床工学技士	日本アイ・エル・システム	明比		12	
超音波診断装置	新規導入機器	Laptopタイプ超音波診断装置	LOGIQ e expert	GE	人工透析部	CE 用具	平成27年6月22日	人工透析室	人工透析部 看護師	臨床工学部	用具		6	
低圧持続吸引器	新規導入機器	電動式低圧持続吸引器	メソクーム	泉工医科	110病棟 竹久看護長	CE 高田	平成27年4月22日	110病棟 ナースステーション	110病棟 看護師	臨床工学部	高田		9	
OCT	新規導入機器	OCT装置およびカーネル	Dragon Fly OPTIS	SJM	臨床工学部 西本	CE 西本	平成27年7月9日	病院棟4階血管造影室倉庫	臨床工学技士	SJM	田中		4	
OCT	新規導入機器	OCT装置およびカーネル	Dragon Fly OPTIS	SJM	臨床工学部 西本	CE 西本	平成27年7月16日	病院棟4階血管造影室倉庫	臨床工学技士	SJM	田中		2	
DES	新規導入機器	薬剤用射出ポンプ	Xience Alpine	7ネットバスキューション	臨床工学部 荒川	CE 荒川	平成27年4月13日	救急災害棟5階大手術室	臨床工学技士	7ネットバスキューション	杉本		10	
その他	新規導入機器	壁かけ式吸引装置	Q in Pot	大研医科	ICU 関口主任	メーカー			ICU 看護師	大研医科			30	
その他	新規導入機器	自動カフ圧計	自動カフ圧コントローラー	コグニティブ	65病棟 看護師	CE 山中	平成27年7月30日	65病棟ナースステーション	65病棟 看護師 医師	臨床工学部	中野美和	1	15	
その他	新規導入機器	インスリンポンプ持続グルコースモニター	ミニP820G	イトロニック	47病棟 多賀主任	47病棟 多賀主任	平成27年6月3日	研究棟6階 看護部会議室	47病棟 看護師	日本イトロニック	大西		7	
その他	新規導入機器	インスリンポンプ持続グルコースモニター	ミニP820G	イトロニック	47病棟 多賀主任	47病棟 多賀主任	平成27年6月5日	研究棟6階 看護部会議室	47病棟 看護師	日本イトロニック	大西		16	
その他	新規導入機器	インスリンポンプ持続グルコースモニター	ミニP820G	イトロニック	47病棟 多賀主任	47病棟 多賀主任	平成27年6月5日	研究棟6階 看護部会議室	47病棟 看護師	日本イトロニック	大西		7	
その他	新規導入機器	インスリンポンプ持続グルコースモニター	ミニP820G	イトロニック	57病棟 野長瀬主任	57病棟 野長瀬主任	平成28年1月13日	研究棟6階 看護部会議室	57病棟 看護師	日本イトロニック	大西		11	
その他	新規導入機器	インスリンポンプ持続グルコースモニター	ミニP820G	イトロニック	57病棟 野長瀬主任	57病棟 野長瀬主任	平成28年1月29日	研究棟6階 看護部会議室	57病棟 看護師	日本イトロニック	大西		10	
その他	新規導入機器	インスリンポンプ持続グルコースモニター	ミニP820G	イトロニック	57病棟 野長瀬主任	57病棟 野長瀬主任	平成28年2月23日	研究棟6階 看護部会議室	57病棟 看護師	日本イトロニック	大西		5	
その他	新規導入機器	インスリンポンプ持続グルコースモニター	ミニP820G	イトロニック	57病棟 野長瀬主任	57病棟 野長瀬主任	平成28年3月3日	研究棟6階 看護部会議室	57病棟 看護師	日本イトロニック	大西		4	
その他	新規導入機器	デムターム	アキュラデムターム3Ti	エースクープ	中央手術部	CE 村田	平成27年6月11日	医局	皮膚科 形成外科	エースクープ	酒井		10	
その他	新規導入機器	デムターム	アキュラデムターム3Ti	エースクープ	中央手術部	CE 村田	平成27年10月21日	中央手術部・中材	中央手術部 看護師 日本医師	エースクープ	酒井		28	3
その他	新規導入機器	デムターム	アキュラデムターム3Ti	エースクープ	中央手術部	CE 村田	平成27年10月23日	中材	中央手術部 看護師 日本医師	エースクープ 臨床工学部	酒井 村田		8	1
その他	新規導入機器	デムターム	アキュラデムターム3Ti	エースクープ	中央手術部	CE 村田	平成27年10月23日	中央手術部	中央手術部 看護師 日本医師	エースクープ 臨床工学部	酒井 吉田 宮崎		21	
その他	新規導入機器	モルセラータ	スーパースカット	MCメディカル	中央手術部	CE 村田	平成27年10月21日	中央手術部	中央手術部 看護師	MCメディカル 臨床工学部	北野 宮崎		27	1
その他	新規導入機器	モルセラータ	スーパースカット	MCメディカル	中央手術部	CE 村田	平成27年10月22日	中央手術部	中央手術部 看護師	MCメディカル 臨床工学部	北野 宮崎		10	
その他	新規導入機器	モルセラータ	スーパースカット	MCメディカル	中央手術部	CE 村田	平成27年10月23日	中央手術部	中央手術部 看護師	MCメディカル 臨床工学部	北野 吉田 宮崎		14	2
その他	新規導入機器	冷凍アブレーションシステム	Arctic Frontクライコゾール	Medtronic	臨床工学部	CE 柴田	平成27年10月1日	中央放射線部	臨床工学技士	日本イトロニック	新美		4	
その他	新規導入機器	冷凍アブレーションシステム	クライコゾール	Medtronic	臨床工学部	CE 柴田	平成27年9月24日	中央放射線部	臨床工学技士	日本イトロニック	新美		5	
その他	新規導入機器	イオン交換樹脂	Bernoulli	日本ライオン	臨床工学部	CE 松山	平成27年11月10日	病院棟1階アキオ3	臨床工学技士	日本ライオン			5	
その他	新規導入機器	エキシマレーザー	Excimer Laser	Dvx	臨床工学部	CE 柴田	平成28年1月6日	病院棟4階OP室	臨床工学技士	Dvx	梶引氏		6	
その他	新規導入機器	除細動デフibrillator	IMPULSE7000OP	大正医科	臨床工学部	CE 古田	平成28年3月18日	ME機器管理室	臨床工学技士	大正医科	川添		6	
センサモニター関連	新人研修	センサモニター・ベッドサイドモニター・送信機	全般	日本光電	50病棟 小林主任	50病棟 小林主任	平成27年4月28日	50病棟	50病棟 新人看護師	50病棟	小林主任		3	
血糖測定器	新人研修	血糖測定器	One touch Ultravue	J&J	50病棟 小林主任	50病棟 小林主任	平成27年4月11日	50病棟	50病棟 新人看護師	50病棟	小林主任		3	
NPPV装置	不具合などに伴う再教育目的	NPPV装置全般	NIP III オートボイCS V60	帝人 フクダスレスピロクス	100病棟 加藤主任	CE 高田	平成27年5月18日	100病棟ナースステーション	100病棟 看護師	臨床工学部			11	
NPPV装置	不具合などに伴う再教育目的	NPPV装置全般	NIP III オートボイCS V60	帝人 フクダスレスピロクス	100病棟 加藤主任	CE 高田	平成27年5月20日	100病棟ナースステーション	100病棟 看護師	臨床工学部	高田		8	
搬送用人工呼吸器	不具合などに伴う再教育目的	搬送用人工呼吸器	ハニハク200D MRI	ドレークメディカル	50病棟 小林主任	CE 中野美和	平成28年2月24日	50病棟ナースステーション	婦人科 医師 50病棟 看護師	臨床工学部	中野美和	2	8	

挿込み型ペースメーカー	既存機器(自己啓発)		ペースメーカー全般		臨床工学部 中井	CE 中井	平成27年4月20日	臨床工学部管理室	臨床工学技士	臨床工学部	中井			4	
挿込み型ペースメーカー	既存機器(自己啓発)	挿込みデバイスWebセミナー	ペースメーカー全般		臨床工学部 柴田	CE 柴田	平成28年2月23日	研究棟5階会議室	臨床工学技士	杏林大学医学部附属	新島先生			6	
血液浄化装置	既存機器(自己啓発)	急変時対応			臨床工学部	CE 増田	平成27年10月22日	人工透析室	臨床工学技士 (血液浄化業務従事者)	臨床工学部	増田			6	
血液浄化装置	既存機器(自己啓発)	LCAP療法			臨床工学部	CE 藤堂	平成27年9月28日	人工透析室	臨床工学技士 (血液浄化業務従事者)	臨床工学部	旭化成/フィナル			6	
内視鏡手術装置	既存機器(自己啓発)	内視鏡手術装置全般	内視鏡手術装置全般	オリンパス スチルク システム	臨床工学部	CE 久井	平成27年11月6日	病院棟4階 手術室	手術室 看護師	臨床工学部	久井		14		
内視鏡手術装置	既存機器(自己啓発)	白内障手術装置	インフラニクス システム	7M-CON	臨床工学部	CE 久井	平成27年12月6日	病院棟4階 手術室	手術室 看護師	臨床工学部	久井		12		
パルスオキシメータ	メンテナンス講習	パルスオキシメータ	N-BS	コグニティブ	臨床工学部	中野美和	平成28年2月25日	ME機器管理室	臨床工学部	コグニティブ	河田氏			7	
血液浄化装置	特定保守管理機器(特定7品目)	CHDF療法	ACH-Σ	旭化成/フィナル	臨床工学部 竹田	CE 竹田	平成28年1月21日	ME機器管理室	臨床工学部	臨床工学部	竹田			6	
血液浄化装置	特定保守管理機器(特定7品目)	CHDF療法	ACH-Σ	旭化成/フィナル	臨床工学部 竹田	CE 竹田	平成28年1月14日	人工透析室	臨床工学部	臨床工学部	竹田	9			
挿込み型補助人工心臓	既存機器(自己啓発)	チェック手順	HeartMate	NIPRO	臨床工学部 荒川	CE 荒川	平成28年1月13日	ME機器管理室	臨床工学部	NIPRO/臨床工学部	島古田・荒川			17	
挿込み型補助人工心臓	既存機器(自己啓発)	チェック手順	HeartMate	NIPRO	臨床工学部 荒川	CE 荒川	平成28年1月14日	ME機器管理室	臨床工学部	NIPRO/臨床工学部	島古田・荒川			8	
血液浄化装置	特定保守管理機器(特定7品目)	CHDF療法	ACH-Σ	旭化成/フィナル	臨床工学部 竹田	CE 竹田	平成27年12月7日	脳外科医局	循環器内科 医師	臨床工学部	竹田	6			
血液浄化装置	特定保守管理機器(特定7品目)	CHDF療法	ACH-Σ	旭化成/フィナル	臨床工学部 竹田	CE 竹田	平成27年12月9日	4階カテ室	循環器内科 医師	臨床工学部	竹田	11			
挿込み型補助人工心臓	既存機器(自己啓発)	機器概要	HeartMate II	NIPRO	臨床工学部 荒川	CE 荒川	平成28年1月5日	ME機器管理室	臨床工学部 ICU 看護師 55病棟 看護師	NIPRO	中嶋	36	6		
挿込み型補助人工心臓	既存機器(自己啓発)	機器概要	HeartMate II	NIPRO	臨床工学部 荒川	CE 荒川	平成28年1月7日	ME機器管理室	臨床工学部 ICU 看護師 55病棟 看護師	NIPRO	中嶋	4	11		
血液浄化装置	特定保守管理機器(特定7品目)	CHDF療法	ACH-Σ	旭化成/フィナル	臨床工学部 竹田	CE 竹田	平成27年12月10日	4階カテ室	循環器内科 医師	臨床工学部	竹田	9			
血液浄化装置	特定保守管理機器(特定7品目)	CHDF療法	ACH-Σ	旭化成/フィナル	臨床工学部 竹田	CE 竹田	平成27年11月25日	ME機器管理室	臨床工学部	臨床工学部	竹田			11	
インスリンポンプ	既存機器(自己啓発)	機器概要	ミニパッド20G	メトロニック	50病棟 小林主任	NS 小林	平成27年6月19日	研究棟6階 看護部会議室	50病棟看護師	メトロニック	大西	3			
インスリンポンプ	既存機器(自己啓発)	機器概要	ミニパッド20G	メトロニック	50病棟 小林主任	NS 小林	平成27年9月8日	50病棟 カンファレンス室	50病棟看護師	メトロニック	大西	4			
インスリンポンプ	既存機器(自己啓発)	機器概要	ミニパッド20G	メトロニック	50病棟 小林主任	NS 小林	平成27年11月28日	50病棟	50病棟看護師	メトロニック	大西	1			
ヤシギルフレキシブルアーム	既存機器(自己啓発)	機器概要	ヤシギルフレキシブルアーム	エースクラブ	臨床工学部 村田	CE 村田	平成27年12月25日	OP室	中央手術部 看護師	エースクラブ	原	10	15		
血液浄化装置	特定保守管理機器(特定7品目)	CHDF療法	ACH-Σ	旭化成/フィナル	臨床工学部 中野健一	CE 中野健一	平成27年11月30日	研究棟6階 看護部研修室	60病棟 看護師 65病棟 看護師	臨床工学部	中野健一			17	
除細動器	特定保守管理機器(特定7品目)	DVD研修			救急災害課 ER				ER 看護師					22	
抗凝固薬	新規導入機器	抗凝固薬	ミニヘパ透析用プレフィルド	扶桑薬品工業株式会社	臨床工学部 藤堂	CE 藤堂	平成28年3月30日	人工透析室	臨床工学部 看護部	扶桑薬品工業株式会社	田中			5	4
												医師 合計	看護師 合計	その他 合計	
												246	2169	671	

(様式第 5)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法に関する書類

計画・現状の別	1. 計画 2. 現状
管理責任者氏名	病院長 東田 有智
管理担当者氏名	医学部・病院事務局長 狩谷 克志

		保管場所	管理方法	
診療に関する諸記録	規則第二十二條の三第二項に掲げる事項	病院日誌	総務広報課	
		各科診療日誌	電子カルテ端末	
		処方せん	電子カルテ端末	
		手術記録	電子カルテ端末	
		看護記録	電子カルテ端末	
		検査所見記録	電子カルテ端末	
		エックス線写真	電子カルテ端末	
		紹介状	電子カルテ端末	
		退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書	電子カルテ端末	
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第二十二條の三第三項に掲げる事項	従業者数を明らかにする帳簿	職員課	
		高度の医療の提供の実績	医学教育研究課 医療支援課	
		高度の医療技術の開発及び評価の実績	学術支援課 総務広報課	
		高度の医療の研修の実績	医学教育研修センター	
		閲覧実績	医療安全対策室	
		紹介患者に対する医療提供の実績	患者支援センター	
	規則第一條の十一第一項に掲げる事項	規則第一條の十一第一項に掲げる事項	入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	医事課 薬剤部
			医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医療安全対策室
			医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医療安全対策室
			医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療安全対策室
		医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医療安全対策室	
			電子カルテ端末 (human bridge) で管理	

		保管場所	管理方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第一条の十一第二項第一号から第三号までに掲げる事項	院内感染対策のための指針の策定状況	感染対策室
		院内感染対策のための委員会の開催状況	感染対策室
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	感染対策室
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	感染対策室
		医薬品安全管理責任者の配置状況	薬剤部
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	薬剤部
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部
		医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	薬剤部
		医療機器安全管理責任者の配置状況	臨床工学部
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	臨床工学部
		医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	臨床工学部
医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	臨床工学部		

		保管場所	管理方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第九条の二十三第一項第一号から第十五号までに掲げる事項	医療安全管理責任者の配置状況	医療安全対策室
		専任の院内感染対策を行う者の配置状況	感染対策室
		医薬品安全管理責任者の業務実施状況	薬剤部
		医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	医療安全対策室
		診療録等の管理に関する責任者の選任状況	医療支援課
		医療安全管理部門の設置状況	医療安全対策室
		高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況	医療安全対策室
		未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況	医療安全対策室
		監査委員会の設置状況	医療安全対策室
		入院患者が死亡した場合等の医療安全管理部門への報告状況	医療安全対策室
		他の特定機能病院の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況	医療安全対策室
		当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医療安全対策室
		医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付けるための窓口の状況	医療安全対策室
職員研修の実施状況	医療安全対策室		
管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況	医療安全対策室		

(注)「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。また、診療録を病院外に持ち出す際に係る取扱いについても記載すること。

(様式第 6)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

計画・現状の別	1. 計画	② 現状
閲覧責任者氏名	病院長 東田 有智	
閲覧担当者氏名	医学部・病院事務局 事務局長 狩谷 和志	
閲覧の求めに応じる場所	病院棟2階相談室閲覧室	
閲覧の手続の概要 患者支援センターもしくは医療安全対策課にて関係部署と調整し対応している。		

(注) 既に医療法施行規則第9条の20第5号の規定に合致する方法により記録を閲覧させている病院は現状について、その他の病院は計画について記載することとし、「計画・現状の別」欄の該当する番号に○印を付けること。

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数	延	0	件
閲覧者別	医 師	延	件
	歯 科 医 師	延	件
	国	延	件
	地方公共団体	延	件

(注) 特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入する必要はないこと。

(様式第6)

規則第1条の11第1項各号に掲げる医療に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有・無
<p>・ 指針の主な内容：</p> <p>1. 総則 2. 安全管理委員会 3. 安全管理部 4. リスクマネジャー 5. 報告等にもとづく医療に係る安全確保を目的とした改善方策 6. 安全管理のためのマニュアル整備 7. 医療安全管理のための研修 8. 事故発生時の対応 9. 患者相談窓口 10. その他</p>	
② 医療に係る安全管理のための委員会の設置及び業務の状況	
<p>・ 設置の有無 (有・無)</p> <p>・ 開催状況：年 36 回</p> <p>・ 活動の主な内容：</p> <p>1. 安全管理部の報告を受け、医療安全管理の検討及び研究に関すること 2. 医療事故の分析及び再発防止策の検討並びに委員会によって立案された防止対策及び改善策の実施状況の調査及び見直しに関すること 3. 医療安全管理のために行う職員に対する指示に関すること 4. 医療安全管理のために行う病院長等に対する提言に関すること 5. 医療安全管理のための啓発、教育、広報及び出版に関すること 6. 医療訴訟に関すること 7. その他医療安全に関すること</p>	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 38 回
<p>・ 研修の主な内容：</p> <p>1. インシデント・アクシデント対応とそのこころ 2. 中心静脈穿刺手技講習会 3. クリニカルガバナンスで聞いたことありますか？ 4. TeamSTEPPSで考えるチーム医療 5. 医療ガス・フィットフィックス 6. 航空整備におけるヒューマンエラー対策 7. 医療事故調査制度について 8. 事件とその対策 9. MRIの安全性・緊急輸血について・医薬品安全性情報について 10. 誤嚥・転倒転落・職員満足度調査 11. 医療訴訟ガイドンス 12. 特定機能病院に求められる医療安全体制 13. 個人情報対策室・褥瘡対策室 14. 安全管理DVD研修</p>	
④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の実施状況	
<p>・ 医療機関内における事故報告等の整備 (有・無)</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <p>リスクマネジャー会議等を通じて全職員へ周知するとともに、院内LANに掲載し周知を図り、改善策の徹底を図っている。また、安全管理研修参加状況の個人識別化を実施している。</p>	

(様式第 6)

院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	有・無
<p>・ 指針の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none">1. 近畿大学医学部附属病院の院内感染防止対策に関する基本的考え方2. 院内感染防止対策の組織の概要3. 感染防止対策に関する職員研修4. 院内感染症アウトブレイク時の対応5. 感染症情報の院内への提供と広報6. 患者等への情報提供と説明7. 地域連携8. 院外への情報公開9. その他の院内感染防止対策	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年12回
<p>・ 活動の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none">1. 院内感染防止対策に関する重要事項の決定を行う2. 院内感染防止対策指針およびマニュアルを検討し承認・周知する3. 院内感染防止対策に関する情報を共有し職員へ周知する4. 院内感染防止に関する職員研修計画を検討し周知する5. 院内感染事例等の原因究明結果を報告し、対策を職員に承認・周知する	
① 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年13回
<p>・ 研修の主な内容：</p> <p>新規採用時の研修は感染対策の基礎、感染症診療の基本についてのセミナーを開催した。定期研修では、インフルエンザ、ノロウイルス感染症などの研修会開催時期に合わせた季節の感染症対策および外部から招聘した感染対策の専門家による講演会を実施した。</p> <p>また、一部の研修会は、病院環境に対する感染対策、職業感染対策など掃除業者やリネン業者にも理解しやすい内容として開催した。全職員が興味を持てる内容とするため、研修会講師はICTチームの医師、看護師、薬剤師、臨床技師が担当をした。</p>	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
<p>・ 病院における発生状況の報告等の整備 (有・無)</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <p>定期、および臨時のICTラウンド、ICTニュース、院内感染防止対策委員会、各ICTメンバーの参加している委員会、研修などを通じ、院内感染発症防止、院内感染対策の情報を発信して、啓発を繰り返し行っている。</p>	

(様式第6)

規則第1条の11第2項第2号に掲げる医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品安全管理責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 13回
<p>・ 研修の主な内容：</p> <p>H27. 4月 特別な管理を要する薬品の取扱いについて（新人看護職員研修）</p> <p>H27. 4月2日 看護師対象 婦人科領域使用薬剤の勉強会</p> <p>H27. 5月18日 薬剤師対象 関節リウマチの勉強会</p> <p>H27. 5月22日 看護師対象 婦人科領域使用薬剤の勉強会</p> <p>H27. 6月23日 看護師対象 クリーンベンチ取扱い勉強会</p> <p>H27. 7月10日 看護師対象 抗がん剤における副作用</p> <p>H27. 7月21日 看護師対象 糖尿病薬の勉強会</p> <p>H27. 7月22日 職員対象 抗生剤の勉強会</p> <p>H27. 11月10・25日 看護師対象 麻薬の勉強会</p> <p>H27. 11月19日 職員対象 平成27年度第13回安全管理研修 医薬品安全性情報について</p> <p>H27. 12月9日 薬剤師対象 電解質・輸液の勉強会</p> <p>H28. 2月10日 薬剤師対象 慢性便秘症の勉強会</p>	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
<p>・ 手順書の作成 (有・無)</p> <p>・ 業務の主な内容：</p> <p>医薬品の採用・購入、医薬品の管理方法、投薬指示・調剤、患者への与薬や服薬指導、医薬品の安全に係る情報の取り扱い（収集、提供）、各部門における薬剤の取り扱い（手術・麻酔、救急・集中治療室、血液透析関連、画像診断、内視鏡、臨床検査、歯科領域、輸血）、他施設との連携、事故発生時の対応、教育・研修</p>	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<p>・ 医薬品に係る情報の収集の整備 (有・無)</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <p>ハイリスク薬（特に危険な薬剤）などの処方実績を月に1回程度集計し、使用状況など確認し、医師にフィードバックを行うことを試験的に開始する予定である。集計対象や確認方法については定期的に見直す予定である。</p>	

(様式第 6)

規則第 1 条の 11 第 2 項第 3 号に掲げる医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器安全管理責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年 216 回
<ul style="list-style-type: none">研修の主な内容： 特定7品目および新規医療機器を中心とした その他、新規医療機器研修およびデモ機などを使用する前の研修実施 別紙参照	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
<ul style="list-style-type: none">医療機器に係る計画の策定 (有・無)保守点検の主な内容： 特定7品目およびアナライザーなどで測定できる機器を中心に院内で実施。保守点検の主な内容：<ul style="list-style-type: none">特定7品目<ul style="list-style-type: none">輸液・シリンジポンプ心電図体外式ペースメーカー 等機能点検 安全性点検 (電気的安全性など) 精度点検など	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる未承認等の医療機器の使用の状況その他の情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none">医療機器に係る情報の収集の整備 (有・無)その他の改善のための方策の主な内容：<ul style="list-style-type: none">PMDAからの情報を「医療機器」ホームページへ集約し、情報を一元化している。その他の改善のための方策の主な内容： 従来ならば病棟や外来管理の医療機器も2ヶ月の貸出期間などにして中央管理下へ移行し、精度保証された医療機器を患者へ提供する方策を一部で開始している。	

(様式第 6)

規則第 9 条の 23 第 1 項第 1 号から第 15 号に掲げる事項の実施状況

① 医療安全管理責任者の配置状況	有・無
<p>・医療安全管理責任者による医療安全管理部門、医療安全管理委員会、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者の統括状況</p> <p>医療安全管理責任者には安全管理部長（副病院長）を配置。安全管理委員会においては、委員長を安全管理部長とし、医薬品安全管理責任者、医療機器安全管理責任者を委員として任命している。</p>	
② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有 (5名) ・無
<p>③ 医薬品安全管理責任者の業務実施状況</p> <p>・医薬品に関する情報の整理・周知に関する業務の状況</p> <p>医薬品検索システム MDview を使用している。また、薬事委員会資料・添付文書情報・勉強会案内など情報室が入手した全情報は、電子媒体資料にして薬剤部内ネットワークに存在する共有フォルダに保管し管理している。薬事委員には、薬事委員会資料・添付文書情報・削除薬品の在庫状況・新規採用薬品のオーダー開始日など随時メールで配信している。</p> <p>・未承認等の医薬品の使用に係る必要な業務の実施状況</p> <p>適応外使用について、臨床現場での使用については特別な把握手段はなく、当院でも把握は難しい状況である。ただし、臨床研究における未承認および適応外使用の場合には、院内の倫理委員会に責任医師から申請していただき、承認を得て頂く運用となっている。緊急時に使用する薬剤の適応外使用についても、許可制など特別な承認方法は、設定されていない状況である。</p> <p>疾患禁忌について、登録された病名に禁忌となる薬剤を医師が処方しようとする、警告画面が表示される。なお、エラーではなく、ワーニングのため、処方を確定することは可能である。システムとしては、電子カルテ（富士通株式会社）に MDbank（株式会社ユヤマ）を連携させて処方チェック機能が作動するように設定されている。</p> <p>薬剤間禁忌については、電子カルテで医師が薬剤を処方しようとする、警告画面が表示される。ただし、これもエラーではなく、ワーニングのため、処方を確定することは可能である。システムとしては、電子カルテに MDbank を連携させて処方チェック機能が作動するように設定されている。その後、処方された薬剤は薬剤部でチェックをかけ、必要に応じ薬剤師が問い合わせしている。</p> <p>・担当者の指名の有無 <input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無</p>	

④ 医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	有・無
<p>・医療の担い手が説明を行う際の同席者、標準的な説明内容その他説明の実施に必要な方法に関する規程の作成の有無 (有・無)</p> <p>・規程の主な内容： インフォームドコンセントの定義（インフォームドコンセントマニュアルより） インフォームドコンセントとは、「医療者側からの十分な説明」に基づく「患者側の理解・納得・同意・選択」です。あくまで患者側が主体であり、医療者が患者側から取得するもの、もしくは患者側が医療者に与えるものであって、医師が患者に説明するだけではありません。つまり、インフォームドコンセントとは、チーム医療の実践の中で、患者ひとりひとりに最良の治療が行われるように、医師が患者の立場に立って診療目的と治療方針、治療効果や予後等について事前に十分な説明を行い、患者が十分な時間を以って説明内容をよく理解し、納得した上で得られた選択と同意です。</p>	
⑤ 診療録等の管理に関する責任者の選任状況	有・無
<p>・活動の主な内容： 当院の診療録の確認は、カルテの質向上委員会と診療情報管理課が共同で、3段階監査を初めて5年目になる。詳細は割愛するものの、診療科内の相互監査、他科医師の監査、診療情報管理士の監査を継続的に行い、その結果を実名で院内報告している。1年目の平均転移比較し画期的な上昇を認めている。全体の管理責任者は、安全管理部・辰巳である。</p>	
⑥ 医療安全管理部門の設置状況	有・無
<p>・所属職員：専従（2）名、専任（ ）名、兼任（11）名 うち医師：専従（1）名、専任（1）名、兼任（2）名 うち薬剤師：専従（1）名、専任（ ）名、兼任（ ）名 うち看護師：専従（2）名、専任（ ）名、兼任（ ）名</p> <p>・活動の主な内容： 1. 定期的に医療安全対策室会議を開催し、必要事項を管理委員会に報告する 2. 医療安全に関する現場の情報収集及び実態調査 3. 定期的な現場の巡回・点検、マニュアルの遵守状況の点検 4. マニュアルの作成及び点検並びに見直しの提言等 5. アクシデント・インシデントレポートの収集、保管、分析、分析結果などの現場へのフィードバックと集計結果の管理、具体的な改善策の提案・推進とその評価 6. 医療安全に関する最新情報の把握と職員への周知 7. 医療安全に関する職員への啓発、広報 8. 医療安全に関する職員研修の企画、立案、運営</p> <p>※ 平成二八年改正省令附則第四条第一項及び第二項の規定の適用を受ける場合には、専任の医療に係る安全管理を行う者が基準を満たしていることについて説明すること。</p>	
⑦ 高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況	
<p>・高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の設置の有無 (有・無)</p> <p>・高難度新規医療技術を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無 (有・無)</p>	

・ 規程の主な内容：

臨床倫理委員会規程をもとに、臨床倫理委員会を設置。

臨床倫理委員会規程より

本規程は、近畿大学医学部附属病院における医療行為等（医療行為に準じ又は附随する行為を含み、以下、本規程において同じ）に関し、臨床上的倫理的問題を含む事案について、わが国の法令やその他の規範を遵守しつつ十分な審議検討を行うことで、当院の方針とともに、その安全性維持の施策について明示するとともに、その安全性を継続して担保することを目的とする。

・ 規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無（有・無）

・ 高難度新規医療技術評価委員会の設置の有無（有・無）

臨床倫理委員会で実施している

⑧ 未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況

・ 未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の設置の有無（有・無）

・ 未承認新規医薬品等を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び高難度新規医療技術の提供の適否を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（有・無）

・ 規程の主な内容：

臨床倫理委員会規程をもとに、臨床倫理委員会を設置。

臨床倫理委員会規程より

本規程は、近畿大学医学部附属病院における医療行為等（医療行為に準じ又は附随する行為を含み、以下、本規程において同じ）に関し、臨床上的倫理的問題を含む事案について、わが国の法令やその他の規範を遵守しつつ十分な審議検討を行うことで、当院の方針とともに、その安全性維持の施策について明示するとともに、その安全性を継続して担保することを目的とする。

・ 規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無（有・無）

・ 未承認新規医薬品等評価委員会の設置の有無（有・無）

臨床倫理委員会で実施している

⑨ 監査委員会の設置状況

有・無

・ 監査委員会の開催状況：年 未施行 回

・ 活動の主な内容：

未開始

・ 監査委員会の業務実施結果の公表の有無（有・無）

・ 委員名簿の公表の有無（有・無）

・ 委員の選定理由の公表の有無（有・無）

・ 公表の方法：

委員の決定、依頼は行ったが、先の国公私立大学医療安全研修における、九州4私大の相互監査業務の妥当性が認められたことにより、関西4私大でも同様に相互監査の形をとるべく準備中である。

--

監査委員会の委員名簿及び選定理由（注）

氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害関係	委員の要件 該当状況
				有・無	
				有・無	
				有・無	
				有・無	
				有・無	
				有・無	

（注） 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1～3のいずれかを記載すること。

1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者（1.に掲げる者を除く。）
3. その他

⑩ 入院患者が死亡した場合などの医療安全管理部門への報告状況

・入院患者が死亡した場合の医療安全管理部門への報告状況：年 件

27年10/1～28年8/31までで491件

・上記に掲げる場合以外の場合であって、通常の経過では必要がない処置又は治療が必要になったものとして特定機能病院の管理者が定める水準以上の事象が発生したとき当該事象の発生の事実及び発生前の状況に関する医療安全管理部門への報告状況：年 件

平成27年4月1日から28年3月31日の医師のアクシデント（3b～4b）入力件数：113件

・医療安全管理委員会の活動の主な内容

安全管理委員会は、医療行為における事故を未然に防止し、安全管理に関する諸問題を具体的に検討し、適切な対策を講じ医療の安全性の向上を図ることを目的とする。

原則として月1回開催し、以下の事項について審議する。

1. 安全管理部の報告を受け、医療安全管理の検討及び研究に関すること
 2. 医療事故の分析及び再発防止策の検討並びに委員会によって立案された防止対策及び改善策の実施状況の調査及び見直しに関すること
 3. 医療安全管理のために行う職員に対する指示に関すること
 4. 医療安全管理のために行う病院長等に対する提言に関すること
 5. 医療安全管理のための啓発、教育、広報及び出版に関すること
 6. 医療訴訟に関すること
 7. その他医療安全に関すること
- そのほか、必要に応じて委員長が召集する。

⑪ 他の特定機能病院の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況

・他の特定機能病院への立入り（（病院名：北里大学病院））・無

・他の特定機能病院からの立入り受入れ（（病院名：北里大学病院））・無

・技術的助言の実施状況：明確な改善点の指摘はなかったが、北里大学の医療安全部の開放的利用について踏襲する予定である。

⑫ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況

・体制の確保状況

医学部・病院事務局患者支援センターに患者相談窓口を設置し、医療安全対策課職員・患者支援センター職員・ソーシャルワーカーが対応している。

⑬ 医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付けるための窓口の状況

・情報提供を受け付けるための窓口の設置の有無（無）

・窓口を提供する情報の範囲、情報提供を行った個人を識別することができないようにするための方

策その他窓口の設置に関しする必要な定めの有無（有・無）

・窓口及びその使用方法についての従業者への周知の有無（有・無）

⑭ 職員研修の実施状況

・研修の実施状況

全職員を対象とし、新規採用職員医療安全・感染対策研修、TeamSTEPPS研修を実施。

⑮ 管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況

・研修の実施状況

年に1回リスクマネジャー研修を開催している。

(様式第 7)

専門性の高い対応を行う上での取組みに関する書類 (任意)

1 病院の機能に関する第三者による評価

① 病院の機能に関する第三者による評価の有無	有・無
・評価を行った機関名、評価を受けた時期 日本医療機能評価機構 2015年1月5日認定 認定3回目 初回認定2004年6月21日 認定番号 第JC221-3号 主たる機能：一般病院2 機能種別版評価項目 3rdG: Ver. 1.0 認定機関 2014年6月21日～2019年6月20日	

(注) 医療機能に関する第三者による評価については、日本医療機能評価機構等による評価があること。

2 果たしている役割に関する情報発信

① 果たしている役割に関する情報発信の有無	有・無
・情報発信の方法、内容等の概要 ・他の医療機関向けに発送、ホームページ掲載 「診療のご案内」(特集疾患、診療内容、トピックス、専門医などの紹介)の発送 ・地域の住民患者向けに 「きずな(2回/年)」発行、ホームページ掲載、公開講座の開催	

3 複数の診療科が連携して対応に当たる体制

① 複数の診療科が連携して対応に当たる体制の有無	有・無
・複数の診療科が連携して対応に当たる体制の概要 ・担当科へ対診依頼 ・緩和ケアチーム等が主科と連携して診療 ・救急災害センターにてER医が初期対応を行った後に、専門診療科等へ後送	

(様式第 8)

近大病発 135 号
平成 28 年 9 月 8 日

厚生労働大臣

殿

近畿大学医学部附属病院
病院長 奥野清隆 (印)

医療に係る安全管理のための体制整備に関する計画について

標記について、次のとおり提出します。

記

1. 医療安全管理責任者を配置するための予定措置

医療安全管理責任者は当院の副病院長（常勤職員）であり、医薬品安全管理責任者、医療機器安全管理責任者も参加する院内における医療安全の最上位委員会である安全管理委員会に議長として参加しており、医療安全、医薬品、医療機器など各職種の安全管理担当者の参加する安全管理部会議にも併せて議長として参加しておりいずれの分野にも精通している。

また、現場の医療安全責任者であるリスクマネージャーとの会議にも参加し情報共有しており、適任と考えた。

2. 医薬品安全管理責任者の活動を充実するための予定措置

--

3. 医療を受ける者に対する説明に関する責任者を配置するための予定措置

--

4. 説明の実施に必要な方法に関する規程を作成するための予定措置

--

5. 診療録等の管理に関する責任者を配置するための予定措置

--

6. 規則第9条の23第1項第10号に規定する医療に係る安全管理に資する措置を実施するための予定措置

--

7. 医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付けるための窓口を設置するための予定措置

--

8. 医療安全管理部門による医療に係る安全の確保に資する診療の状況の把握及び従業者の医療の安全に関する意識の向上の状況の確認実施のための予定措置

--

9. 高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門を設置するための予定措置

医療法施行規則第9条の23第1項第7号口の規定に基づき高難度新規医療技術について厚生労働大臣が定める基準に基づき、臨床倫理委員会規程を作成し、臨床倫理委員会を設置した。同委員会は、月に1回開催され、同基準に基づいて申請された臨床医療に関連した案件について検討および承認作業を行っている。

しかしながら、事務局機能については、臨床倫理委員会業務に対応する部門が明確に確立されておらず、安全管理部業務対応を行っている事務職員が兼務している状況である。現在、新規申請案件の対応は行っているが、同規程に基づき、定期的に、手術記録、診療録等の記載内容を確認し、高難度新規医療技術が適正な手続きに基づいて提供されたかどうかについての、従業員の遵守状況を確認、術後に患者が死亡した場合及びその他必要な場合の確認業務について、継続的な業務を行う体制については（医療安全管理業務全般を含め、実質常勤1名、パート1名）、今後、不十分な状況が予測される。

このため、今後、平成29年3月までに臨床倫理委員会に関し正式な事務局を確立し、統計データ等の蓄積や分析、管理などが行える体制を構築する予定としている。

10. 高難度新規医療技術を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程を作成するための予定措置

医療法施行規則第9条の23第1項第7号口の規定に基づき高難度新規医療技術について厚生労働大臣が定める基準に基づき、高難度新規医療にかかる従業者が遵守すべき事項や技術の提供の適否等に関する事項に関して規定を作成し、臨床倫理委員会規定に盛り込んだ。しかしながら、事務局機能自体は、9.で述べたように明確に確立されておらず、安全管理部業務対応を行っている事務職員が兼務している状況であり、現状の新規案件の対応は行っているが、今後申請件数の増加が想定される上に、継続的な追跡調査、再評価等を行う体制が不十分になると予想される。

このため、今後、平成29年3月までに臨床倫理委員会に関し正式な事務局を確立し、統計データ等の蓄積や分析、管理などが行える体制を構築し、規程に関しても改定していく。

11. 未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門を設置するための 予定措置

未承認新規医薬品等の使用条件や使用の適否等に関しては、医療法施行規則第9条の23第1項第8号口の規定に基づき未承認新規医薬品等を用いた医療について厚生労働大臣が定める基準に基づき、臨床倫理委員会規程を作成し臨床倫理委員会を設置した。同基準を遵守すべく審議検討を月一回、臨床現場からの申請に基づき行っているが、新規医薬品検討に資する委員の補充が必要であると考えられること、さらに9. 10. で述べた如く、臨床倫理委員会事務局機能が十分に確立されておらず、安全管理部業務対応を行っている事務職員が兼務しているのが現状である。この状況は、9.~12.のデータ管理、経過観察、再評価等の業務を行う体制としては不十分になってくると予想される。

このため、今後、平成29年3月までに臨床倫理委員会に関し、正式な事務局を確立し、統計データ等の蓄積や分析、管理などが行える体制を構築していく。

12. 未承認新規医薬品等を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を 定めた規程を作成するための予定措置

未承認新規医薬品等を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成については、上記11.同様、医療法施行規則第9条の23第1項第8号口の規定に基づき未承認新規医薬品等を用いた医療について厚生労働大臣が定める基準に基づき臨床倫理委員会規程を作成し、ここに従業者が遵守すべき事項及び未承認新規医薬品等の使用条件に関し規定した。これに基づき、臨床倫理委員会にて、未承認新規医薬品等を用いた医療を提供する場合の審議検討を行っている。

しかしながら、11.に記載したように、事務局機能についての継続的情報処理に懸念があり、今後、平成29年3月までに臨床倫理委員会に関し、正式な事務局機能を確立し、統計データ等の蓄積や分析、管理などが行える体制を構築し、規程に関しても、未承認新規医薬品の使用条件、使用の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規定に改定していく。

13. 監査委員会を設置するための予定措置

委員の決定、依頼は行ったが、先の国公立大学医療安全研修における、九州4私大の相互監査業務の妥当性が認められたことより、関西4私大でも同様に相互監査の形をとるべく準備中である。平成29年4月以降実施できるように努める。

14. 他の特定機能病院の管理者との連携による立入り及び技術的助言を遂行するための予定措置

--

15. 職員研修を実施するための予定措置

--

16. 管理職員研修（医療に係る安全管理のための研修、管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者、医療機器安全管理責任者向け）を実施するための予定措置

--

17. 医療安全管理部門の人員体制

・所属職員：専従（ ）名、専任（ ）名、兼任（ ）名 うち医師：専従（ ）名、専任（ ）名、兼任（ ）名 うち薬剤師：専従（ ）名、専任（ ）名、兼任（ ）名 うち看護師：専従（ ）名、専任（ ）名、兼任（ ）名

18. 医療安全管理部門の専従職員を配置するための予定措置

--